中頓別町立中学校改修工事

		図 面 リ ス ト		
意 匠		機 械		電気
図面番号 図面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名
A-000 表紙・図面リスト	M-001	特記仕様書(1)	E-001	電気特記仕様書(1)
A-001 改修工事特記仕様書1	M-002	特記仕様書(2)	E-002	電気特記仕様書(2)
A-002 改修工事特記仕様書2	M-003	改修前・改修後 1階平面図 暖房 給油 換気設備	E-003	改修前・改修後 1階電気設備
A-003 改修工事特記仕様書3	M-004	改修前・改修後 2階平面図 暖房 給油設備	E-004	改修前・改修後 2階電気設備
A-004 改修工事特記仕様書4	M-005	改修前・改修後 3階平面図 暖房 給油設備	E-005	改修前・改修後 3階電気設備
A-005 改修工事特記仕様書5	M-006	改修前後 1階生徒便所詳細図 給排水設備	E-006	改修前・改修後 1階職員便所 電気設備
A-006 改修工事特記仕様書6	M-007	改修前後 2階生徒便所詳細図 給排水設備	E-007	改修前・改修後 1階生徒便所 電気設備
A-007 改修項目リスト	M-008	改修前後 1階職員便所詳細図 給排水設備	E-008	改修前・改修後 2階生徒便所 電気設備
A-008 改修前・改修後 1階平面図	M-009	改修前・改修後 第2保健室平面図 暖房 給排水 給湯設備		
A-009 改修前・改修後 2階平面図	M-010	改修前 理科室 平面詳細図 給排水 ガス設備		
A-010 改修前・改修後 3階平面図				
A-011 改修前・改修後 PH階平面図				
A-012 A, B項目 改修前・後 1階多目的トイレ、生徒便所詳細図				
A-013 A, B項目 改修前・後 2階多目的トイレ、生徒便所詳細図				
A-014 C項目 改修前·後 1階職員便所詳細図				
A-015 D項目 階段改修詳細図				
A-016 E項目 改修前 昇降口 詳細図				
A-017 E項目 改修後 昇降口 詳細図				
A-018 F·Q·T項目 詳細図				
A - O 1 9 G項目 アコーディオンカーテン 取付位置図				
A-020 H項目 ロッカ-室 平面詳細図・展開図				
A-021 H項目 第二保健室 平面詳細図・展開図				
A-022 I項目 改修前 一般教室 平面詳細図·展開図				
A-023 I項目 改修後 一般教室 平面詳細図·展開図				
A-024 I項目 改修前 2階生徒会室 平面詳細図·展開図				
A-025 I項目 改修後 2階普通教室 平面詳細図・展開図				
A-026 J項目 改修前 理科室 平面詳細図·展開図				
A-027 J項目 改修後 理科室 平面詳細図・展開図				
A-028 K項目 改修前 技術室 平面詳細図・展開図				
A-029 K項目 改修後 職員室 校長室 平面詳細図·展開図				
A-030 L項目 改修前 コンピューター室 平面詳細図・展開図				
A-031 L項目 改修後 特別支援教室 生徒会室 前室 平面詳細図・展開図				
A-032 M項目 改修後 廊下窓下図書コーナー 位置図				
A-033 改修前 図書室 本棚リスト				
A-034 N項目 廊下窓下コート掛け 取付位置図				
A-035 O項目 改修前 2階教材室 平面詳細図·展開図				
A-036 O項目 改修後 2階特別支援教室 平面詳細図・展開図				
A-037 P項目 改修前 図工室 平面詳細図・展開図				
A-038 P項目 改修後 図工室 教材室 平面詳細図・展開図				
A-039 P項目 改修前 3階被覆室 平面詳細図・展開図				
A-040 P項目 改修後 3階普通教室 教材室 平面詳細図・展開図				
A-041 R項目 FF暖房 取付位置図				
A-042 S項目 落下防止手摺 取付位置図				
A-043 改修後 1年目教室配置案				
A-044 改修後 2年目教室配置案				
A-045 改修後 3年目教室配置案				
······································				



- 級建築士事務所 北海道知事登録 (石)第323号 式会社 **图 田 設 計**

一級建 第31405 一級建築士 第314057号 幸生 岡田 幸生 構造一級建築士第一号

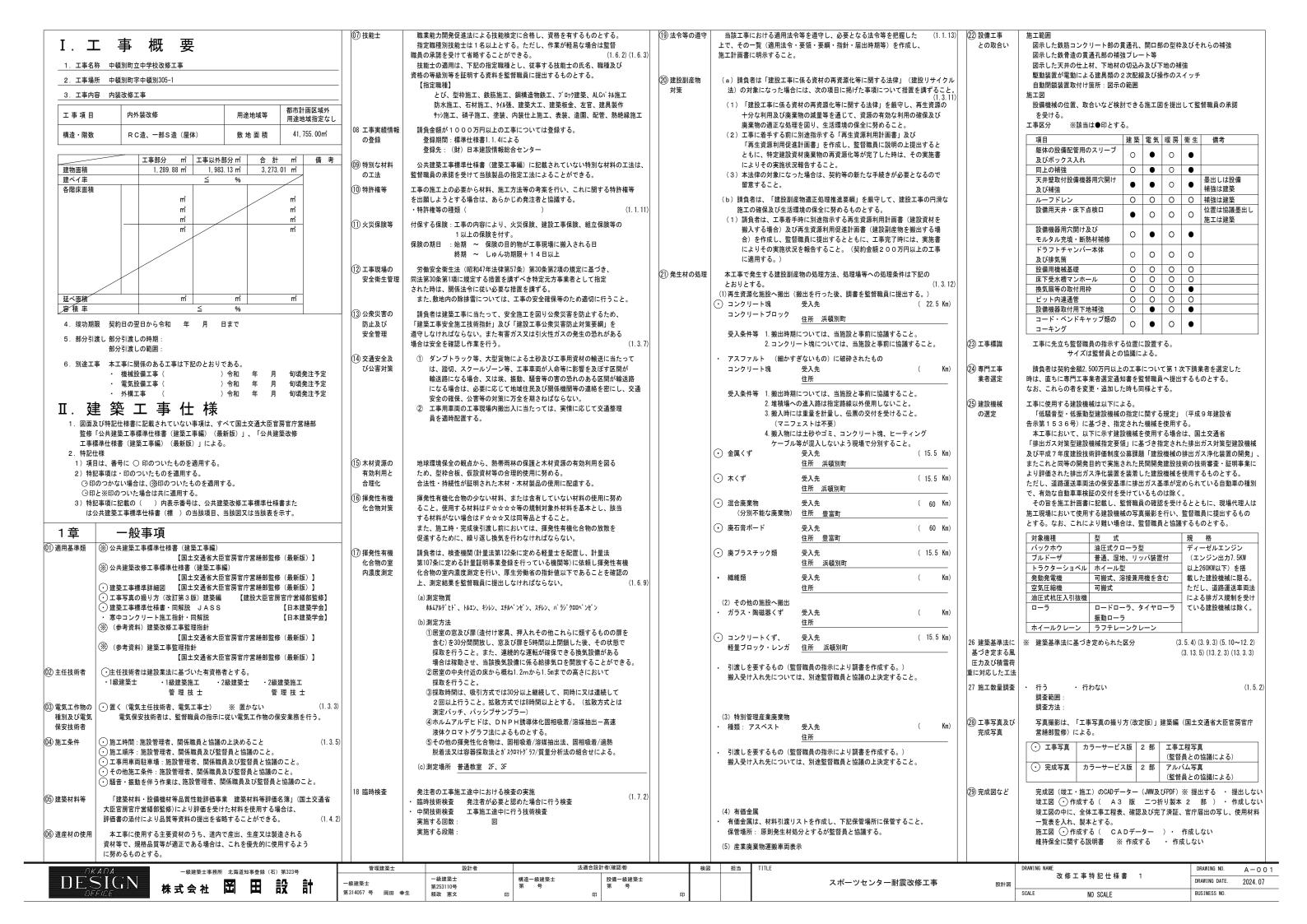
OX IOI 112 =1

設備一級建築士 第 号 設計図 SCALE

中頓別町立中学校改修工事

 表紙・図面リスト
 DRAWING DATE.
 2024.07

 NO SCALE
 BUSINESS NO.



2章	仮設工事		(2) 杭の施工法 (標4.3.4) (標4.8.5)	(06) セメントの	※ 普通ポルトランドセメント ・ 混合セメントA種 (標6.3.1) (標表6.3.1)		・ 屋根露出防水断勢工法の断勢材	(3, 3, 2)
①① 足場その他	・ 内部足場 ※ 脚立、足場板等・ 枠組足場・ 吊り足場 (2.2.1)		(標4.3.4) (標4.3.5) ・ セメントミルク工法 ・	種類	※ 盲週 ハルトフンドでメント ・ 此 ロ ピメンド A 性		・ 産権路口防水断熱工法の断熱や 材質 ※ ルーフィング類製造所の仕様	(3. 3. 2//
	外部足場 ※ A種(枠組) ・ B種(単管) ・ C種(ゴンドラ)		(3) 支持地盤は図示による。	07) 骨材	種類 粗骨材 ○ 砂利 · 砕石 · 高炉スラグ · 混合材 (標6.3.1)		厚さ ・ 30 ・ 50 ・ 100 ・絶縁用シート・ポリエチレンフィルム厚 0.15mn	m以上 (3.3.2)
	・ D種 (移動式) ・ 高所作業車 (表2.2.1)	03 場所打ち コンクリート	(1) 施工に際しては、施工管理技術者(場所打ち杭の施工等だかかわる指導 及び品質管理を行う能力のある者)を置く。 (練4.5.1~8) (標4.5.2)		・ 電気炉酸化スラグ 細骨材 ① 砂 ・ 砕砂 ・ 高炉スラグ ・ 混合材		・ フラットヤーンクロス(70g/mf和	7 1
	・ 危険防止 ・ 金網張 ・ 防炎シート(※ I類 ・ I類)	杭地業	(標4.5.4) (標4.5.4) (標4.5.4)		・ 電気炉酸化スラグ ・ フェロニッケルスラグ・ 銅スラグ		・ 保護コンクリート強度 ※ 18N/mm2 ・ スランプ ※ 15cm	(3. 3. 2)
	・ 金網式養生枠 ※ ネット状養生シート ・ 養生防護棚 ・ 仮設材料、撤去材料等の運搬方法		セメントの種別 ※ 高炉セメントB種 ・ ポルトランドセメント コンクリートの設計基準強度 FC- N/mg 2		品質 砂利、砕石、砂、砕砂のアルカリシリカ反応性の区分 ※ A · B 高炉スラグ粗骨材の絶乾密度等の区分 ※ N · L		・防水層の保護れんが ※ 普通れんが(JISR1	1250) / (3. 3. 2)
	A種(二本構リフト等) ※ B種(トラッククレーン等)C種(既存EV利用) ※ D種(既存階段) ・ E種(登り桟橋等)		コンクリートの種別 · A種 · B種 (3) 杭の施工法		電気炉酸化スラグ粗骨材の絶乾密度等の区分 ※ N · L 粗骨材の最大寸法 ・ 砂利 ※ 25mm ・ 40mm		・ 立上り部乾式保護材 ※ 図示による	(3. 3. 2)
	● 手すり先行足場(手すり先行足場を使用する場合は「手すり先行工法に関する		・ 場所打ち鋼管コンクリート杭 工法 建築基準法に基づくもの		- 砕石、高炉スラグ及び電気炉酸化スラグ ※ 20mm · 25mm		(b)新規防水の種別及び工程	(3.3.3)
	ガイドライン(厚生労働省平成15年4月策定)」による)		・ 拡底杭	08 混和材料	混和剤 JISA 6204によるAE剤、AE減水剤及び高性能AE減水剤とする。		・ 屋根保護防水絶縁工法 工法 種別 施工箇所	(表3.3.3)
02) 既存部分の 養生	 既存養生方法 既存部分における既存家具等の養生 ※ ビニールシート 		・ オールケーシングエ法 ・		性能による区分 ※ 標準形 ・ 促進形 ・ 遅延形 (標6.3.2) 塩化物イオン量による区分 ※ I種 ・ II種 ・ II種		P1B · B-1	(#2.0.4)
	既存プラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所※ 監督職員の指示による		(4) 杭の形状及び支持地盤は図示による。	⊕ 気温による 温度補正	普通ポルトランドセメント、混合セメントA種の温度補正 (表6.6.2) 補正値(T) 3N/mm2 (期間)		- 屋根保護防水絶縁断熱工法 工法 種別 施工箇所	(表3.3.4)
03 仮設間仕切り	(・) 備品、机、ロッカー等の移動・ 行う・ 設置する(図示による)・ 設置しない(2,3,2)	04 砂利及び砂 地業	材料 ・ 砂 ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 ・ 再生クラッシャラン (標4.6.2) 厚さ ・ 150 ・ 60mm (施工場所: 図示) (標4.6.3)		6N/mm2 (期間) ただし、ラップルコンクリート、捨コンクリートは除く。		· P1B1 · B1-1 · T1B1 ※ B1-2	
00 区区国生列 7	種別 · A種 ※ B種 ※ C種 (表2.3.1) A種段びB種の材種 · ・ 石膏ボード · 合板		(再生クラッシャランの購入施設名) 受入条件等 搬出時期については、当施設と事前に協議すること。	10 塩化物量	コンクリートの塩化物量 ※ 0.3kg/m3以下 (標6.3.2) (標6.5.4)		・ 屋根保護防水密着断熱工法 工法 種別 施工箇所	(表3. 3. 5)
	・ ケイカル+石膏ボード 厚さ ・ ・9.5mm ・ 12mm ・ 4mm+12.5mm	05 捨コンクリート地業 /	発注強度 · 15N/mm2 · 18N/mm2 (標4.6.4) スランプ · 15cm · 18cm	11 寒中コンク	適用期間 (標6.11.1~6) 初期養生 ※ 圧縮強度が5N/mm 2に達するまで		P2AI · AI−1 ※ AI−2	
	仮設扉 ・ 設置する (ヶ所) ・ 設置しない ・ 図示による 原の構造 ※ 木製合板程度 ・ 図示による	一下地来	厚さ ※ 5.0cm - 6.0cm	9-1	・		・ 屋根保護防水密着工法工法 種別 施工箇所	(表3. 3. 6)
	#U情追 ※ 小殺占似住及 ・ 囚小による 塗装 ・ 行う ・ 行わない	06 床下防湿層	※ 適用する(範囲は図示) ・ 適用しない 材料 ※ ポリエチレンフィルム 厚0.15mm (標4.6.5)	12 無筋コンク	独長官理の内部		P2A . A-1 A-2	
04) 監督職員 事務所	・ 既存建物内の一部使用 (2.4.1)・ 新設する (m³)			リート	スランプ · 15cm · 18 cm 粗骨材の最大寸法 ※ 25mm · mm		・ 屋根露出防水密着工法 工法 種別 施工箇所	(表3. 3. 7)
	設置しない備品・ (2.5.1)	5章	鉄筋工事	10 tr 60	施工箇所		M4C . C-1 ** C-2	
	※ 原形に復する	①1 鉄筋の種類	鉄筋の種別 (標表5.2.1) 鉄筋 種別 適用径 規格番号	13 打継目地	材質 ※図示による 寸法 ※図示による		・ 屋根露出防水絶縁工法 工法 種別 施工箇所	(表3. 3. 8)
復旧 06 仮囲い	※ 仮設計画図参照		※ 異形鉄筋 ※ SD295 D 1 6 以下 JISG3112 ・ D 以下	14) 型枠	打増し厚さ ※ 20mm ・ mm ・ 図示による (標6.8.1~5) ひび割れ誘発目地 ※ 位置、形状及び寸法は図示による。		- M3D - D-1 - P0D % D-2	
07 設計GL	※ 現状平均地盤		※ SD345 D19 以上		せき板の材料 ※ 合板せき板(コンクリート型枠用合板の日本農林規格)厚さ12mm		脱気装置 ・ 設ける 対 設けない 脱気装置は製造所の仕様による	
o #	+	02 溶接金網	網目の形状、寸法 (mm) ・ 100×100 ・ 150×150 (標5.2.2)		材質 塗装 施工場所		設置個数 ※ 80㎡程度に1箇所 ・ 屋根露出防水断勢工法	(表3.3.9)
3章	土工事	(03) 鉄筋の継手	鉄線の径 (mm) ・ 3.2mm		・ ラワン合板 ・ あり ・ なし (B-C) ※ 複合合板 ・ あり ※ なし (B-C)		工法 種別 施工箇所 • PODI • DI-1	
01 排水	排水工法 (標3.2.2) 排水処理の方法	<i>□</i> 2002 11 12 2	※ ガス圧接継手 D19以上 (SD295Aは圧接不可) ・ 特殊な継手 (・ 機械式継手 ・ 溶接継手) (標5.5.2) (標5.5.3)		・ 床型枠用鋼製デッキプレート (建設技術評価品又は同等品) ・ 厚さ mm (施工箇所:)		- M3DI	
02 埋戻し及び 盛土	種別・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (標3.2.3)(標表3.2.1) C種の発生場所: 受入量: m3		※ 継手種類の適用部位:構造特記による		- その他のせき板 (施工箇所:) MCR工法シート ・ 使用する (部位は図示による) ・ 使用しない		- · 屋内防水 /	(表3.3.10)
03 建設発生土	※ 指定地へ搬出 (・ 堆積 ・ 敷均し) (標3.2.5)	①4 かぶり厚さ 及び間隔	軽量コンクリートの最小かぶり厚さは構造特記による。 (標5.3.5) 特殊な継手の鉄筋間隔は構造特記による。		各部の配筋 ※(共別図[各部配筋] 9 節)による。		· P1E · E-/1 · P2E · ¥ ₹-2	
の処理	・ 受入先 中頓別町除雪センター (1.5 km) 住所 中頓別町字中頓別177-1 (1.5 km)	05 帯筋、あばら 筋及び	帯筋、あばら筋及び補強筋等の配筋間隔、補強方法等は構造図による。 既成梁貫通孔補強筋は、財)日本建築センター評価(評定)品及び国土交通省				保護層 ・ 設ける ・ 設けない	(3. 3. 5)
	· 受入先 住所	補強筋等	大臣評価品とする。	7章	防水改修工事		・ コンクリートの厚さ (水下) ・ 80mm以上 ・ 60mm以 ・ コンクリートの厚さ (水下) ・ 7mm以下/3m	
04 山留め	 構内指示の場所に運搬(・ 堆積・ 敷均し) 工法 施工範囲:図示による (標3.3.1) (標3.3.2) 	06 機械吊上げ用 フック	・ A種 ・ B種 ・ C種 (表7.4)	01 降雨に対す る養生方法	※ 必要に応じてシート養生を行う。 (3.1.3)		 立ち上がり部の保護 ・ 乾式保護材 ・ れんが押え 	
VI MH.07	構造 土質:図示の柱状図による 山留め周囲の上載圧 t/m 地下水位:GL- m	07 ガス圧接	圧接作業は工事に相応したJIS Z 3881による技量を有する圧接技量者とする。 抜取試験 ※ 超音波探傷試験 (JIS Z 3062) (標5.4.2)	02 改修工法の	防水		・ モルタル押え ・ コンクリート押え	
	山留めの撤去 ※ 撤去する ・ 存置する (標3.3.3)		- 引張試験 (JIS Z 3120) (標5.4.9)	種類	シーリング ・ シーリング充填工法・ シーリング再充填工法	07 改質アスフ	材料 (JIS A6013)	(3. 4. 2) (3. 4. 3)
4章	地業工事	6章	コンクリート工事		・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジエ法	ァルトシート 防水	・ 改賞アスファルトシート防水 (屋根露出防水密着工法)	(表3.4.1)
01 試験杭	杭の本数 ※ 最初の1本・ 本 (位置は図示による) (標4.2.2)	01) コンクリー	※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート ・ 特殊コンクリート (標6.2.1)	0既存防水層の	下地補修材料 ・ アスファルト (JIS 🗡 2207) ※ 3種 ・ (3.2.2)		✓ AS-1 ※ R種 · 3.0 (4.0) 以上	施工箇所
	杭の種類 ※ 本杭と同じ ・ 杭の寸法 長さ ・本杭と同じ ・本杭+ m	トの種類	(構造特記による) コンクリートの強度及びスランプ (標6.2.2) (標6.2.4) (標表6.2.2)	<u>処理</u>	注入用エポキシ樹脂(JIS A6024) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形専用プライマー(メーカー指定品)		/- AS-2 - N種 - 2.0 (3.0) 以上 - AS-3 - 1.5 (2.5) 以上	
	断面 ・ 本杭と同じ ・ 杭の載荷試験 ・ 行う (・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷) ・ 行わない (標4.2.3)	トの強度及び	設計基準強度	04 ルーフドレン 回りの処理	ニ重ドレイン ・ 設置する 放置しない (3.2.5)		() はトーチ () はトーチ () はトーチ () 改質アスファルトシート防水 (屋根露出防水絶縁工法)	(表3. 4. 2)
02 既製コンク	位置、載荷荷重 ※ 図示による (1) 杭の種類 (標4.3.1~9) (標4.4.1~7)		※構造特記による	05 既存下地の	補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による ・ (3.2.6)		種別 種類 厚さ (mm) 加	施工箇所
リート杭及び 鋼杭地業	杭の種類 ・ プレストレスト ユンゲリート杭 (PHC)	03) b 7 ° 12721°	※ I類 · II類 (標6.2.1)		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う (溶剤系、拭き取り程度) ・ 行わない		- AS-5 · N種 · 2.0 (3.0) 以上 - AS-6 () はトーチ	
	規格・区分 JIS A 5373 ※ A種 ・ 種	コンケリートの種別 (04)調合強度	コンクリートの呼び強度は設計基準強度(FC)に気温による補正値(T)	06 7777711	・ 打つ (溶剤系、丸さ取り程度) ・ 打わない (a)材料 ・ 粘着層付改質アスファルトルーフィング (JIS A 6013) (3.3.2)		脱気装置・ 設ける (脱気装置は製造所の仕様による)・	設けない
	長さ (m)	(29) 調口短及	及び構造体コンクリートの強度と供試体の強度との差を考慮した割増し	防水	(a) 材料 ・ 私有層付改員 アスファルトルーフィング (JIS A 6013) (3.3.2) ※ 非露出複層防水用 R種 ・ 改質アスファルトルーフィングシート (JIS A 6013) (3.3.2)		設置個数 ※ 80㎡程度に1箇所 ・ 改質アスファルトシート防水(屋根露出防水断熱工法)	(表3. 4. 3)
	斯面才法(mm) 長期支持力(t)	05 コンクリー	(ДF) 3 N/mm 2 を加えたものとする。 (標6.3.1~2) 合板せき板の打放し仕上げ (標6.2.5) (標表6.2.5)		 ・ 改質アスノアルトルーフィンクシート (JIS A bUI3) (3.3.2) ※ 露出単層防水用 R種 ・ 押え金物の材質 ※ アルミニウム製 (3.3.2) 		種別 種類 厚さ (mm) が ASI-1 ※ R種 ・ 3.0 (4.0) 以上	施工箇所
	継手・継手形状 先端形状 ※ 閉塞形 ・ 開放形 ・ 半開放形	トの仕上がり	種別 · A種 施工箇所: (標tb. 2.5) (標表tb. 2.5) (標表tb. 2.5) (標表tb. 2.5)		形状 ※ L - 30×15×2.0程度		· ASI-2 · N種 · 2.0 (3.0) 以上 · 1.5 (2.5) 以上	
	※ 平たん形 ・ ペンシル形 その他		・ C種 施工箇所: ・ その他 施工箇所:		 屋根保護防水断熱工法の断熱材(JISA9511) 材質 ※ 押出法ポリスチレンフォーム 3種 b スキン層付き 		() はトーチ	
		管理建築士	コンクリートの仕上がり ※ (標表6.2.4) を標準とする。 設計者 法適合設計者(確認者	横图	厚さ · 30 · 50 · 100	<u>/</u>	DRAWING NAME DRAWI	ING NO. A-0.0.2
		一級建築士		快区	中頓別町立中学校改修工事	設計図	改修工事特記仕様書 2	NG DATE. 2024.07
ŌF.	FICE 外央大社 IMI HA IX III	第314057 号 岡田 章	生 岡田 幸生				SCALE NO SCALE BUSINE	IESS NO.

08 合成高分子系 ルーフィング シート防水	材料 ルーフィングシートの厚み(JIS A6008) ・ SーF1 ※ 1.2mm ・ 加硫ゴム系シート防水 1.7mm 接着工法 ・ SーF2 ※ 2.0mm ・ SーM1 ※ 1.5mm ・ SーM2 ※ 1.5mm ・ SーM3 ※ 1.2mm ・ 絶縁用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート 新規防水の種別 ・ POS ・ SーF1 ・ SIーF1 ・ POS1 ・ SーF2 ・ SIーF2 ・ S3S ・ SーM1 ・ SIーM1 ・ S3SI ・ SーM2 ・ SIーM2 ・ M4S1 ・ SーM3 ・ SIーM3 ・ M4S1 ・ SーM3・ SIーM3 ・ M4S1 ・ SーM3・ SIーM3・ SIーM3・ M4S1・ SIーM3・ SIーM	及びアルミ ニウム合金	No.2 B仕上げ 施工箇所 : No.1 施工箇所 : 表面処理の種別 (標14.2.2) (標表14.2.1) 種別 A 一種 施工箇所 : B 一種 施工箇所 :	在上げ 名 薄塗 を 付 を を を を を を を を を を を を を を を を を	・ 分表海塗村に ・ 労扱	02 工種別使用材料	(a) 樹脂注入工法 エポキシ樹脂 (JIS A6024)
10 浸透性塗布 防水	工法 種別 施工箇所 POX ・ X-1 ※ L4X ※ X-2 ・ 図示 脱気装置 脱気装置 ・ 設ける ※ 設けない 脱気装置は製造所の仕様による 浸透性塗布防水の種別 施工箇所	の表面処理 04 鉄鋼の亜鉛 めっき	・ C 一種 施工箇所 : ・ 焼付塗装 施工箇所 : ・ 焼付塗装 施工箇所 : 表面処理の試験 ・ 行う ※ 行わない 要鉛めっきの種別 (標14.2.3) (標表14.2.2) 種別 表面処理方法 を設定します。 2種 株の原 施工箇所 (mm) ・ A 溶融亜鉛 2種 株DZ55 4.5以上	(18	種類 色彩 厚さ (mm) 一般用・ ・ 着色 ・ 原色 ・ 10 ・ 15 ・ 20 クウール及び接着剤のホルムアルデヒドの放出量については、1章 一般事項 揮発性有機化合物対策)による (標15.7.2)		接着剤の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポギシ樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ 変成シリコーン樹脂 ・ タイルの形状 寸法 きじの質 ・
11 特殊防水	特殊防水の種別 ※製造所 ※施工業者は指定業者の責任施工 種別 施工箇所		・ B ※ C めっき HDZ45 3.2以上 ・ D 電気亜鉛 CM2C 5級 - ・ E めっき 4級 - ・ F 33級 - 溶融亜鉛めっきの亜鉛付着量試験 ・ 行う ※ 行わない		ト壁改修工事 (a) コンクリート打放し仕上げ外壁 (1) ひび割れ部改修工法 ※ 樹脂注入工法 ・ シール工法		(i) 目地改修工法 (3.7.2) (表3.7.1) シーリング ※ 2成分形ポリサルファイド系シーリング (j) 塗り仕上げ 仕上塗材 (JIS A6909)
12 施工票	工事完了後監督職員の指示する場所に取り付ける 施工票の形状等 真鍮板、黒地、クリヤ焼付け塗り、85mm×125mm 施工票の記入項目 タイトル、施工年月日、種別、施工業者	(05) 軽量鉄骨天井 下地	電気亜鉛めっきの皮膜厚さ、塩水噴霧試験 ・ 行う ※ 行わない 野縁などの種類 屋内 ※ 19形 屋外 ※ 25形 (標14.4.2) (標表14.4.2) 屋外の形式及び寸法 ※ 図示による 補強方法 ※ 図示による (標14.4.4)		(2) 欠損部改修工法※ 充填工法(b) モルタル塗り仕上げ外壁(1) ひび割れ部改修工法※ 樹脂注入工法		種別及び種類 (表4.2.4) 名称 種類(呼び名) 仕上 工法 備考 薄付け ・外装薄塗材SI /砂壁状 ※ 吹付け 汚れ止クリア 仕上塗材 ・外装薄塗材E ・直色骨材 ・ローラー JISA6909
13 防水保証年限	※ アスファルト防水 改質アスファルトシート防水 ・ 合成高分子系ルーフィング防水 塗膜防水 ・・・・・・・10年	06 軽量鉄骨 壁下地	スタッド、ランナーの種類 ※ 50形 ※ 65形 ・ 90形 ① 100形 (標表14.5.1) スタッドの高さが5.0mを超える場合は図示による (標表14.5.1)		・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法		P
14 シーリング	材料の種類、寸法及び施工個所	07 金属成形板 張り 08 アルミニウム 製笠木 ⑩ 手すり 10 タラップ	種別 ・アルミニウム ・ カラーガルバリウム鋼板 ・ステンレス (標14.6.2) 寸法 ※ 表面処理 野縁間隔等 ・屋内 mm程度 ・ (標14.6.3) ・屋外 mm程度 ・ (標14.6.3) ・ 屋外 mm程度 ・ (標14.7.2) (標表14.7.1) 材料 押出形材はJIS H4100のA6063Sによる。 部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 (標14.7.2) (標表14.7.1) 役物 ※ 製造所の仕様による 表面処理 ※ A-1種 ・ B-1種 固定金具等は図示による 避電導体 ・ あり ・ なし (板厚2.0mm以上) 材種 ピール被覆 表面処理 材種 (標14.8.2) 表面処理		(2) 欠損部改修工法		- ひき起し こて塗り
15 とい	試験 ・ 引張接着性試験 ※ 簡易接着性試験 (3.7.8) 材料 ※ 配管用炭素鋼鋼管(白) (JIS G3452) (3.8.2) 工法 降雨に対する養生 ・ 行う (図示による) ・ 行わない (3.8.3) 防露巻き ・ 行う ・ 行わない (表3.8.3) 材料 (3.9.2)	11 EXP. J	表面処理 材種 表面処理		(2) 欠債即以等上法	03 コンクリー ト打放し仕上 げ外壁の改修	(a) 樹脂注入工法 ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 (4.3.4) ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 (b) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔 ※ 200から300mm 注入量 c c
製佐木	 ※ オープン形式 ※ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形 (表3.9.1) ・ 板材折り曲げ形 幅 板厚 ※ 2.0mm 表面処理 ※ A-1種 既存空木等の撤去及び新規アルミニウム製空木の下地補修工法 (3.9.3) ※ 既存取外し、再取付 	9章 ⑪ モルタル塗り	左官工事 既製目地 ※ あり (形状、位置は図示による。) ① なし (標15.3.1~5) 仕上げの種類 (標15.3.4) ※ 金ごて 施工箇所: 図示		アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング命分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	/	(c) 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔 mm (d) 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔 mm (e) コア抜き取りによるひび割れ部の注入状況の検査 ・する ・しない
8章	金属工事		※ 木ごて 施工箇所: ・ はけ引き 施工箇所:		・	04 モルタル塗り	抜き取り部分の補修方法 (a) アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.4.10)
01 あと施工 アンカー	金属拡張アンカー (標14.1.3) 種別 ねじ径 (mm) 施工箇所 ・ 打込み方式 ・ 心棒打ち打込み式 ・ 小部コーン打込み式 ・ 本体打込式 ・ スリーブ打込み式 ・ 締付け方式 ・ コーンナット式 ・ ダブルコーン式 ・ ウェッジ式	02 防水モルタル塗り 03 床コンクリート 直均し仕上げ 04 セルフレ・、リング・材 塗り	床目地の設置 ・あり ・なし 工法 ・押し目地 施工箇所: 種類 ・せっこう系 ・セメント系 (標15.5.1~5) (標表15.5.1) 施工箇所: 塗り厚さ ※ 10.0mm ・		・ タイル味管え上法 (4) 目地改修工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法 (d) 塗り仕上げ外壁 ・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り	04 モルタル座り 仕上げ外壁 の改修	(a) アンカーヒンニンク部分エホキシ樹脂注入工法 (4.4.10) 浮き部分に対するアンカーピン本数 ※ 16 本/㎡ (一般部分) ※ 25 本ノ㎡ (指定部分) アンカーピン固定用エポキシ樹脂充填量 ※ 25ml/孔 (b) アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.11) アンカーピン本数、注入口の箇所数 (表4.4.3) アンカーピン本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (個/㎡) 一般部分 指定部分 一般部分 指定部分 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 エポキシ樹脂注入量 ※ 25ml/孔
DES	- 級建築士事務所 北海道知事登録 (石) 第323号 株式会社 田 設 計	管理建築士 一級建築士 第314057 号 岡田 =	設計者 法適合設計者(確認者) 一級建築士 第314057号 構造一級建築士 第 号 設備一級建築士 第 号 庫生 岡田 幸生	検図 1	担当 TITLE 中頓別町立中学校改修工事	設計図 _	DRAWING NAME 改修工事特記仕様書 3 DRAWING NO. A-O O 3 DRAWING DATE. 2024.07 SCALE NO SCALE BUSINESS NO.

アンカーピン アンカーピン 一般部分 ※ 13 エポキシ樹脂 (d) 注入口付 浮き部分に交 ※ 9 ※ 16 エポキシ樹脂 (e) 注入口付 アンカーピン	************************************		(g) 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.5.13) アンカーピン本数、注入口の箇所数 アンカーピン本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (個/㎡) 一般部分 指定部分 一般部分 指定部分 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 エポキシ樹脂注入量 ※ 25ml/孔 (4.5.14) (h) 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラグー注入工法アンカービン本数、注入口の箇所数 (4.5.14) アンカーピン本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (個/㎡) 一般部分 指定部分 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 エポキシ樹脂ポリマーセメントスラリー注入量 ※ 50ml/孔 (i) 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (4.5.15)アンカーピン本数注入口エポキシ樹脂注入量 ※ 25ml/孔	07 鋼製軽量建具	建具の性能 (5.2.2) (表5.2.1) 遮音性による性能 ※ T- 断熱性による性能 ※ H- 耐震性による性能 ※ D- 鋼製軽量建具の性能 ・簡易気密型ドプセットは図示による。 (気密性能A-3) (5.2.2) ・ビニル被覆鋼板は図示による。 (気密性能A-3) (5.4.3) ・カラー鋼板 ・適用しない 建具の性能 (5.2.2) (表5.2.1) 連音性による性能 T- 断熱性による性能 H- 耐震性による性能 D- 性能は図示による。 (5.6.2)	ヘッドドア () ガラス	セクション材料 ※ スチール ・ アルミニウム・ ファイバーグラス (5.12.2) 耐風圧性能区分(JIS A4715) ・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 開閉方法 ※ パランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形・ ハイリフト形・ バーチカル形 ガイドレール ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス(SUS304) 工事範囲 電源ならびに一次側配線は、別途電気設備工事として、操作スイッチ及び 二次側配線は本工事に含む。 ※ フロート板ガラス (JIS R 3202) (5.13.2) ② 型板ガラス (JIS R 3203) ・ 網入板ガラス (JIS R 3204) ※ 網入型板ガラス ・ 網入磨き板ガラス ・ 合わせガラス (JIS R 3206) ※ フロート合わせガラス ※ 強化ガラス (JIS R 3208) 日射熱取得率による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 熟練吸収網入り磨き板ガラス ・ 熱練吸収網入り磨き板ガラス ・ 熱練吸収網入り磨き板ガラス
アンカーピン アンカーピン	※ 16 ※ 9 ※/16 主入量 ※ 25ml/孔 シカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 本数、注入口の箇所数 (4.4.15) 本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (個/㎡)	06 塗り仕上げ 外壁等の改修	(j) 伸縮目地改修工法	08 ステンレス製 建具 09 木製建具	性能は図示による。		 色調 ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・グリーン ・複層ガラス(JIS R 3209) 断熱性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 日射熱遮へい性による区分 ・ G ・ S 加速耐久性による区分 ※ Ⅲ類 ・熱線反射ガラス(JIS R 3221) 日射熱遮へい性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
05 タイル張り 仕上げ外壁 の改修	指定部分 一般部分 指定部分 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50ml/孔 ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法		・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗り工法 ・ 水洗り工法 (b)下地調整塗材の種類 ※ セメント系下地調整材 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 防水形仕上塗材主材 ・ セメント・ラテックス主材 ・ カチオン系下地調整材 c)サンダー工法		 ★ 図ボによる 休月10.7.2) かまち戸のかまち及び鏡板の樹種 ※ 図ボによる ふすまの上張りの種類 ※ 図ボによる 枠及びくつずりの材料 フラッシュ戸の表面板厚さ ※図ボによる 一般事項(18 揮発性有機化合物対策)による。 ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放出量については、1章 一般事項(18 揮発性有機 		耐久性による区分 ・ A類 ・ B類 ・ 倍強度ガラス(JIS R 3222) ガラス溝の大きさ (面クリアランス) (5.12.3)(表5.12.1) 強化ガラス: mm 合わせガラス: mm 倍強度ガラス: mm ガラスの厚さ及び特性 ※ 図示による ○ アルミ断熱パネル t6 シルバー色 場所: 図示
注入間隔 注入量 (c) 手動式工: 注入間隔	エボキシ樹脂注入工法 ※ 200から300mm c c ギシ樹脂注入工法 mm ポキシ樹脂注入工法 mm		処理範囲 ※ 既存仕上面全体 (d) 高圧水洗工法 処理範囲 ※ 既存仕上面全体 (e) 塗膜はく離剤工法 処理範囲 ※ 既存仕上面全体 (f) 水洗い工法 処理範囲 ※ (c)~(e)で処理する範囲以外の既存仕上面全体	10 樹脂製建具	化合物対策)による。 接着剤はF★☆☆等の規制対象外材料で、トルエン・キシレンを含有していないもので、可塑剤は難揮発性のものとする。 窓枠用形材:硬質ポリ塩化ビニル製(JIS K 6785) 建具の性能(JIS A 4706) 種別 外部 内部 性能による種類 ・普通・防音・断熱・普通・防音・断熱	(18) ガラスの 留め材	種 別
抜き取り部分 タイル張替え工法 (a) 伸縮調整 ※ (表	地及びひが割れ誘発目地の位置 (4.5.8) 5.1) による	1 1 章 ① 改修工法	世		用途による種類 ・木部用・RC造 耐風圧性による性能 ・S-3 ・S-4 気密性による性能 ・A-3 ・A-4 水密性による性能 ・W-2 ・W-3 ・W-4 遮音性による性能 ・T- 断熱性による性能 ・H-	19 ガラスブロ ック積み	複層、合わせ、網入ガラスには、建築用ガスケットを使用してはならない。 防火戸のガラスの留め材は、建築基準法第2条第9号の2口の規定に基づき 定められ又は認定を受けた条件による。 (5.13.2) 表面形状、呼び寸法、厚さ(JIS A 5212) ※ 図示による (5.13.5) 力骨の材質、寸法、形状 ※ 図示による 金属製化粧カバーの材質、寸法、形状 ※ 図示による
※ コンクリート 10mm以上、	よる / (ひび割れ誘発目地の寸法 継目地及びひび割れ誘発目地は幅20mm以上、深さ 記以外の目地幅10mm以上、深さ10mm以上 凹凸、広狭等ないものとする		新規金属製建具の開口の開け方及び建具周囲の補修工法及びその範囲 ※ 図示による 建具周囲のシーリング材 種類 ・ 変成シリコーン形 (MS-2)	11 建具用金物	金物の材質・仕様は図示による。	12草	内装改修工事 (a) 既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
・ 図示による (b) タイル張 タイルの種類	の工法 (表4.5.4)	02 防火戸	耐久性 ・ 防火戸の指定及び閉鎖機構は図示により、建築基準法第2条第9号の2口の 規定に基づき定められたもの又は認定を受けたもの。 (5.1.4) 自動閉鎖機構及び工事範囲 ・ 建具表による	12 自動ドア 開閉装置	シリンダーサイド、軸吊ヒンジ及びドアクローザーの遅延閉機能は図示による。 開閉方法 ※ 図示による (5.8.1~4) スライディングドア開閉装置の性能値	取り合い等	※ 壁厚程度とし既存仕上に準じた仕上げを行う (6.1.3) ・ 図示による (b)天井内既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600m程度とし既存仕上げに準じた仕上げを行う
・ 外装タイル	小口タイル以上 ・ 密着張り 二丁掛け以下 ・ 改良積上げ張り ・ 乾式引掛張り ・ 接着張り ・ 25mm角を越え ・ マスク張り ルロタイル未満	03 建具見本の 製作等ほか 04 アルミニウム	見本製作 ・ 行う ※ 行わない (5.1.5) 仮 組 ・ 行う ※ 行わない (5.1.7) 防犯建物部品の適用 ・ あり (図示) ・ なし (5.1.7)		 ※ 図示による スイングドア開閉装置の性能値 ※ 図示による センサの種類 ・ 光線スイッチ・ 熱線スイッチ ・ 光電スイッチ 東結防止装置 ・ (5.8.3) 		・ 図示による (c) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示による
(c) アンカー 厚き部分に交 ※ 16	・ 25mm角以下 ・ モザイクタイル張り ンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.5.9) するアンカーピン本数 本/㎡ (一般部分)	製建具	・ A種 ※ B種 ・ C種 備考 耐風圧性による性能 S-4 S-5 S-6 気密性による性能 A-3 A-4	13 自閉式上吊り 引戸装置	(5.9.1~4) (表5.9.1) Fの総質量 手動開き力 手動閉じ力 ・ 40kg以下 ※ 15N以下 ・ ※ 15N以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ※ 20N以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	② 工法	(a) 既存床、壁及び天井の撤去 (6.1.4)(6.2.1~6.4.2) ※ 図示による (b) 新設の床、壁及び天井の下地 ※ 図示による
クリスカーピン (d) アンカーピン アンカーピン アンカーピン アンカーピン 一般部分	本/n' (一般部分) 固定用エポキシ樹脂充てん量 ※ 25ml/孔 「ンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.5.10) 本数、注入口の箇所数 本数 (本/m') 注入口の箇所数 (個/m') 指定部分 一般部分 指定部分 ※ 20 ※ 12 ※ 20		水密性による性能 W-4 W-5 遮音性による性能 T- 断熱性による性能 H- 絶縁型(枠・障子共) 耐震性による性能 D- 枠の見込み寸法(mm) ※ 70・100 ※ 100 表面処理 ※ 標準色・特注色	14 重量 シャッター	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター ・ その他 (5.10.2) 耐風圧強度 (一般重量シャッター又は外壁用防火シャッター)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03 既存床の 撤去並びに 下地補修	(c) 仕上げ (6.8.1~6.16.5) ※ 図示による 工 法 (6.2.2) (a) 既存床仕上げ材の除去等 (1) ピニル床シート等の除去 浮き部、欠損部の下地モルタルの撤去 ・ 行う ※ 行わない ・ 図示による
(e) アンカーt アンカーピン アンカーピン 一般部分 ※ 13	主入量 ※ 25ml/孔 ンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 本数、注入口の箇所数 (4.5.11) 本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (個/㎡) 指定部分 一般部分 指定部分 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ポリマーセメントスラリー注入量 ※ 50ml/孔	05 網戸	内部建具 (5.2.4) 枠の見込み寸法(mm) ※ 7 0 · 1 0 0 表面処理 ※ B-1種・ 水切り板、ぜん板等 ※ 図示による 網の材種 ※ 合成樹脂 · ガラス繊維入り合成樹脂 · ステンレス(SUS316) 線 径 ※ 0.25mm以上 · メッシュ ※ 16~18 ·	15 軽量 シャッター	火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に定める基準に適合するもの 工事範囲 電源ならびに一次側配線は、別途電気設備工事として、操作スイッチ及び 二次側配線は本工事に含む。 スラットの材質 ※JIS63312塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 スラットの形状・ インターロッキング系 ・ オーパーラッピング系	04 既存壁の	(2) 合成樹脂塗り床材の除去等 ・ 機械的除去 ・ 目荒し工法 (3) 改修後の床の清掃範囲 ・ 改修部の端部より m 程度 ・ 図示による (4) コンクリート又はモルタル面の下地処理 ・ ポリマーセメントモルタル ・ エボキシ樹脂モルタル エ 法
(f)注入口付 浮き部分に対 ※ 9 ※ 16	(4.5.12) するアンカーピン本数 本/㎡ (一般部分) 本/㎡ (一般部分) な/㎡ (一般部分) 本/㎡ (一般部分)	06 鋼製建具	鋼製建具の性能 ・ 簡易気密型ドアセットは図示による。(気密性能A-3 水密性能W-1) (5.4.2) ・ 簡易気密型ドアセットの外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6		開閉機能による種類 ・ 上部電動式 (手動併用) ※ 手動式 (5.11.2) 耐風圧強度 ・ 工事範囲 電源ならびに一次側配線は、別途電気設備工事として、操作スイッチ及び 二次側配線は本工事に含む。	撤去並びに 下地補修 (15) 既存天井の 撤去並びに 下地補修	(a) 間仕切壁の撤去 間仕切壁の撤去 (6.3.2) ① 図示による (6.4.2) ① 既存下地材利用 ・ 下地材を含めて撤去 ・ 図示による
DESIGN	-級建築士事務所 北海道知事登録 (石)第323号 株式会社 田 設 計	管理建築士 一級建築士 第314057 号 岡田 幸	設計者 法適合設計者値認者 一級建築士 第314057号 構造一級建築士 第 号 設備一級建築士 第 号 生 岡田 幸生	検図	世祖当 TITLE 中頓別町立中学校改修工事	設計図	DRAWING NAME 改修工事特記仕樣書 4 DRAWING NO. A-O O 4 DRAWING DATE. 2024.07 SCALE NO SCALE BUSINESS NO.

06 木材	木材の含水率 ※ A種 ・ B種 (6.5.2) (表6.5.3) 造作材の等級 ※ A種 ・ B種 (表6.5.4)	21) ビニル幅木	材種 ※ 軟質 ・ 硬質 (6.8.2) 厚 さ ※ 1.5mm ・		テディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びバーティクルボードのホルムアルデヒド放出量 については、1章 一般事項 18 揮発性有機化合物対策 による。	06 水性反応硬化 形ウレタン	
	代用樹種を使用しない場所 : ラワンを使用する箇所 :※ 図示による ・	(a) 1° ·· ÷·	高 さ		遮音シール材 (6.13.2) ・ アクリル系シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド (表3.7.1)	樹脂ペイント 塗り	下地調整 種別 ・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種 (表7.2.1 ・ 鉄面
	表面仕上げの程度の種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 (表6.5.1)	(22) ビニル床シー ト(タイル)	F☆☆☆☆等の規制対象外材料で、水性形(一般床用のみ)のものとし、トル エン・キシレンを含有していないもので、可塑剤は難揮発性のものとする。		下地 ※ 図示による (6.13.3) 合板	 (つや有り) [WUP]	下地調整 種別 ・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種 (表7.2.2
07 構造用集成材 及び単板	・ 構造用集成材の種別(日本農林規格) (6.5.2) 樹種等級材面 接着性能 寸法 施工箇所 備 考	・幅木・特殊 機能床材の	※ 一般床用 (6.8.2)(表6.8.1) ・ 耐水等床用 施工箇所 :		・ 天然木化粧合板 樹種: 厚さ: mm	[[HOI,]	
積層材	· 1種	接着材 (23) カーペット	材料の種類・種別 (6.9.2)(6.9.3) (表6.9.1·2)		・ 特殊加工化粧合板 厚さ: mm 合板のホルムアルデヒド放出量については、1章 一般事項 18 揮発性有機		・コンクリート、ALCパネル面
	ホルムアルデヒド放出量については、1章 一般事項(18 揮発性有機化合物	敷き	番類 種別 パイルの 寸 法 T注 毎毎 基票防止		化合物対策 による。 張付け ・ A種 ※ B種 (表6.13.3)		下地調整 種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 (表7.2. ・ コンクリート、押出成形セメント板面
	対策)による。 ・ 構造用単板積層材の種別(日本農林規格) (6.5.2)		・織じゆ ・ A種 ・ ループ・パイル ※グリッパー ・ 無地 ・ あり		せっこうボードの目地処理 (表6.13.5) ※ 継目処理 ・ 突付けV処理 ・ 突付け ・ 目透かし		下地調整 種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ せっこうボード、その他ボード面
	樹種 等級 曲げ性能 水平せん断性能 寸法 施工箇所		うたん ・B種 ・カットパイル ・ 色柄 ・ なし	29 吸音材	w音材の材種 (JIS A 6301) (標19.9.2~3)		下地調整 種別 ・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種 (表7.2.
			・タフテット・ ・ループパイル ※全面接着・無地・あり カーペット ・カットパイル ・グリッパー・色柄・なし	及び断熱材	材種 品質・規格 厚さ (mm) ・ ロックウール吸音材 ※ ロックウール吸音ボード1号 ・ 25 ・ 50	07 アクリル樹脂	下地調整 種別 · RA種 ※ RB種 · RC種 (表7.2.
	対策)による。		- ニードル ・ラバー付・ループパイル ※全面接着 ・無地 ・あり		• 40	[AE]	EXEM NE NOE OE (2010)
08 造作用集成材 及び単板	・ 造作用集成材の種別(日本農林規格) (6.5.2) 樹 種 見付け材面 寸 法 施工箇所 備 考		- 色柄 ・ なし		(・24K相当・32K・48K ・64K) ・	08 水性アクリル 樹脂エマルシ	工程、塗布量については、各メーカー仕様による。 ・ 木部
積層材	※ 1種 図示 ・ 2種		(・)ライル ※1種 ・ループパイル ※ ※全面接着 ・無地 ・あり カーペット ・2種 ・カットパイル 500X500X6.5 ・色柄 ・なし		工法 ・ ガラスクロス(JIS R 3414EP)にて額縁張りしたもの断熱ファスナー留め ・ ガラスクロス(JIS R 3414EP)にて片面張りしたもの断熱ファスナー留め	ョンペイント 塗り	下地調整 種別 ・RA種 ※ RB種 ・RC種 (7.10.1~2)(表7.2. ※ モルタル、プラスター面
	ホルムアルデヒド放出量については、1章 一般事項(18 揮発性有機化合物		L		材質 厚さ(mm) 施工箇所 種 別	(室内環境対応形)	下地調整 種別 · RA種 ※ RB種 · RC種 (表7.2.
	対策)による。 - 化粧ばり造作用集成材の種別(日本農林規格) (6.5.2)		対策 により、接着剤はF☆☆☆等の規制対象外材料で、トルエン・キシレンを含有していないもので、可塑剤は難揮発性のものとする。		・ ピース゚法ポリステレンフォーム (EPS) ・ 保温板特号 ・ 押出法ポリステレンフォーム (XPS) 図示 図示 - R温板特号 - B-2 ・ B-3	[EP-G]	・ コンクリート、ALCパネル面下地調整 種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 (表7.2.
	樹種 見付け材面 厚さ 寸法 施工箇所 ※1等		下敷き材 ※ JIS L 3204 第2種 2号 呼び厚さ8mm (6.9.2)		・ 硬質ウレタンフォーム		・ コンクリート、押出成形セメント板面下地調整 種別 ・ R A 種 ※ R B 種 ・ R C 種 (表7.2.)
		24)合成樹脂塗床	・ 弾性ウレタン塗床 (6.10.2)(6.10.3) 表面仕上げ 厚さ(mm) 品質・性能		備考:特定フロンを使用しないもの		せっこうボード、その他ボード面下地調整 種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 (表7.2.
	対策)による。		※ 平滑仕上げ ※ 2.0 (6.10.1)表による。その他材料は主材料		屋根外断熱材及び土間下敷込材はB類3種(表皮付)を使用する。 ・ ウレタン発泡材 (現場発泡)はJIS A9526の特性値に適合し難燃とする。	09 合成樹脂調合	塗料の種類 ※1種 (18.4.
	・ 造作用単板積層材の種別(日本農林規格) (6.5.2) 樹種 表面の品質 防虫処理 寸法 施工箇所		・防滑仕上げ ・ ・ 製造所の指定する製品とする。		 グラスウール断熱材はJIS A9522の規格品とし、密度24kg/m3とする。 ロックウール保温材はJIS A9504またはJIS A9521の規格品とし、 	ペイント塗り [SOP]	塗り種別 ※屋外A種 屋外B種 工程、塗布量については表18.4.1による(18.4. 素地ごしらえ
			※ エポキシ樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3) 表面仕上げ 厚さ (mm) 品質・性能		・ ブローイングエ法はJIS A9523 (吹込用グラスウール)、JIS A9524 (吹込用 ロックウール)、JIS A 9525 (吹込用セルロースファイバー)による。		・木部 ※A種 ・B種 (表18.2. ・鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種 (表18.2.
	ホルムアルデヒド放出量については、1章 一般事項(18 揮発性有機化合物 対策)による。		※ 防滑仕上げ ※ 2.0 (6.10.2)表による。その他材料は主材料 ・ 薄膜流し展べ ・ 製造所の指定する製品とする。	(30) 壁紙張り	ロック・フール)、 515 N 9325 (火込用セルロースファイハー) による。 壁紙張りの品質 (6.14.2)		・亜鉛めっき面 ※A種 · B種 · C種 (表18.2.
09 床張り用合板			仕上げ	© 14747	品質 程度 施行箇所 防火性能 ビニル系 普及品 ※壁・天井 ※1級 ・2級		・鉄鋼面 ※A種(見え掛り) ※B種(見え隠れ) (表18.3.
及びその他 ボード	ホルムアルデヒド放出量については、1章 一般事項(18 揮発性有機化合物 対策)による。	25 その他の塗床	種別			40.04.00===112.14	・亜鉛めっき面 ※A種(鋼製建具等) ※B種(その他) (表18.3.
10 接着剤	木工事に使用する接着剤はF☆☆☆☆等の規制対象外材料で、トルエン・キシ		塗り回数 回 厚さ mm (6.11.2~6)(6.11.1~4)		壁紙はホルムアルデヒド放出量が I SM又は同等の基準のものとする。 接着剤はF☆☆☆☆等の規制対象外材料で、有機溶剤(トルエン・キシレン等)	10 鉄鋼面耐候性 塗料塗り	塗り種別 ※8種 ※工程、素地ごしらえ、塗布量については表18.7.1による (表18.7.4
11 防腐処理	レンを含有していないもので、可塑剤は難揮発性のものとする。 (6.5.2) 非有機リン系とする (6.5.2)	26 フローリング 張り	材料の類別・種別 横種 工法 厚さ・板幅・板長		の含有の少ないもので、可塑剤は難揮発性のものとする。 下地調整の種別 (表7.2.4)(表7.2.7)	[DP] 11 浸透性撥水材	工程、塗布量については、各メーカー仕様による。
川川冽廣ツ理	防腐剤 ・ 同等品 回塗り		・ ・ ぶな ・ 湿式 12・75・500 ・ ※ なら ※ 乾式 (・釘留め)		モルタル面 ・ R A 種 ※ R B 種 せっこうボード面 ・ R A 種 ※ R B 種	(ケイ酸質系)	上仕、坐印里にプいては、ゼクーガーは保による。 ・
12 防ぎ処理	・ 同等品 回塗り (6.5.2)		(※接着)	31) 陶磁器質	タイルの種類及び工法 (6.16.3)		
に別りた性	・する ・しない		・	タイル張り	施工箇所 形状寸法(mm) 職員Hル 磁器質 きじ ① 磁器 ・陶器 ・せっ器	14章	耐震改修工事
13 ラワン材の 防虫処理	非有機リン系とする (6.5.2) ※ する ・ しない		揮死性有機化音物対象		50x50 うわぐすり ・施ゆう ・無ゆう 役物 ・あり ・かなし	① コンクリート の種類及び	※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリートコンクリートの強度及びスランプ(8.1.3) (8.1.4)
W.Z.	防虫処理剤 : 「広葉樹製材の日本農林規格」の保存処理 K1	27 畳敷き	裏面の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート・ 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (6.12.2) (表6.12.1)		色 ・特注 工法	強度	設計基準強度 スランプ (cm) 施工箇所 ※ Fc=21N/mm2 ・ 15 ※ 18 耐震補強壁
14 床板張り	工法 (6.5.8)(表6.5.10) 名称 種類 厚さ	27 宜湫で	※ D種(JIS A 5914 畳床) (・KT-I ・KT-II ・KT-II ・KT-K ・KT-N)		上次 規格 JIS A 5209		※ F C - 21 N / IIIII
	下張り用床板 ※ 合板 · ※ 12mm · mm 置下床板 ※ 合板 · ※ 12mm · mm	②8 せっこうボ ード、その他	材料の類別・種別 (6.13.2) (表6.13.1) 種類 (記号) 種別 厚さ(mm) 備考		 ・ 伸縮目地の位置及び寸法 ※ 図示による (6.16.2) ・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない (6.16.3) 		
4E +# = M =	20.1 FF 97	ボード及び	BB ※ 9.5 (準不燃)		・見本焼き・行う・行わない(6.16.3)	② レディミク ストコンクリ	※ I類 · I類 (8.1.
(15) 軽量鉄骨 天井下地	野縁等の種類 屋内 ※ 19形 屋外 ※ 25形 (6.6.2)(表6.6.1) 屋外の吊りポルト、インサートの間隔 ※ 図示による	合板張り	せっこうボード (GB-R) ^宝 (12.5 · 15 (不燃) 天 (9.5 (準不燃)		・ コンクリート素地面目荒らし行う・ 行わない・ 壁タイル張り・ 改良積上げ張り・ 接着剤張り(6.16.5)	ートの類別	
	あと打アンカー施工 ・ 行う ※ 行わない (6.6.4) 引抜き試験 ・ 行う ※ 行わない (6.6.4)		井 ・ 12.5 ・ 15 (不燃)	③② 内装材の	内装材で使用する接着剤は、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレンを	03 構造体コン クリートの	構造体コンクリートの強度は設計基準強度 (f c) に気温による補正値 (T) 及び構造体コンクリートの強度と供試体の強度との差を考慮した割増し (ΔF)
	既存埋め込みインサート ※ 使用する ・ 使用しない (6.6.4) 屋外軒天、ピロティ天井の補強 ※ 図示による (6.6.4)		化粧せっこう	接着剤	含有していないもので可塑剤は難揮発性のものとする。	強度	3N/mm2を加えたものとする。 (8.1.
16 軽量鉄骨壁	形式及び寸法 (6.7.3)(表6.7.1)		※ホルムアルデヒド ※ 455×910 ・ 910×910 ・ 12.5・ (不燃) 対策型 ・ 木目模様(システム下地) ・ 9.5 ・ (準不燃)	13章	塗装改修工事 	①4 コンクリート の仕上がり	合板せき板の打放し仕上げ (8.1.4) (表8.1. 種 別 ※ A種 施工箇所 : 耐震補強壁
下地	スタッド、ランナーの種類 ※ 50形 ※ 65形 ・ 90形 ① 100形 ② 25形		強化せっこう ・ 9.5 ・ 12.5 (不燃)	① 材料	塗料はF☆☆☆☆等の規制対象外材料で、揮発性有機化合物の少ない (7.1.3) ものを使用すること。		※ B種 施工箇所 :・ C種 施工箇所 :
17 ビニル床シ 一ト張り	種類の記号 ※ N C ・ 図示による 色柄 ※ 無地 ・ 図示による		ボード (6B-F) ・ 15.0 ・ 21.0 (不燃) 吸音用穴明せっこ ・ 9.5 ・ (準不燃)	02 防火材料	※ 指定なし ・ 指定あり (7.1.3)		その他 施工箇所 : コンクリートの平坦さ ※ (表8.1.4) を標準とする。
	厚 さ ※ 2.0mm ・ 熱溶接工法 ※ あり ・ なし (6.8.3)		うボード (GB-P)	03 下地調整	既存塗膜の除去範囲 ※ 図示 ・ 塗り替え面積の30% (7.2.1)	05 鉄骨製作工場	コンプリードの十二と ※ (表の) 計りで標準とする。 全国鉄構工業連合会の下記の認定を受けたもの。 (8.1.
18 ビニル床	種 類 ※ 半硬質コンポジション (6.8.2)		うボード (GB-D)	04 水性反応硬化 形アクリル	工程、塗布量については、各メーカー仕様による。 (2回塗り) ・ 木部		・ Hグレード ※ Mグレード以上 ・ Rグレード以上 ・ Jグレード以上
タイル張り	・ 軟質コンポジション ・ ホモジニアス		化粧吸音板	樹脂ペイント塗り	下地調整 種別 · RA種 ※ RB種 · RC種 (7.9.1~2)(表7.2.1) ・鉄面	(06) 施工管理 技術者等	鉄骨製作工場には鉄骨製作管理技術者(鉄骨造建築物の設計、施工等にか かわる指導及び品質管理を行う能力のある者)、及び溶接作業に際しては溶接
10 4+74 100 00 1	厚さ ※ 2.0mm ・ 3.0mm		- 15.0 (不燃)	(つや有り)	下地調整 種別 · RA種 ※ RB種 · RC種 (表7.2.2)		施工管理技術者 (JISZ3410による溶接管理を行う能力のある者) を置く。 (8.1.6)(8.1.6)(8.14.
19 特殊機能床材	形 状 ビニル系シート		プレキシブル	[IBWAP] EP-G		07 鉄骨の工作図	高力ポルト及び普通ポルトのケージ、ピッチ、へりあき等は国土交通省大臣官 房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による (8.1.
	厚 さ (mm) 2.0mm エ 法 熱溶接工法		けい酸カルシ		下地調整 種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 (表7.2.3) 錆止め塗料は、室内汚染防止型とし、各メーカー仕様による。	(8) 鉄筋の種類	
20 ゴム床タイル	種 類 (6.8.2)		- 難燃木毛 セメント板	05 水性ウレタン			鉄筋 種別 適用径 規格番号 ・異形鉄筋 ※ SD295 ・ D16以下 JISG3112
	厚 さ(mm)		・ 断熱木毛	木部用 クリアー塗り	・ 木部 下地調整 種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 (7.12.1~2)(表7.2.1)		※ S D 345 D 1 9 以上
		管理建築士		[WUC] [UC]			DRAWING NAME DRAWING NO. A - O.O.
	ADA - 級建築士事務所 北海道知事登録(石)第322号	一級建築士	一級建築士 構造一級建築士 設備一級建築士	横区	TITLE 中頓別町立中学校改修工事	設計図	DRAWING NAME 改修工事特記仕様書 5 DRAWING NA. A - 0 0 DRAWING DATE. 2024.0
OF	株式会社 田 設 計	第314057 号 岡田 孝	第314057号		〒飯川門ユヤナ牧収除土井		SCALE NO SCALE BUSINESS NO.

09 溶接金網	網目の形状、寸法 (mm) ・ 100×100 ・ 150×150 (8.2.2)	(16) 鉄筋の加工	鉄筋の継手 (構造図による) (8.3.1~2)	15章	環境配慮改修工事		(d) アスベスト含有成形板の集積、運搬等
7018244	鉄線の径 ・ 3. 2mm ・ 6. 0mm 規格番号 JISG3551	及び組立	※ 重ね継手 D16以下	(01) アスベスト	(a) アスベスト含有吹き付け材の封じ込め処理及び囲い込み処理工事 (9.1.1)		(1) 除去したアスベスト含有成形板の集積及び積み込みに当たっては、高
10 あと施工	 ・ 金属拡張アンカー (8/2.4) 		※ ガス圧接継手 D19以上(SD295Aは圧接不可) ・特殊な継手 ・ 溶接継手) (8.4.2)(8.4.3)	今友建せの	・ 図示による・ 図示による		所より投下しないことの他、粉じんの飛散防止に努める。 (2)破砕されたアスベスト含有成形板は、湿潤化の上、丈夫なビニル袋に
アンカー	種別 アンカー径及び埋込み 施工箇所		# 特殊な秘子 (* 機械丸秘子 * 冷核秘子) (0.4.2)(9.4.3)	処理工事	(b) 仕上げ工事 (9.1.1)		スカストライスの大きなでは、近月にのエ、大大なビール表に 入れる等、飛散防止の措置を講ずる。 密封処理 (二重袋梱包)
· '	深さ (mm) ボニー ボニ		最小かぶり厚さ及び配筋、補強筋は構造特記又は図示による。 (8.3.5)		アスベスト含有建材除去後の仕上げ ※ 図示による		(3)除去したアスベスト含有成形板を搬出するまでの間、現場内に保管す
	・内部コーン打込み式 埋込み深さ (mm)		ガス圧接		(c)施工調査		る場合は、一定の保管場所を定め、他の内装材等と分別して保管する
	※ 本体打込式		圧接作業は工事に相応したJISZ3881による技量を有する圧接技量者とする。 抜取試験 ・ 超音波探傷試験(JISZ3062) (8.3.8)		分析によるアスベスト含有の調査		ものとし、シートで覆う等、飛散防止措置を講ずる。また、保管場所に は、アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。
'	・	(17) コンクリート	気温による温度補正		※ 含有調査済:含有建材等は、図示による。 ・ 含有調査: ヶ所 調査部位:		(4)アスベスト含有成形板の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート
	・ ポトリカスト コーフテッド式	の製造及び	メニースの三段性に 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種の温度補正 / (表8.5.1)		○ 下記はみなし建材として処理する。		等で覆い、飛散防止に努める。
	・ ダブルコーン式	品質管理	補正値(T) 3 N / mm2 (期間)		ゾノライト吹付		建物内部に使用する建材、製品のホルムアルデヒド放散量については、 1章-般事項(24「揮発性有機化合物対策」)、19章内外装工事
'	・ ウェッジ式		6N ∕mm2 (期間) ただし、ラップルコンクリート、捨コンクリートは除く				(1「材料」)による。
· '	次 接着ボアンカー (構造図による) (6.2.4) 種 別 アンカー径 (fm) 施工箇所		寒中コンクリート		分析方法は、JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定法」とする。		
'	※ カプセル型 · ポリエステル系 アンカー径 (mm)		適用期間 (標6.11.1)		アスベスト粉じん濃度測定 ※ 行う ・ 行わない	20章	ユニット及びその他工事
'	※ エポキシアクリレート系 埋込み深さ /(mm)		初期養生 ※ 圧縮強度が5 N / m㎡に達するまで / (標6.11.4) ・ 打設日から 日間		濃度測定: ヶ所 調査部位:	①材料	
	・ エルヤン系		・ 打放口がら ロ间		調宜即位: 除去工事共通事項 (9.1.2)	(I)M A	
	・ 無機系 () /		※ 91日以内かつ420° D·D以下 /		(a) 専門工事業者	2. フリーアク	工法 ・パネル工法 ・溝工法 (標20.2.2)
'	・ 注入型 ・ カートリッジ アンカー <u>径 (mm)</u>		コンクリートの塩化物量 ※ 0.3 kg /m3以下 / (8.6.4)		アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応	セスフロア	構成材の材質 ・アルミ系 ・スチール系 ・有機質
	現場調合 埋込み深さ (mm)	18 鉄骨の工作	鉄骨の製作精度は日本建築学会「建築工事標準仕様書6鉄骨工事」(JASS6)		した技術を有することを証明する資料を提出すること。 (b) 石綿作業主任者 (9.1.2)	3. 移動間仕切	パネル表面仕上げ、寸法、形状は図示による。 (20.2.4)
'	引張耐力 · (金属系) KN ※ (接着系)		付則6. 「鉄骨精度検査基準」による。		アスベスト含有建材の除去にあたっては、石綿障害予防規則(平成17年厚生	0. 19 ay in in 91	THE SECTION AND MISSISSION OF STREET
'			柱底均しモルタルの材料 ・ モルタル(セメント1/: 砂2) ※ 無収縮モルタル (8.2.10)		労働省令第21号。) に基づき選定すること。なお石綿作業主任者は、石綿作	④ トイレブース	パネル表面材 ・ポリエステル樹脂系化粧板 (20.2.5)
· '	せん断耐力 ・(金属系) KN ※ (接着系)		鉄骨の仮組 ・ 行う ※ 行わない (8.13.10)		業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任 者の有資格者とする。	5. 階段滑り止め	材種 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・アルミニウム合金 (20.2.6)
'		19 高力ボルト	すべり係数試験 ※ 行う ・ 行わなん (8.14.2))	日の行員恰合とする。 (c)除去作業者	5. 陷段消り止め	
	埋込み配管等の探査 範囲 ・ / (8.12.4) 方法 ・ / (8.12.4)	接合 ②の 鉄骨の溶接	 溶接技能者は工事に相応した試験等による技量を有する者とする。 (8.15.2~3)		アスベスト含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という)は、		
· '		接合	溶接部の試験の種類 (8.15.12)		石綿障害予防規則に基づく特別教育を受けた者とする。	⑥黒板及び	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	引抜き耐力の確認試験 (8.12.7)		※ 超音波探傷試験 施工場所/ 主架構の完全溶込溶接部		また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診し た者とし、肺機能に異常がない者とする。	ホワイトボード	・ 寸法は図示による。
① コンクリート	セメントの種類 (8. 2. 5) (表8. 2. 3)		(試験は8.13.11(b)による)		(d) 特別管理産業廃棄物管理責任者	① 鏡	JIS R3202による。 厚さ ※5mm (20.2.9)
の材料	※ 普通ポルトランドセメント · 混合セメントA種 · 早強ポルトランドセメント		 JISZ2343-1、JISG0565による試験 施工箇所:割れの疑いのある表面欠陥 		特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。(た		
	骨材の種類 粗骨材 ※ 砂利 ※ 砕右 ・ 高炉スラグ (8.2.5) ・ 電気炉酸化ズラグ ・ 混合材		· 放射線透過試験		だしアスベスト含有成形版の処理工事を除く) (e)表示及び掲示	8. ブラインド	使用箇所 図示 形式 ・横形ブラインド ・縦形ブラインド (20.2.12
'	細骨材 ※砂・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・マクロ試験		「建築物の解体等の作業に関するお知らせ」を周辺住民の見やすい場所に掲		
'	· フェロニッケルスラグ及び銅スラグ · 混合材	②1) 鉄骨の錆止め			示する。		
'	骨材の品質 砂利、砕石、砂、砕砂のアルカリシリカ反応性の区分 ※ A ・ B	塗料	· B種JISK5621 / 1種 (表7.3.2)	02 アスベスト	(a) 除去の工法 (9.1.3)	⑨ カーテン レール	使用箇所 第二保健室 (20.2.14
'	高炉スラグ粗骨材の絶乾密度等の区分 ※ N・L 電気炉酸化スラグ粗骨材の絶乾密度等の区分 ※ N・L			含有吹き付	※ 粉じん飛散抑制剤等で湿潤化後除去		材種 アルミ 形状寸法 固定吊り棒(静音性)、天井直付型(静音性)
· '	混和剤 JISA6204によるAE剤、AE減水剤及び高性能AE減水剤とする。		素地ごしらえ ・ RA種 / ※ RB種 ・ RC種 (表7.2.3)	はせん除土	(b)除去物及び汚染物の処理		かがうな 固定的う神(肝自体)、人が直的生(肝自体)
· '	性能による区分 / ※標準形・促進形・遅延形 (8.2.5)(8.5.8)	22 鉄骨の耐火	 耐火被覆の種別		処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。なお、変更が生 じた場合は、監督職員と協議を行うこと。	10.表 示 板	・室名札 図示 箇所 アクリル製 275 x 75 (20.2.10
'	塩化物イオン量による区分 ※ I種 ・ II種 ・ II種	被覆	種別が材料及び工法備考		(1) 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) ・ セメント固化		・ピクトサイン 箇所 アクリル製
12) 型枠	打増し厚さ ※ 20mm ・ mm ・ 図示による (8.7.8)		・ ラス張りモルタル塗/		(2) 処分施設へ搬出(調書を監督職員に提出する。)	①点 検ロ	床 材種 ※アルミニウム製(一般型、鍵付)
'	ひび割れ誘発目地 ※/位置、形状及び寸法は図示による。 せき板の材料 (8.2.7)		・ 耐火材吹付け		・受入先 (c) 除去したアスベスト含有吹付け材を搬出するまでの間、現場内に保管する	,	寸法 · 450 × 450 箇所 · 600 × 600 箇所
'	とされのわれ		・耐火板 張り		場合は、一定の保管場所を定め、他の内装材等と分別して保管するものと		
	材質 塗装 施工箇所		・ 耐火材巻付け /		し、シートで覆う等、飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、アス		天井 材種 ※アルミニウム製(一般型、鍵付)
'	│				ベスト等の保管場所であることの表示を行う。		寸法
'		②3 既存部分の	既存部分の撤去等/	03 アスベスト	(a) 除去の工法 (9.1.4)		* 位置は現場にて決定
	・ 床型枠用鋼製デッキプレート (建設技術評価品又は同等品)	撤去等	既存仕上げ及び既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による	含有保温材 等の除去	※ 粉じん飛散抑制剤等で湿潤化後除去(手ばらし) ・・ウォーターシ・ェット工法	12.ュニットシャワー	設置場所:
'	・厚さ / mm ・(施工箇所)		既存構造体カンクリート面の目荒らしの程度 	寺の除去	(b) 除去物及び汚染物の処理 処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。なお、変更が生		各仕様はメーカー仕様による
'	・ その他のせき板 ・		※ 柱及び ※ 柱及び ※ 平均深さ10mm、打継ぎ面の3/4		じた場合は、監督職員と協議を行うこと。	12 19 = 15	材質 ※ラワンベニヤ下地、掲示クロス張り(磁石対応)、青木枠(W=30)
(2) AMILL - 17 NT			※ 既存壁 ※ 平均深さ10mm、打継ぎ面の1/3		(1) 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包)・ セメント固化	13. 抱 示 似	村員
① 鋼材の種類	鋼材の種類 (構造図による) (8.2.8)(表8.2.7) 規格番号、名称 種類の記号 施工箇所		割裂補強筋 ※ スパイラル筋 ・ はしご筋		(2) 処分施設へ搬出(調書を監督職員に提出する。) ・アスベスト含有保温材等		
		ON TH⊒H + + - +	++13,+++		・テスペストロ月休温付寺・受入先	14. ピクチャーレール	材種 ※アルミニウム製(中量型)
	建築構造用圧延鋼材 ※ 490B	(24) 現場打ちコン	打込み <u>尤</u> 法 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 (8.21.1~10) 	(04) アスベスト		15. 防滑テープ	設置場所:
	·/JISG3101 SS · 400 · 490 図示による	増設		含有成形板	《 石綿系 <u>石綿板 板</u> 厚さ 6 mm		材質 ※表面砥粒(鉱物粒子)、プラスチック(基材)
'	/ 一版構造用圧延調例 /・ J I S G 3106 S M ・ 400 A , B , C	② 鉄骨ブレース	ブルース設置後の仕上げ ※ 図示による (8.22.1~9)	の除去	・ 押出成形セメント版 厚さ mm		形状寸法
		の設置	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		・ ビニル床タイル 厚さ mm	16. 玄関マット	設置場所:
'	JISG3350 SSC400	26 柱補強工事	│ │/コンクリート又はグラウト材の厚さ ※ 60mm以上 ・ (8.23.1~7)		処理を行う範囲は、図示による。		材質 ※塩化ビニール、コイル構造 t 13
	一般構造用軽量形鋼 ・ JISG3466 STKR400 図示による		√ 打込み工法 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法		(b) 除去の工法 (9.1.5)		形状寸法
/	一般構造用角型鋼管	/	連続繊維補強のひび割れ部改修工法 ※ 掛野されて注		※ 湿潤化後除去(手ばらし)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17. 人口木デッキ	
/	鋼材の断面形状及び寸法は図示による。	/	※ 樹脂注入工法 ・ 図示による 柱の隅角部の面取りの大きさ ※ 図示による		(c)除去物及び汚染物の処理 処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。なお、変更が		材質 ※木材・プラスチック再生複合材 形状寸法
14 高カボルト	※ トルシア形高カボルト (指定又は認定品) (8.2.9)	/	連続繊維補強材の強度試験・行う・行わない		生じた場合は、監督職員と協議を行うこと。	18. 地下二重壁	設置場所:
/	・ JIS形高カボルト (JISB1186)	07.71=	- U LOSE RECORDA		・処分施設へ搬出(調書を監督職員に提出する。)	10. 地下一里笙	
/	・ 溶融亜鉛めっき高カボルト(指定又は認定品) 高カボルト径は図示による。	27 耐震スリット 新設	スリットの幅及び深さ ※ 図示による (8.25.1~2) 耐火材の使用個所及び仕様 ※ 図示による		非飛散性アスベスト成形板 ・受入先		形状寸法
/ '	仮組・行う ※ 行わない	利政/	適合材の使用個所及び仕様 ※ 図示による		· XXII	(18) 家具移設	既存小学校より下足入れ等を移設し利用をする
	すべり係数試験 ※ 行う ・ 行わない	/					距離: 既存小学校~工事場所(中学校)1.5km
15 連続繊維	連続繊維補強材 (8.2.13)	28 免震改修	既存鉄骨の撤去範囲及び撤去方法、処置 ※ 図示による (8.26.1~17)				形状寸法は図示
,	連続繊維シート ※ 行わない	制震改修	防錆処置は製造所の仕様による。 (8.22.8) 免震材料設置後の仕上げ ※ 図示による (8.26.13)				
<i>1</i> ∕-⊦		1 /	2004日111以巴区が圧上リ	1 1		1	
<i>1</i> ∕-⊦	工法 ・ シート工法 ・ テープ工法 ・ ストランド工法	/	検査 項目: (8.26.16)				
≯ − ⊦	工法 ・ シート工法 ・ テーブ工法 ・ ストランド工法 シートの引張強度及びヤング係数は構造特記による。		検査 項目: (8. 26. 16) 数量:				
		管理建築士			担当 TITLE		DRAWING NAME 改修工事特記仕様書 6

DESIGN _{株式会社} 岡 田 設 計

一級建築士 第314057 号 岡田 幸生

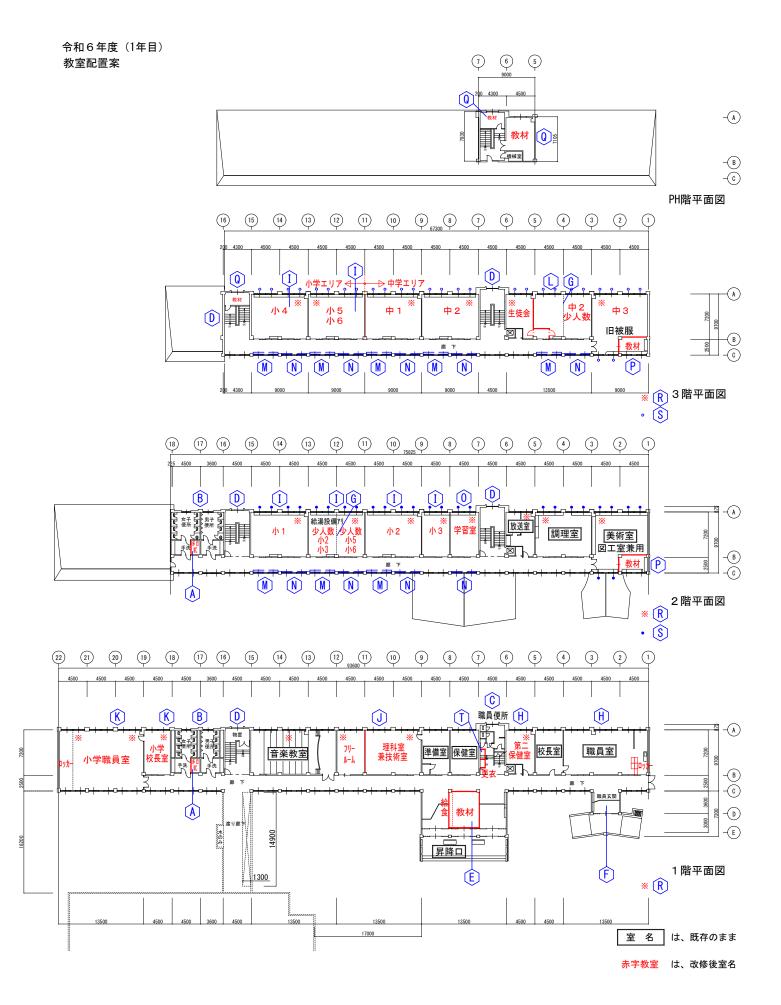
一級建築士 第314057号 岡田 幸生

第号

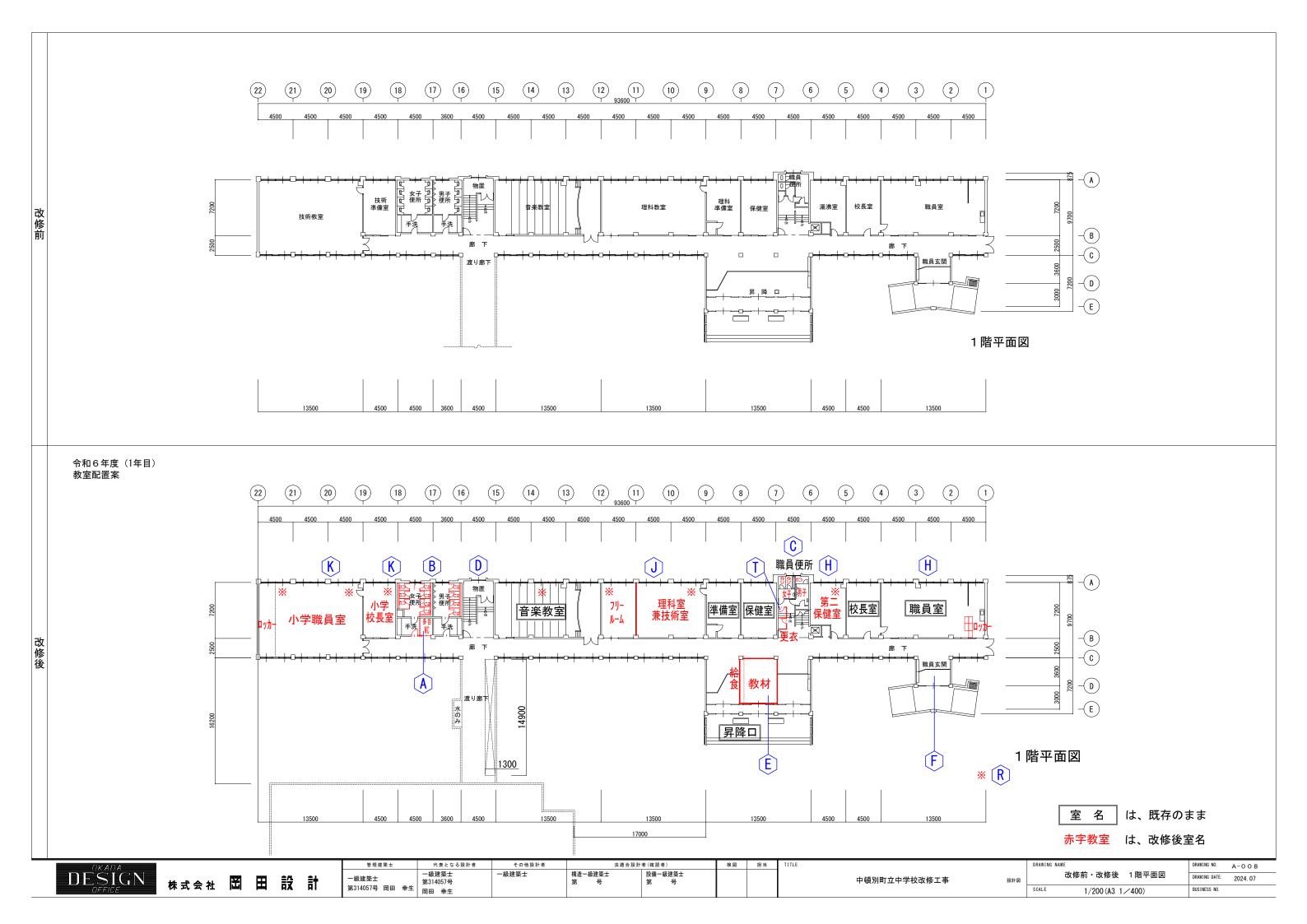
中頓別町立中学校改修工事

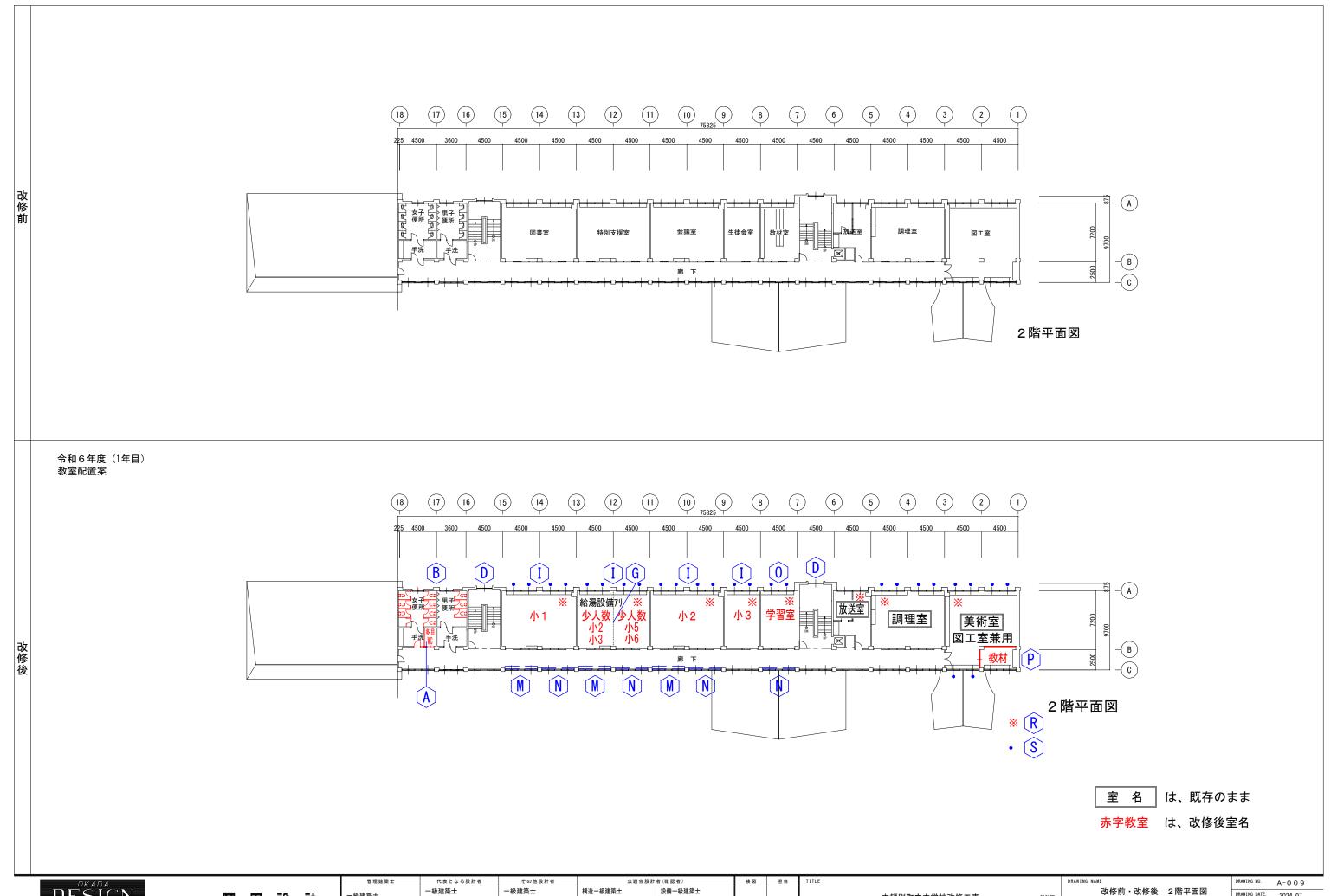
設計図 SCALE NO SCALE BUSINESS NO.

記号	改修内容
A	1F・2F女子トイレ手洗い部分に多目的WCを設置 ① 間仕切り壁新設
B	各階生徒用トイレ ① 和式便器を 洋式に改修 ② トイレプース やり替え ③ ①改修に伴い床仕上げ改修
<u>©</u>	職員トイレ ① 和式便器を 洋式に改修 ② ①改修に伴い床仕上げ改修 ③ 女子トイレ 便器増設 ④ 小便器 やり替え ⑤ 手洗い器、が き 撤去、新設 ⑥ 間仕切り壁 撤去、新設 ⑦ 照明器具 撤去、新設
(D)	① 階段手摺に、落下防止のパネル取付 ② 片側手摺 新設
Ê	昇降口 改修 ① 小学校の下足入れを再利用 ② 中学生用下足入れも再利用
	③ 教材室を設ける ④ 給食置場を設ける
(F)	① 小学校職員用下足箱 移設 (既存下足入れ再利用)
G	特別支援教室 ① アコーディオンカーテン新設 (2F、3F 2か所)
H	ロッカー室を第2保健室 改修 ① ロッカーを職員室に移設 ② 内壁 塗装やり替え ③ 電機温水器(設備)新設
1	各教室の改修 ① 内壁の塗装やり替え
()	理科室の改修 ① 実験テーブルは3台を残し撤去する ② 実験テーブルのガス、給排水の撤去補修 ③ フリールーム新設の為、間仕切り壁(遮音仕様)新設
K	1F技術室を小学職員室へ 技術準備室を小学校長室に改修 ① 技術室の内壁、床仕上げのやり替え ② 準備室の内壁、床仕上げのやり替え ③ ロッカースペースを設ける
(L)	3Fコンピ [°] ューター室の改修 ① 間仕切り壁を新設して生徒会室、特別支援教室を設ける
M	2. 3階廊下に図書コーナーを設ける
N	廊下窓下にコート掛け 整備 (90ヶ所分フック新設)
0	2F教材室を特別支援教室へ改修 内壁、床のやり替え ① 収納棚 撤去 ② 内壁仕上げのやり替え
P	3F被服室と、2F美術室内に教材室を設ける 間仕切り設置
0	PH階の書庫、暗室 及び3階物置を教材室に利用
R	FF暖房新設 ① 1階は建具改修
<u>\$</u>	2階以上教室に手摺 新設 ① FL+1200
(Ť)	更衣室新設

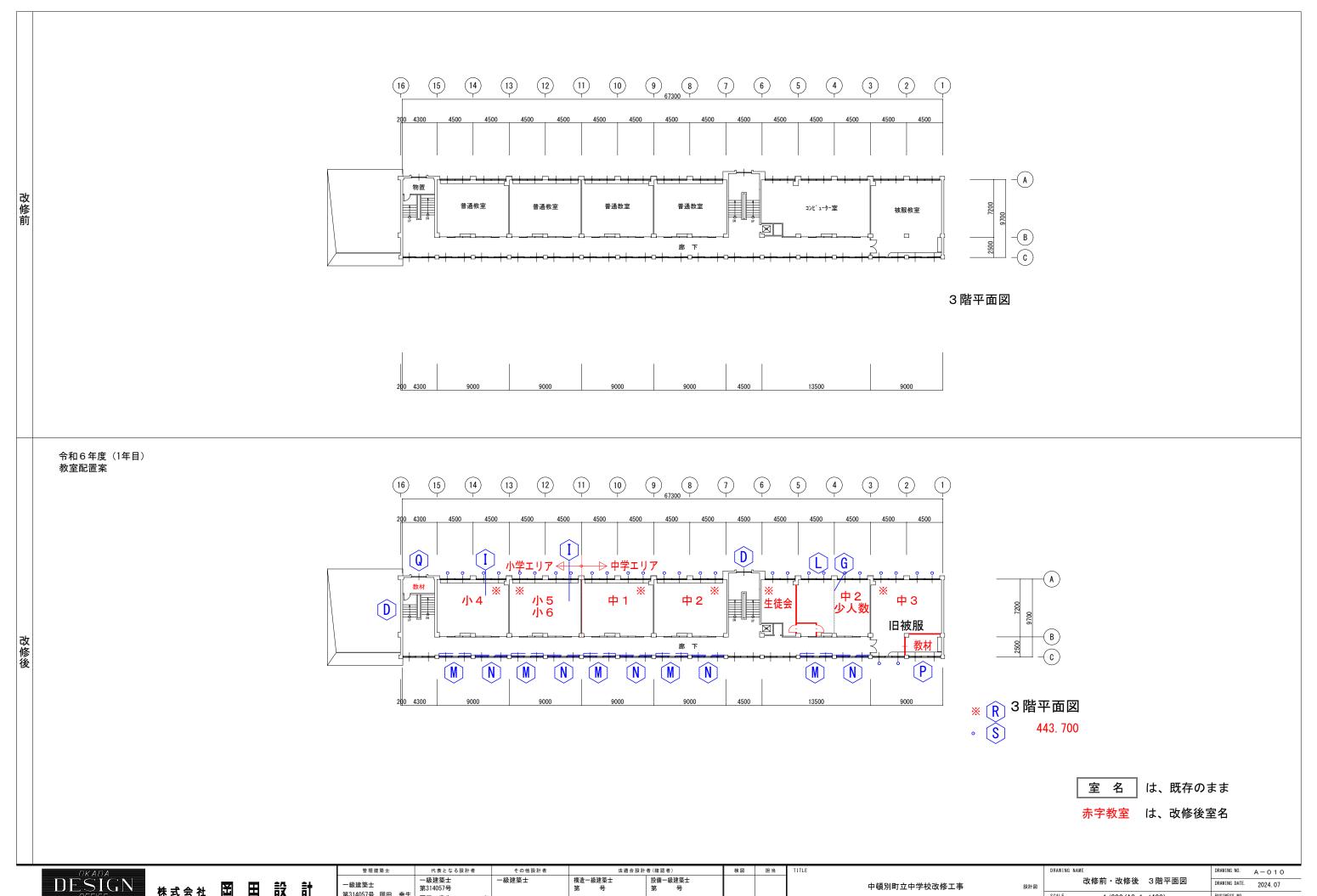




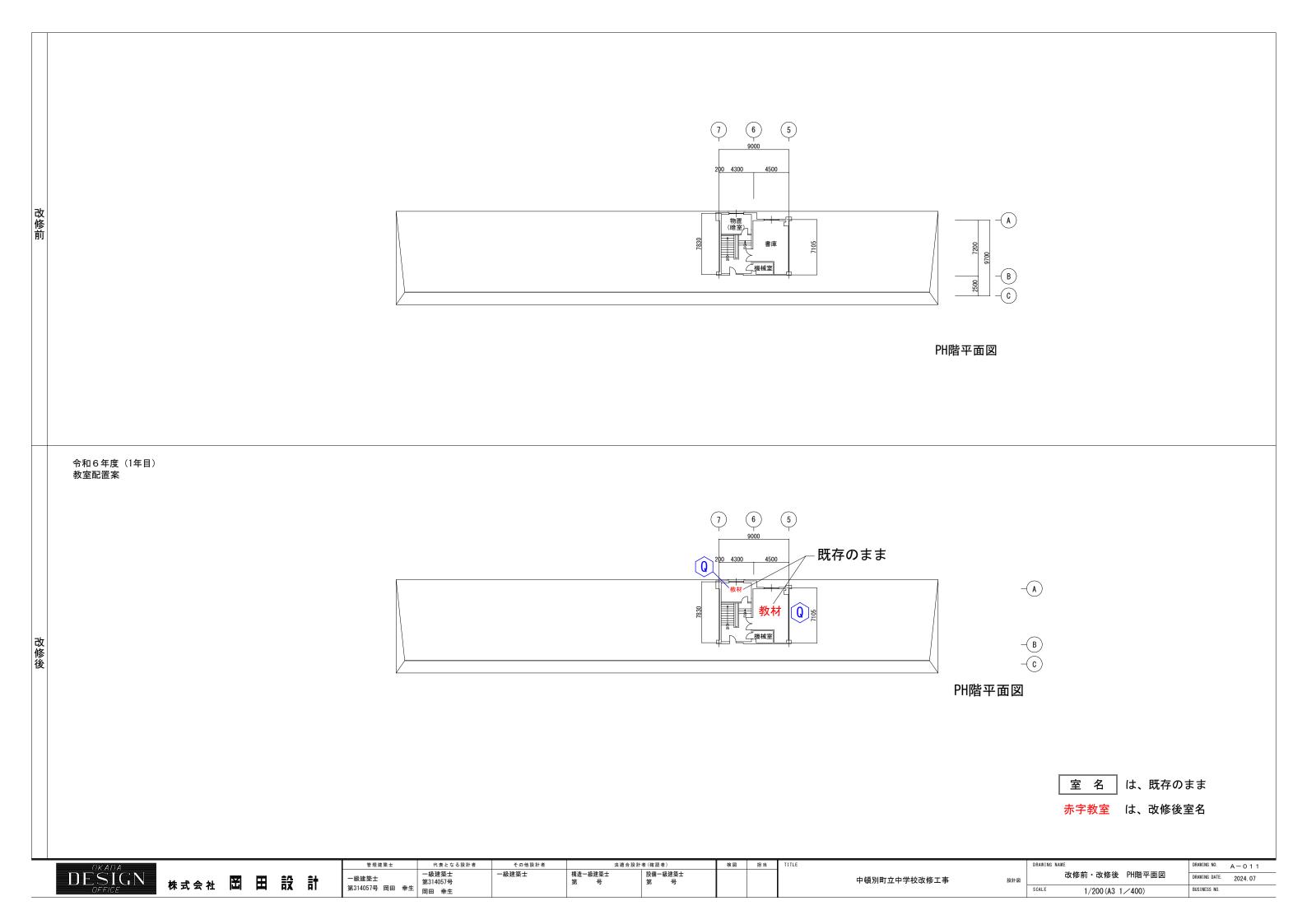


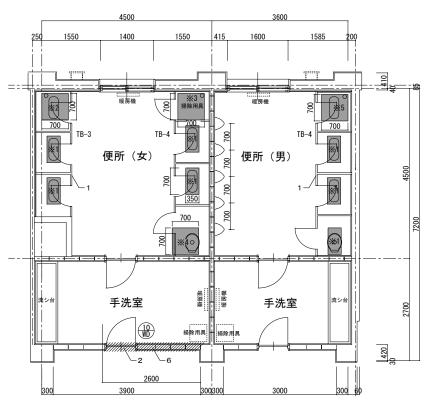


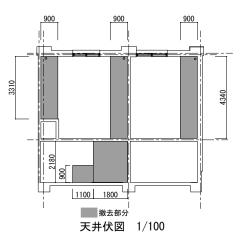
| Title | Ti



一級建築士 第314057号 構造一級建築士 第 号 設備一級建築士 第 号 株式会社 🖾 田 設 計 中頓別町立中学校改修工事 設計図 第314057号 岡田 幸生 岡田 幸生 BUSINESS NO. 1/200 (A3 1/400)







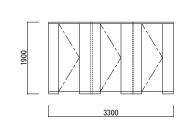
■改修内容【撤去】

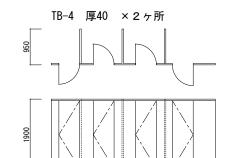
- 1. トイレブース【撤去】
- 2. 手洗室 建具【撤去】 3. 便器類【撤去】(設備)
- 4. 床コンクリート【撤去】※1~5
- 5. 天井一部【撤去】 フレキt6
- 6. 間仕切り壁一部【撤去】 CB t 150 両側モルタル t 25

6.間仕切り壁一部【撤去】

1. トイレブース【撤去】

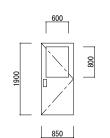
TB-3 厚40 ×1ヶ所





2. 建具【撤去】

WD-10 ×1ヶ所 木製扉 見込38 ガラス t4



4. 床コンクリート【撤去】

※ 1	700	×	350	7
※ 2	700	×	700	1
 % 3	700	×	700	1
※ 4	700	×	700	1
※ 5	700	×	700	1

※2.3.5については 土砂深さ1000を【撤去】とする

5. 天井一部【撤去】 アスベスト含有建材

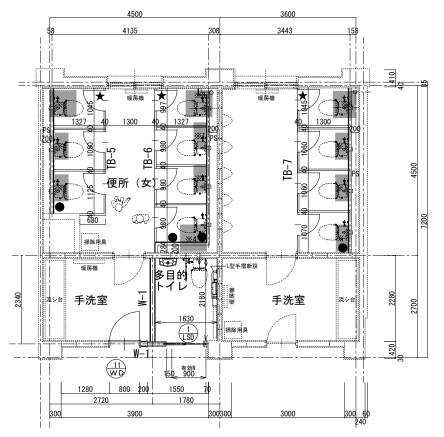
5. 人开一即【俄五】 / 6、 61 百月 连初	
範囲	石綿の飛散防止措置
1. 固定具等を取り外して石綿含有建材を除去する場合	・必要によって
①建材を固定しているボルト等をドライバー等を使用して取り外す	湿潤化等実施すること
②固定具が劣化している場合は、固定具をガス溶接等により取り外す	
2. 母材又は下地材と一部接着している場合	
①母材又は下地材から剥がさず、母材又は下地材と一緒に除去する	
②ソフト巾木やビニル床シート等、柔軟性のある材料は破損せずに除去する	
 1. 石綿含有建材や固定具が劣化しており、取り外しに破損を伴う場合	・薬液等による湿潤化
2. 石綿含有建材の大きさ、重量、施工箇所等によって物理的に	・ケイカル板等飛散の可能性のある
取り外しが困難な場合	場合は隔離養生を行う
3. その他、安全上の理由等から原形のまま取り外すことが困難な場合	
	範囲 1. 固定具等を取り外して石綿含有達材を除去する場合 ①建材を固定しているボルト等をドライバー等を使用して取り外す ②固定具が劣化している場合は、固定具をガス溶接等により取り外す 2. 母材又は下地材と一部接着している場合 ①母材又は下地材から剥がさず、母材又は下地材と一緒に除去する ②ソフト巾木やビニル床シート等、柔軟性のある材料は破損せずに除去する 1. 石綿含有建材や固定具が劣化しており、取り外しに破損を伴う場合 2. 石綿含有建材の大きさ、重量、施工箇所等によって物理的に 取り外しが困難な場合

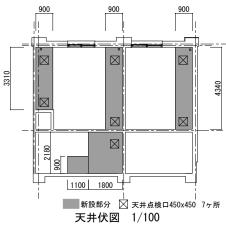
枠:集成材 EP-G

見込200

850

改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装 天井高	備考
男子女子便所	磁器質モザイクタイル貼り	_	磁器質	質タイル貼り		_		_	_	フレキシブルボード t 6.0 アスベスト含有建材	EP-G 2400 和便器(設備)【撤去】	
男丁女丁氓的					T							





■改修内容【新設】

- 1. 多目的トイレ【新設】2. 建具【新設】 ・間仕切壁W-1【新設】 ・WD-11、LSD-1 ・床補修 L=2650 W200 モルタル金コテt30【新設】
- 3. 床コンクリート【新設】 4. 天井 フレキ【新設】 ・モザイクタイル仕上 ・カラーフレキt6
- 5.PS【新設】
- 6. トイレブース【新設】
- 7. ●は壁点検口 300x300【新設】 4か所
- 8.★は壁の穴塞ぎ 樹脂モルタル詰め 【新設】 φ100 t 100 ウレタン塗装 3か所

1. 間仕切壁【新設】

・W-1 LGS100型 両面石膏ボードt12.5+t9.5 EP-G GW t100 充填【新設】

1ヶ所

1ヶ所

1ヶ所

1ヶ所

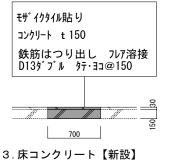
3. 床コンクリート【新設】 和便器 床改修 350x700

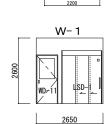
※ 4 │ 700 × 700

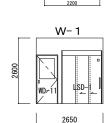
 700×700

 700×700

※2







6. トイレブース【新設】

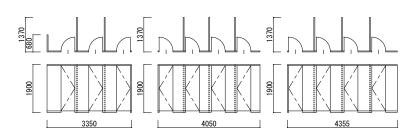
TB-5 厚40 × 1ヶ所 TB-6 厚40 × 1ヶ所 TB-7 厚40 × 1ヶ所

(1) LSD 二連引込み戸

見込38 スチールt0.6 焼き付け塗装

ハンガー片引き扉

表示錠、吊レール金物、ガイドピン、 自動閉鎖装置(ストッパ-付)、引き棒L=600 附属金物一式



5. PS【新設】

・LGS65型 片面カラーフレキ t 6+耐水石膏ボードt12.5

改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
男子女子便所	既存のまま	-		既存のまま		_		-		既存のまま 一部カラーフレキ【新設】	-	2400	
多目的トイレ	既存のまま	_		既存のまま		-		-	_	既存のまま 一部カラーフレキ【新設】	-	2400	手摺 L=600×2ヵ所【新設】 L型手摺 1ヵ所【新設】



株式会社 🖾 田 設

Ż	計	

一級建築士

管理建築士 第314057号 岡田 幸生 岡田 幸生

一級建築士 第314057号

代表となる設計者

その他設計者 -級建築士

法適合設計者(確認者) 構造一級建築士 設備一級建築士 検図 担当

中頓別町立中学校改修工事 設計図

2. 建具【新設】

名称・数量 (11 WD) 片開き扉

メラミン化粧合板

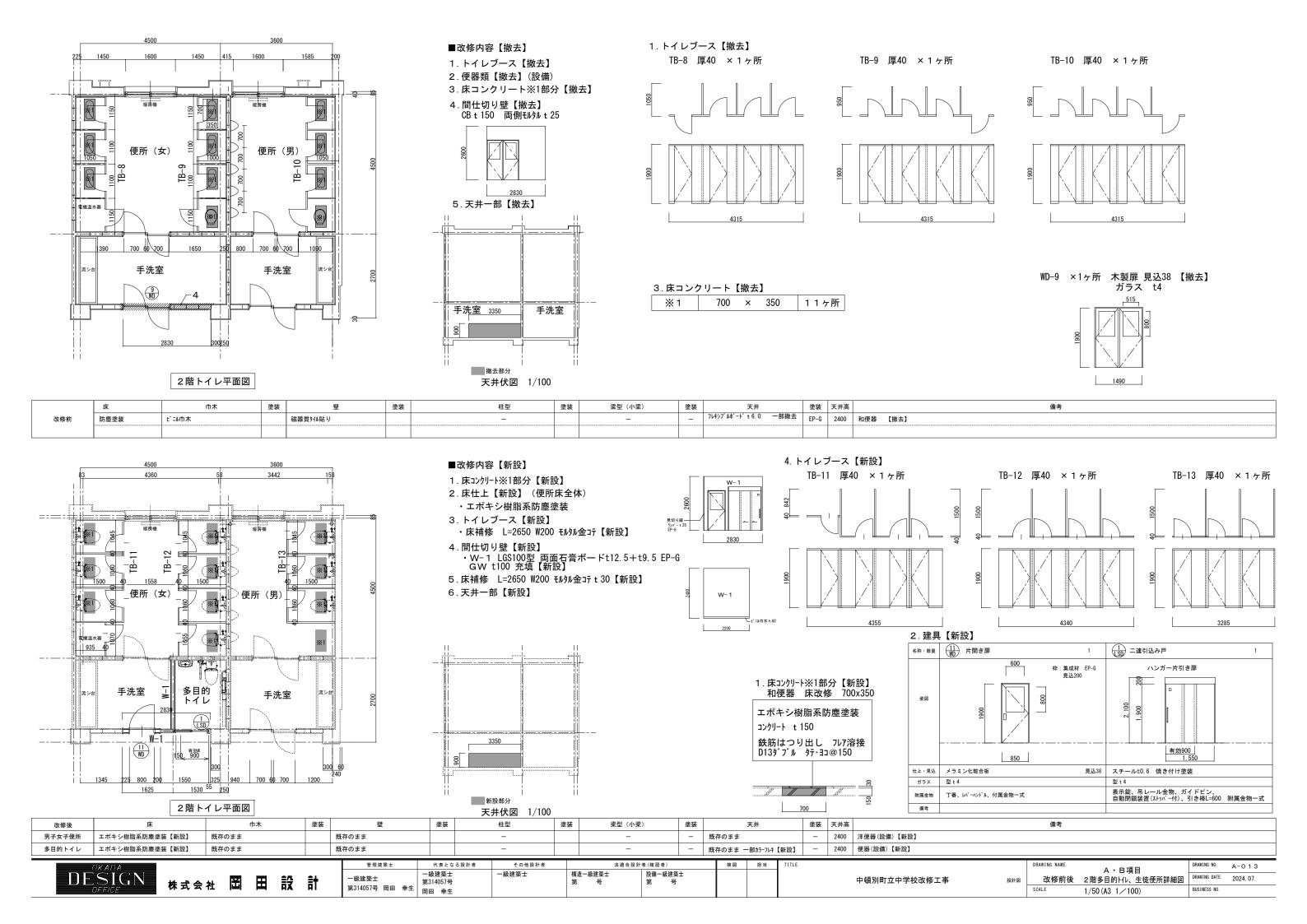
丁番、レパーハンドル、付属金物一式

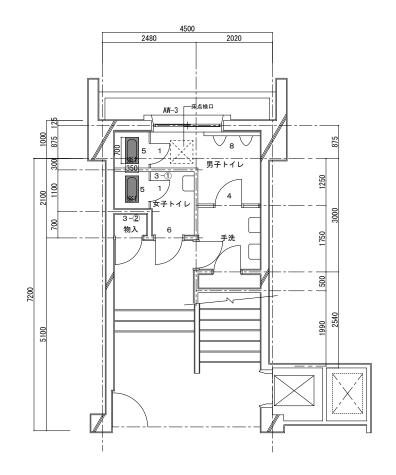
仕上・見込

附属金物

備考

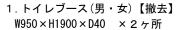
DRAWING NAME DRAWING NO. A-012 A, B項目 DRAWING DATE. 2024. 07. 改修前後 1階多目的トイレ、生徒便所詳細図 BUSINESS NO 1/50 (A3 1/100)

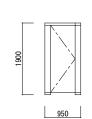




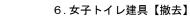
■改修内容【撤去】

- 1. トイレブース (男・女) 撤去
- 2. 和便器(男・女)、小便器、手洗器【撤去】(設備)
- 3. 間仕切壁【撤去】
- 4. 男子トイレ内 建具【撤去】
- 5. 和便器 周囲床スラブ※1部分【撤去】
- 6. 女子トイレ 建具【撤去】
- 7. 床点検口よりピット内土砂を【撤去】(3m3程度)
- 8. 小便器ライニング【撤去】





4. 男子トイレ建具【撤去】

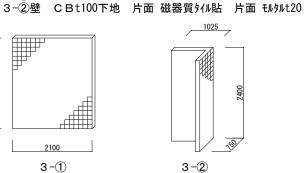


2100

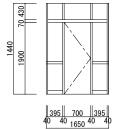
3-1

3. 間仕切壁【撤去】

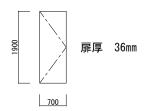
3-①壁 CBt100下地 両面 磁器質タイル貼

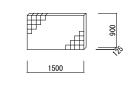


8. ライニング【撤去】 CBt100下地の上 磁器質タイル貼

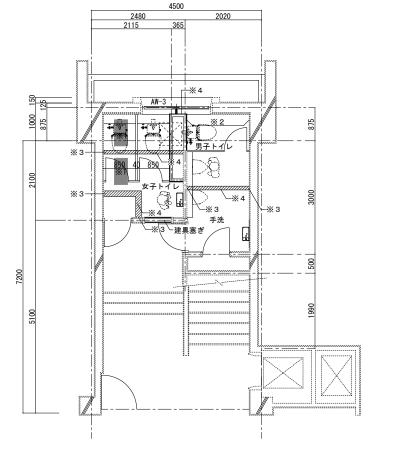








	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
改修前	磁器質モザイクタイル貼り	_		磁器質タイル貼り		_		-	_	コンクリートの上塗装仕上げ	EP-G	2400	衛生機器【撤去】



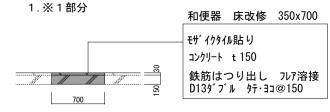
■改修内容【新設】

- 1. ※ 1 部分 床【新設】
- 2. ZZZZZZ 部分 床 モルタル補修の上 モザイクタイル50x50【新設】
- 3. ※ 2 部分 壁 モルタル補修の上 モザイクタイル50x50【新設】
- 4. ※3部分 壁 モルタル補修の上 モザイクタイル50x50【新設】
- 5. ※4部分 天井 コンクリート補修の上 EP-G【新設】
- 6. 間仕切り壁【新設】
- 7.TB-1、TB-2【新設】
- 8. ライニング【新設】
- 9. 衛生機器【新設】取付(設備)

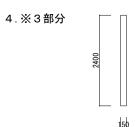
その他設計者

-級建築士

10. AW-3目隠しフィルム貼り W900 x H1100 2枚



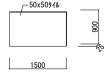
3. 壁モルタル補修の上 モザイクタイル50x50

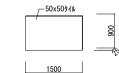


壁 モルタル補修の上 モザイクタイル50x50【新設】

LGS 65型 片面 GB-S t12.5の上 カラーフレキt6

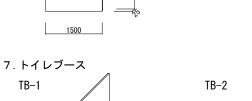
建具塞ぎ部分 LGS 100型 両面 GB-S t12.5の上 カラーフレキt6





1740

検図



1650

6. 間仕切壁

8. ライニング 天板: ランバ- t 25の上SUS t 1.2 壁 :カラーフレキ t6 GB-S t1.25下地 LGS 50型 ランパ -t25 SUSt1.2〜 ランパ -t25SUS t 1.2-カラーフレキ t6-GB-S t1.25下地 女子ライニングL=850x2ヵ所 男子小便器ライニングL=1735

井温 イン:	ラミン化料	‡合板·表示錠

	床	巾木	塗装 壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装 天井高	備考
改修後	一部モザイクタイル 【新設】	_	既存のまま		_		_		既存のまま	- 2400	衛生機器 【新設】



株式会社 🖺 田 設

	_
計	

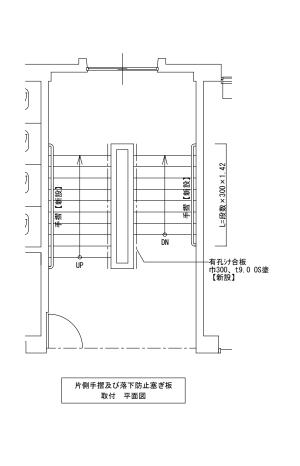
管理建築士 一級建築士 第314057号 岡田 幸生 岡田 幸生

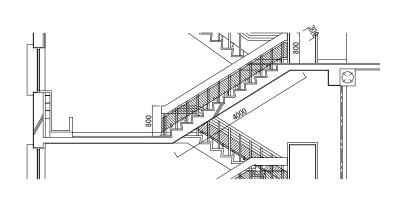
代表となる設計者 一級建築士 第314057号

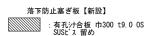
構造一級建築士

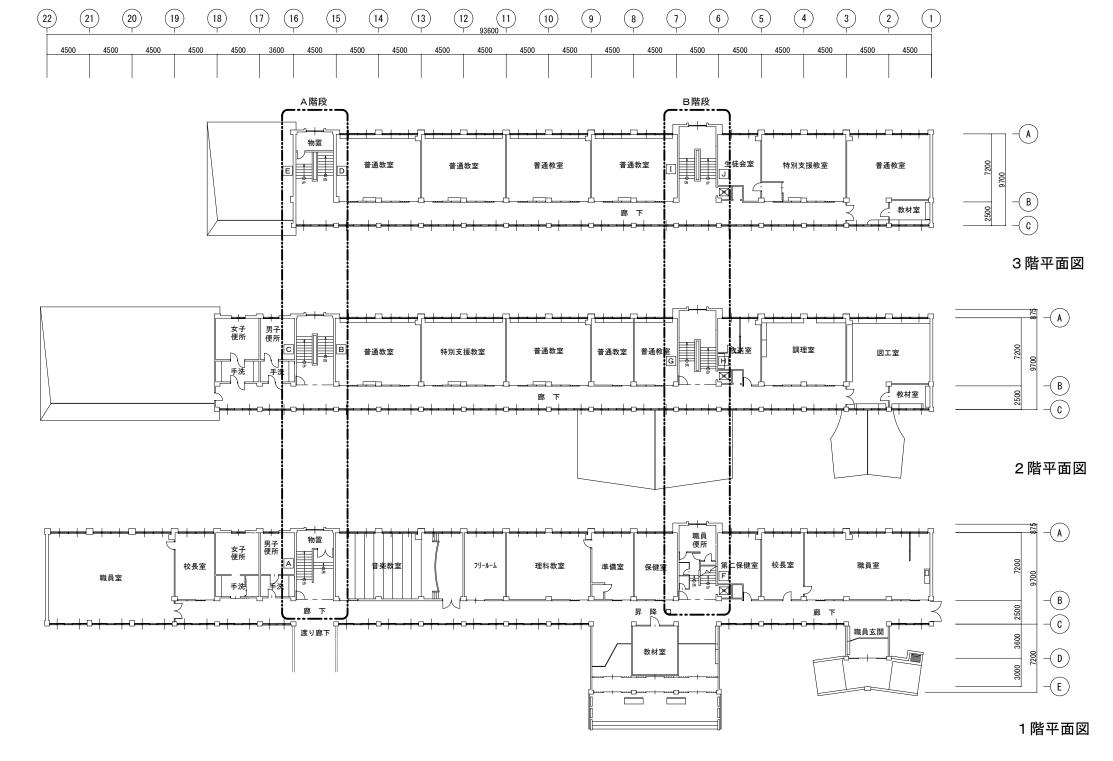
法適合設計者(確認者) 設備一級建築士 第 号 担当 中頓別町立中学校改修工事 設計図

DRAWING NO. A-014 C項目 改修前後 1階職員便所詳細図 DRAWING DATE. 2024. 07. BUSINESS NO 1/50 (A3 1/100)









■手摺:ビニル被覆φ34【新設】

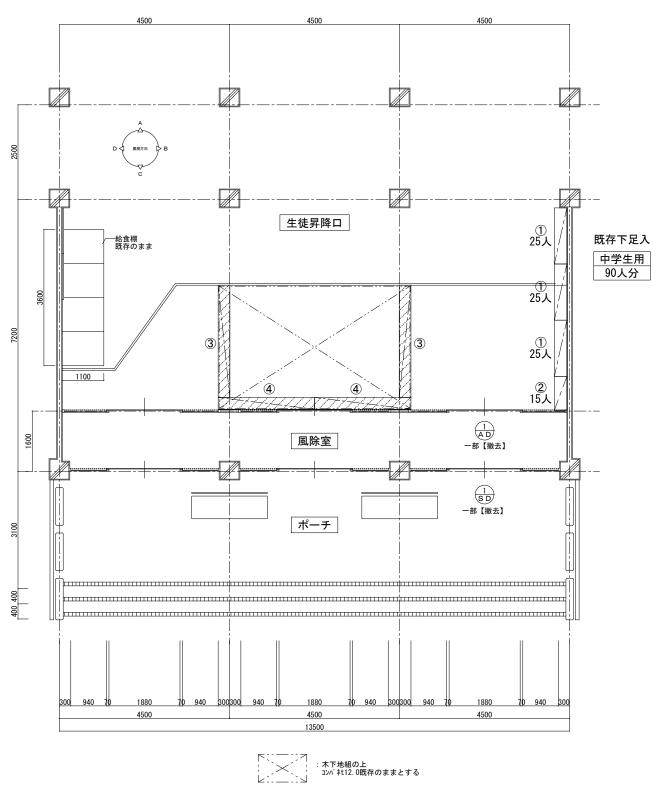
A階段	A	B	C	D	E
	10段	7段	9段	8段	5段
手摺長さ(L)	4260	3000	3800	3400	2150

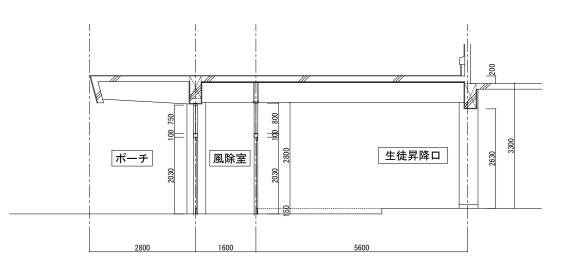
B階段	F	G	H	I	J
	10段	7段	7段	10段	4段
手摺長さ(L)	4260	3000	3000	4260	1700

■落下防止塞ぎ板【新設】有孔汁合板 巾300 t9.0 0S SUSt* 2留め

A階段	L4000 × 5ヶ所
B階段	L4000 × 5ヶ所



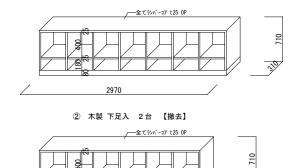




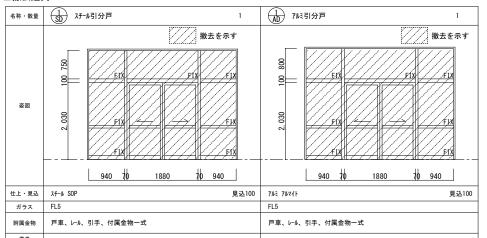
生徒昇降口·風除室 断面図 S= 1/50

③ 木製 下足入 2台 【撤去】

1	スチール 下足入	3台	W1485 × D330 × H1720	既存のまま
2	スチール 下足入	1台	W750 × D330 × H1720	既存のまま
3	木製 下足入	2台	W2970 × D310 × H710	撤去
4	木製 下足入	2台	W2550 × D310 × H710	撤去



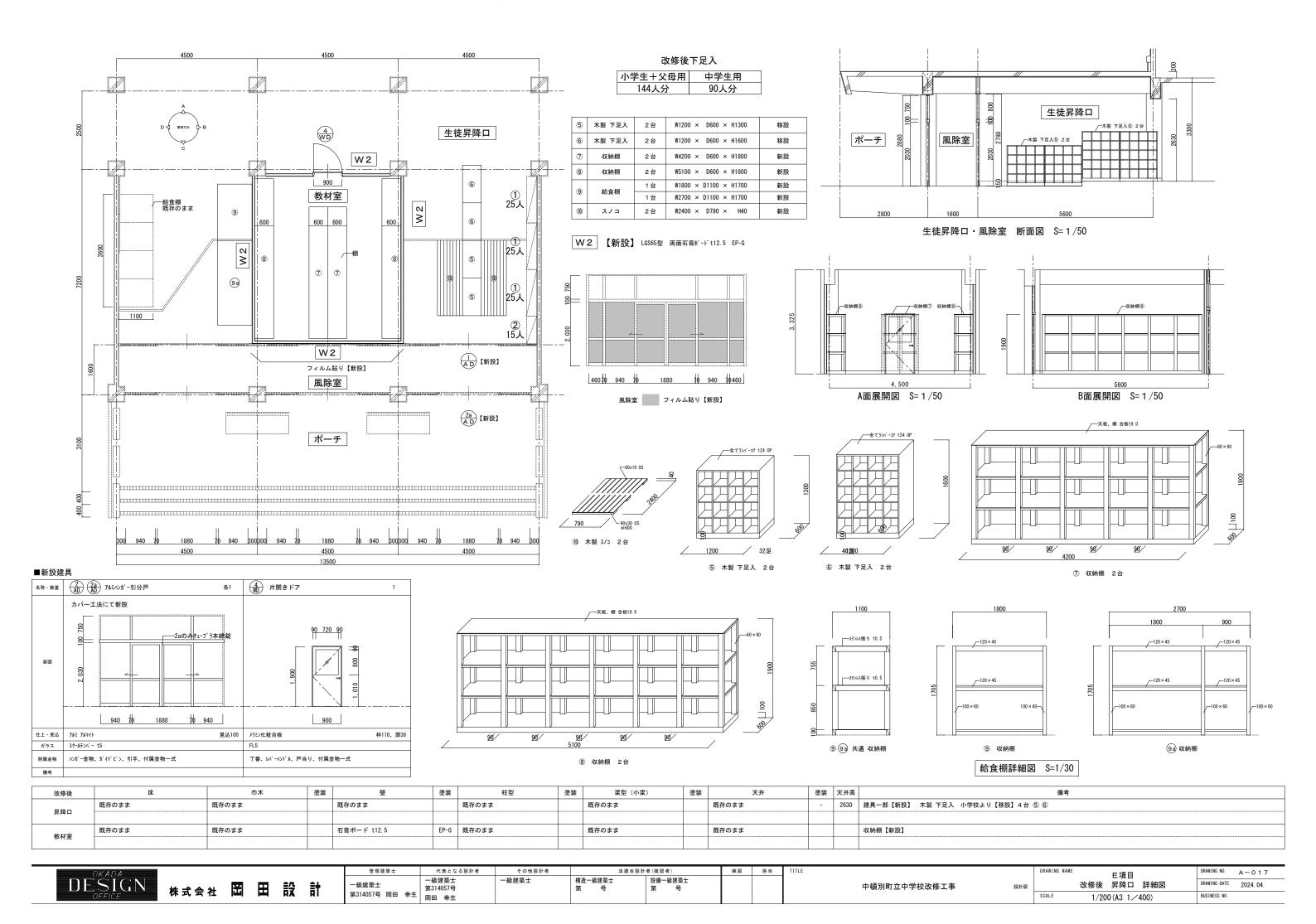
■撤去建具

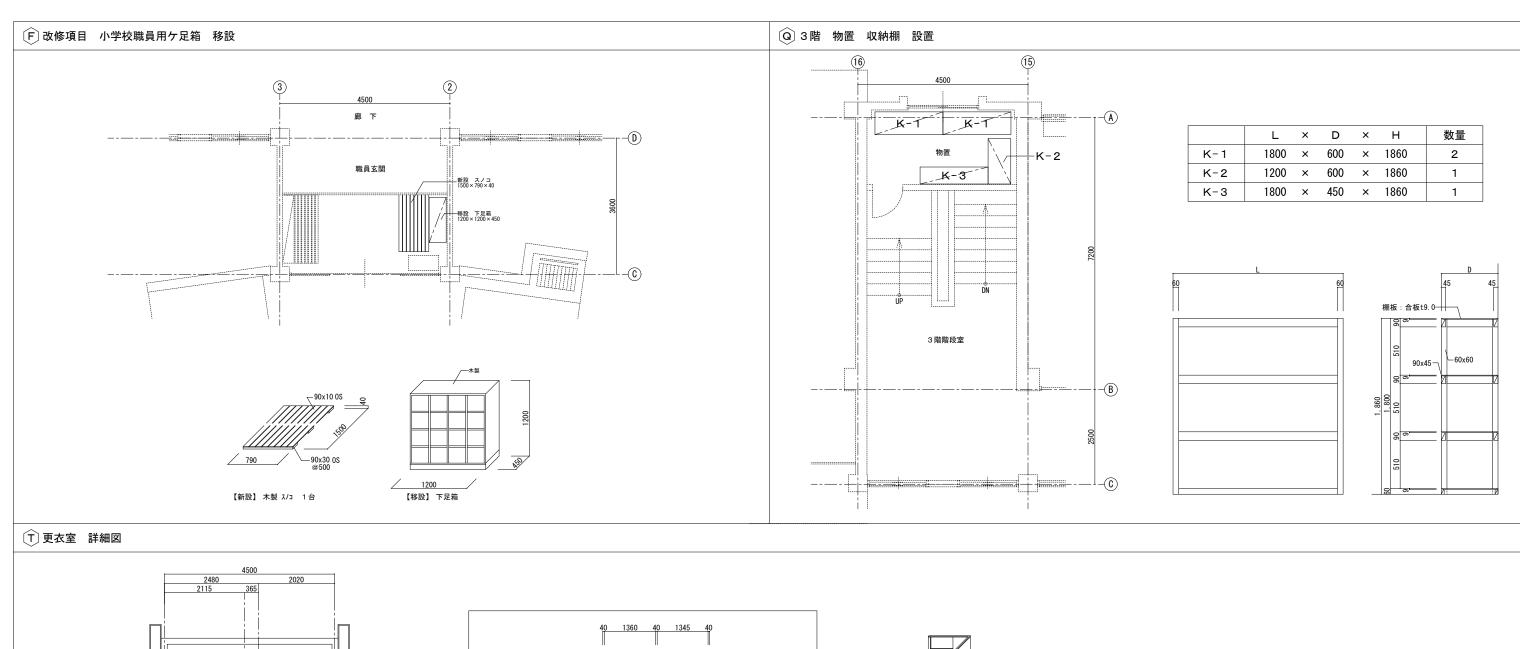


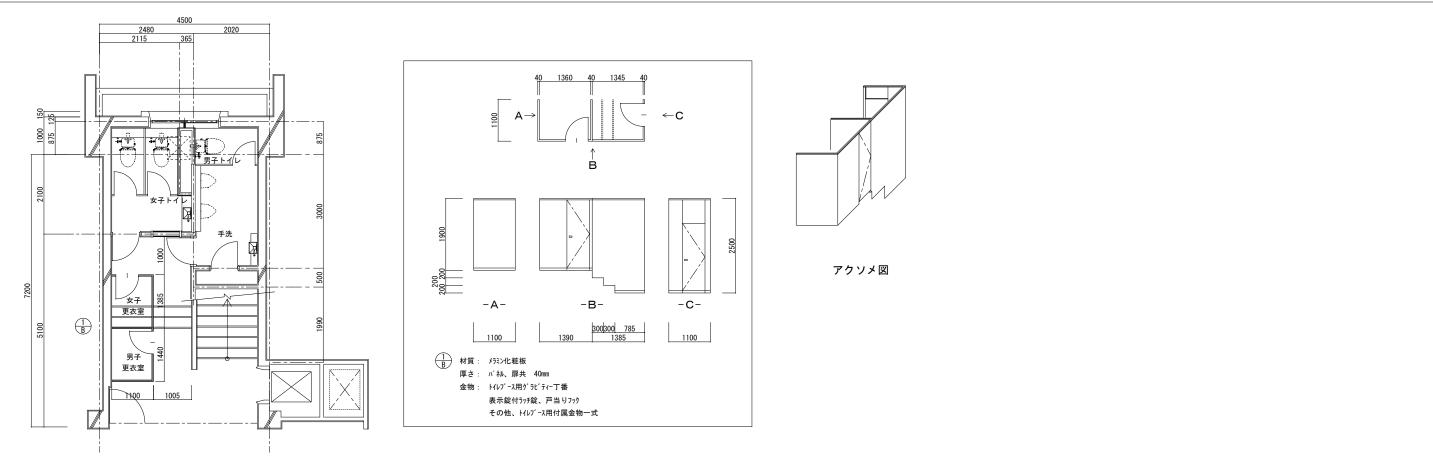
改修前	床	巾木 塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗	装	天井	塗装	天井高					備考
								備考									1
								附属金物	戸車、レール	、引手、付属金物一式			戸車、レール、	引手、付属金物一:	ŧ		1
		L						ガラス	FL5				FL5				1
			: 木下地組の上 コンパネt12.0既存のままとす	する								3636100				JE 20100	1
			: 木下地組の上					仕上・見込	Z∓−IL SOP			見込100	アルミ アルマイト			見込100	1
		F								940 70 1880	70	940		940 70	1880	70 940	1
									F	<u> </u>	Z Z HI		†	<u> </u>	<u> </u>		1
		•	3500							//fpx	241	F1X		/_fx		FIX	1
	4500	4	500		4500										//\\\	***////	1
	300 940 70 1880	70 940 300300 940 70 1	880 70 940 30030	940 70	1880 70 940 300				2. (////	2, (FIX			1
									930		<u> </u>		030				1
								姿図								\$8///	1
													=				1
				l II					⊗			///	ĕ <u></u>			71 / / / / / 1 1	1

改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装 天井	備考	
昇降口	カラークリート	モルタルコテ	モルタル金	コテ	VP	モルタル金コテ	VP	モルタル金コテ	VP	ゾノライト吹付	- 263	建具一部【撤去】 木製 下足入【撤去】	
升降口	一部木組下地の上コンパネ t 12												
İ													

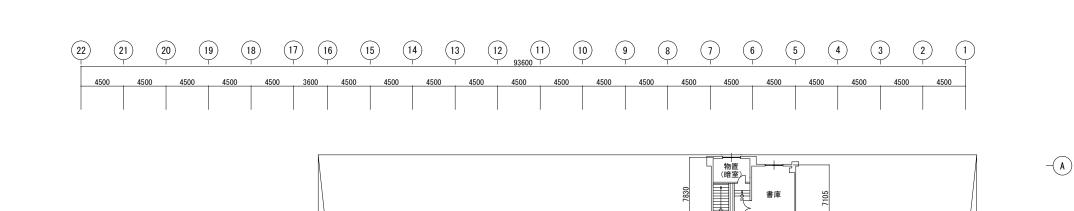
$\cap KA \cap A$	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE			DRAWING NAME E項目	DRAWING NO. A - O 1 6
	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号				中頓別町立中学校改修工事	設計図	世頃日 改修前 昇降口 詳細図	DRAWING DATE. 2024. 04.
MACA MACA MACA MACA MACA MACA MACA MACA	第314057号 岡田 幸生	岡田 幸生		-							SCALE 1/200 (A3 1/400)	BUSINESS NO.







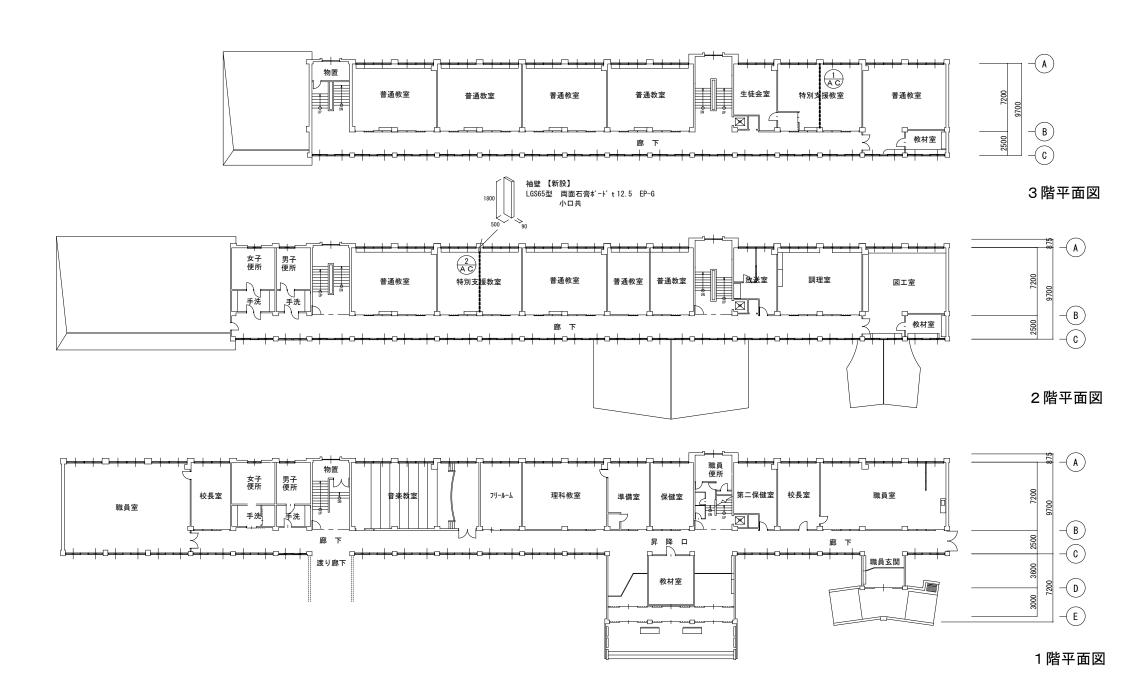


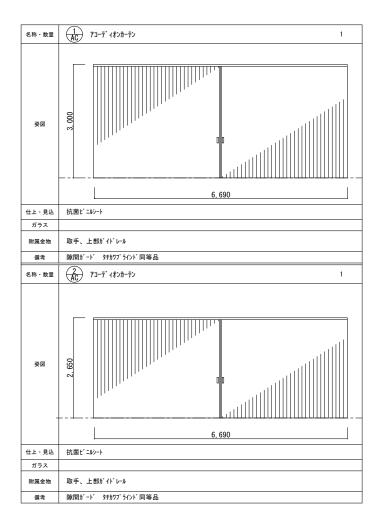


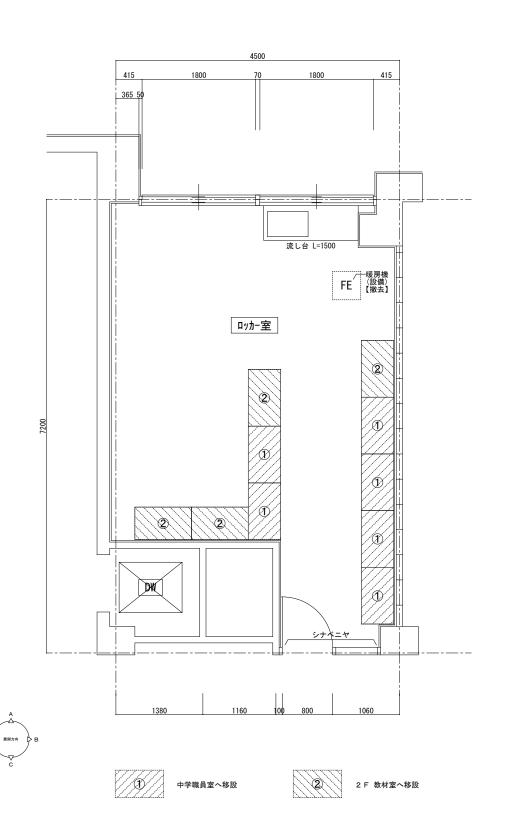
機械室

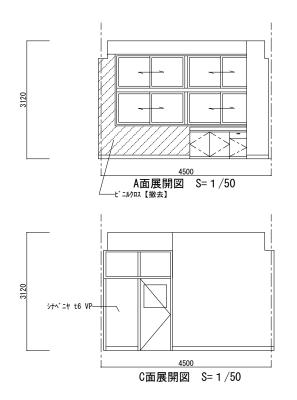
PH階平面図

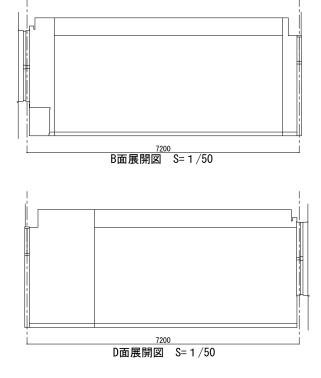
-B -C

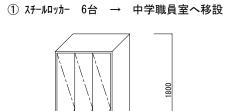


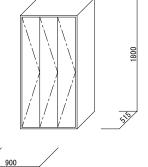




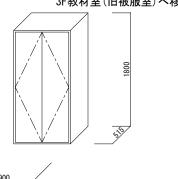






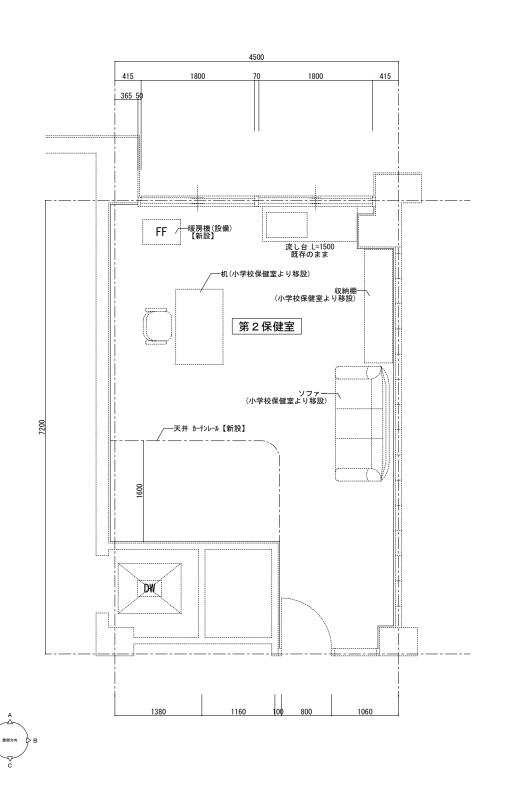


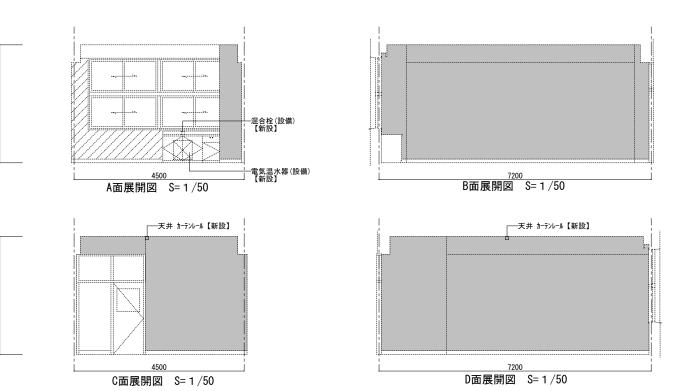
② スチール収納棚 4台 → 2F教材室(図工室)へ移設 x 2台 3F教材室(旧被服室)へ移設 x 2台



改修前	床	巾木	塗装 壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井 塗装 3	天井高	備考
	t*ニル床シート t 2.0	木製巾木 H=100	シナペ=7 t 6.0	VP	モルタル金コテ	VP	₹ルタル金コテ	VP	ゾノライト吹付 -	3120	FE暖房機 1台(設備) 【撤去】R項目図参照
ロッカー室			モルタル金コ゛テ	VP							スチールロッカー移設
			一部 ビニルクロス貼り								

$\cap KA \cap A$	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE		DRAWING NAME	DRAWING NO. A - 0 2 0
	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	設計図	H項目 改修前 ロッカー室 平面詳細図・展開図	DRAWING DATE. 2024. 07.
OFFICE 体丸云在 III III III III	第314057号 岡田 幸生	岡田 幸生								scale 1/30 1/50 (A3 1/60 1/100)	BUSINESS NO.



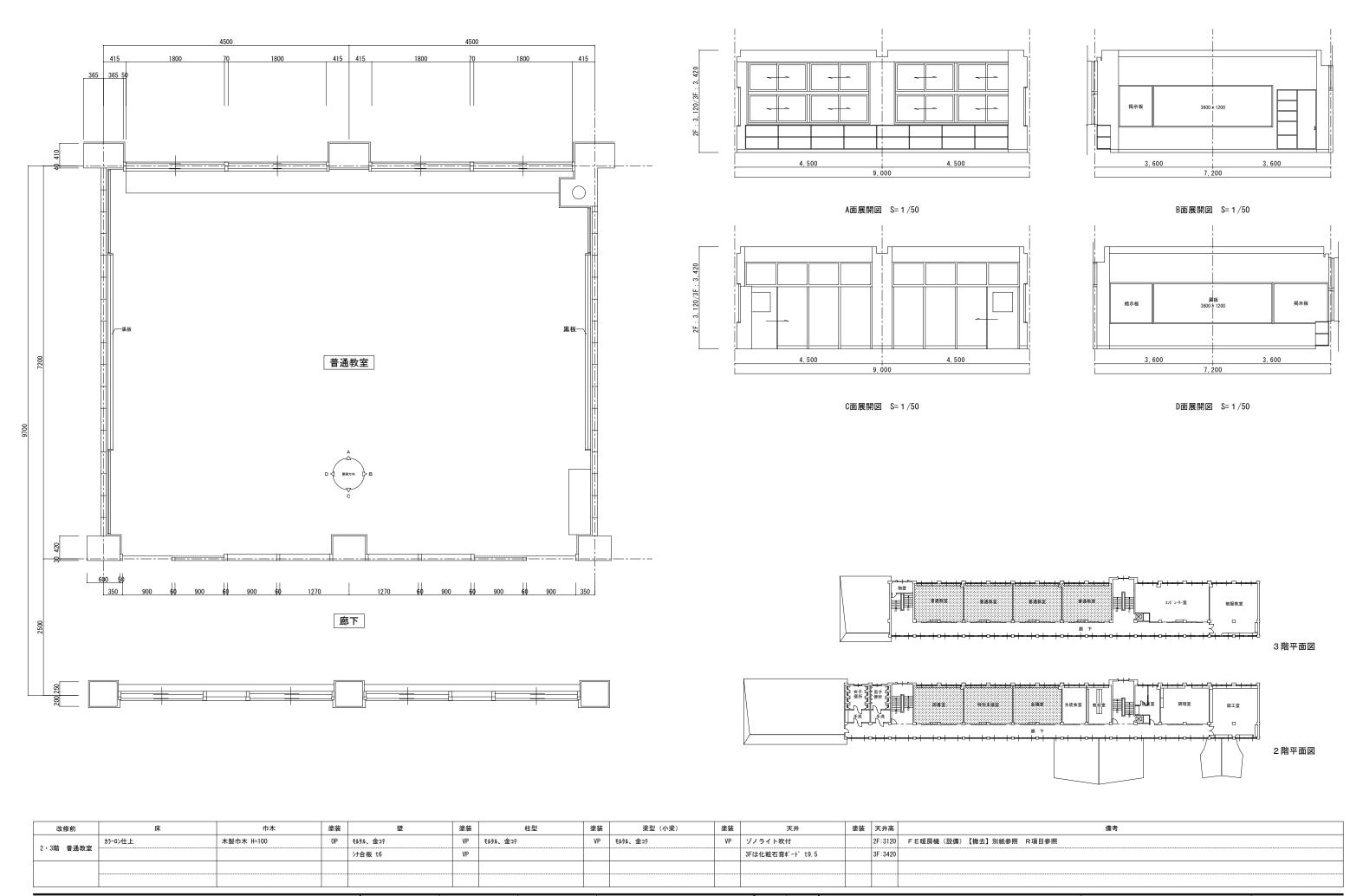


: カチオン系シーラー塗の上 EP-G【新設】

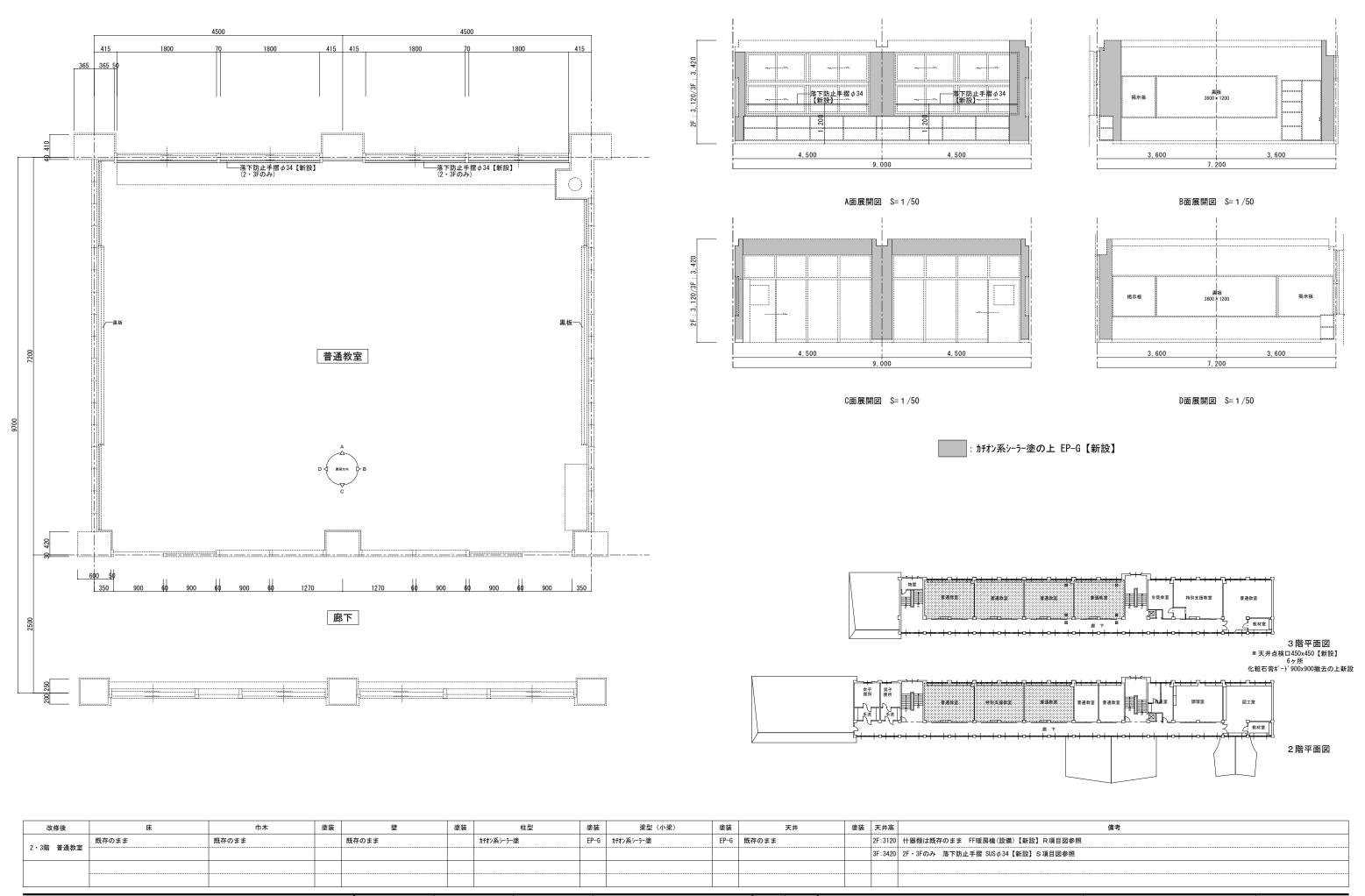
: ビニルクロス貼り【新設】

改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
** o / D / Ish	既存のまま	既存のまま	既存	のまま		カチオン系シーラー塗	EP-G	カチオン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	FF暖房機 1台(設備)【新設】R項目図参照
第2保健室			カチオン	 系シーラー塗	EP-G								カーテンレール【新設】 電気温水器(設備)【新設】 混合栓(設備)【新設】
													既存小学校保健室より机、ベッド、ソファー、収納棚を移設

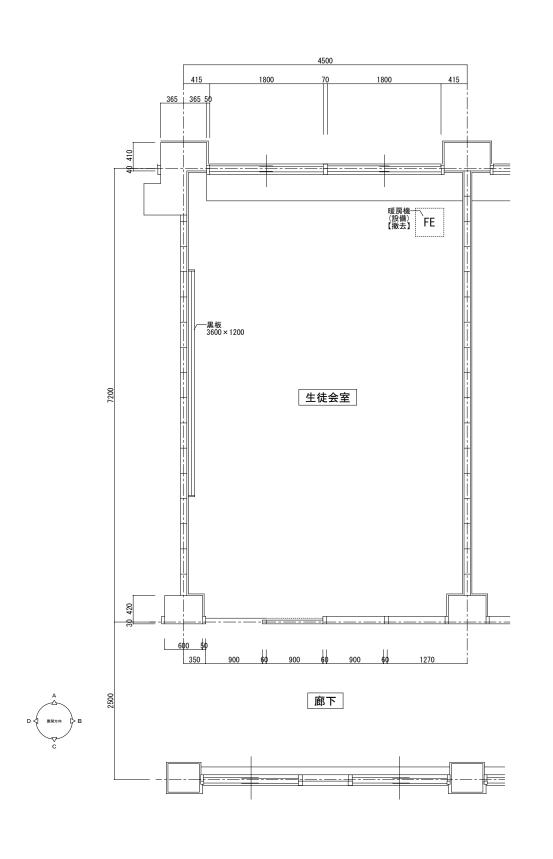
$\cap KA \cap A$	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	十者(確認者)	検図	担当	TITLE		DRAWING NAM	ME DRAWING NO. A — O 2 1
DESIGN _{株式会社} 岡 田 設 計	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓	頁別町立中学校改修工事 股計図	改修後	H項目 第2保健室 平面詳細図・展開図 DRAWING DATE. 2024.07.
株式会社 山 田 	第314057号 岡田 幸生	生 岡田 幸生								SCALE	1/30 1/50 (A3 1/60 1/100) BUSINESS NO.

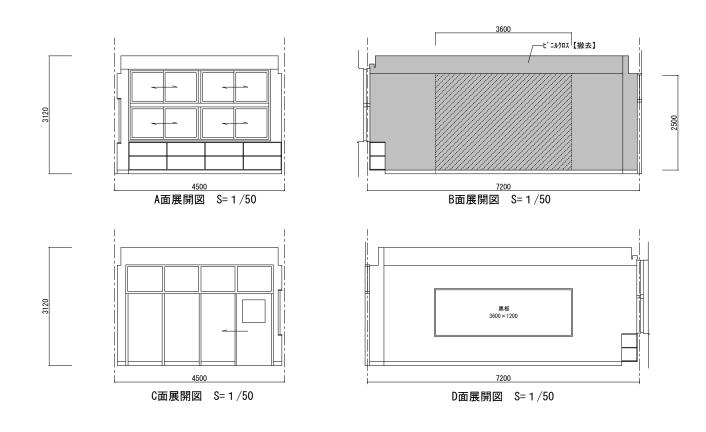


$\cap KA \cap A$	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE	DRAWING NAME	1 項目	DRAWING NO.	A-0 2 2
	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	改修f SCALE		DRAWING DATE. 2 BUSINESS NO.	2024. 07.



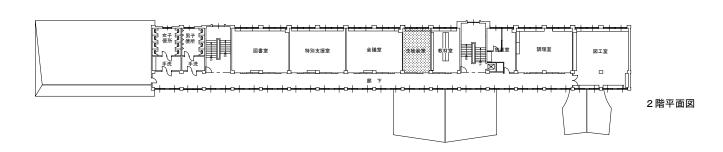
OK A D A	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE	DI	RAWING NAME T T百 F	•	DRAWING NO.	A-023
	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 世 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	設計図	でALE 1/50(A3 1/	(100)	DRAWING DATE. BUSINESS NO.	2024. 07.





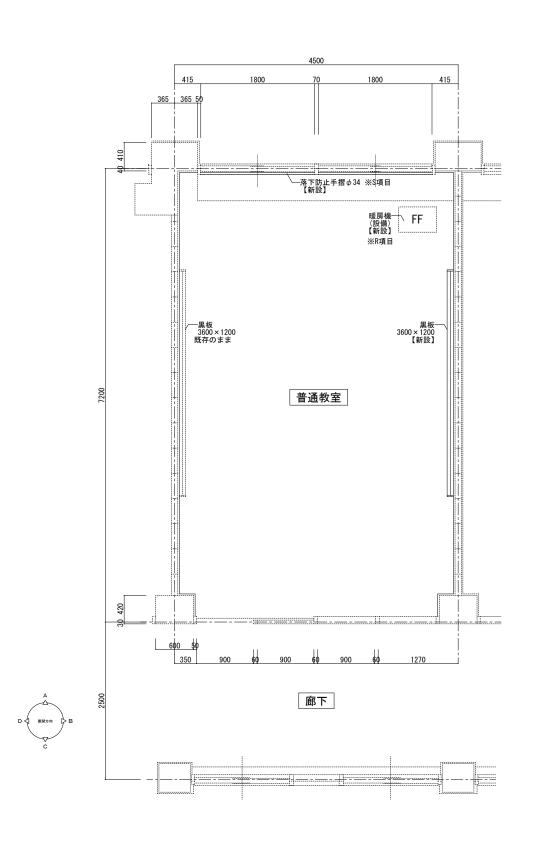
: ビニルクロス貼り【撤去】

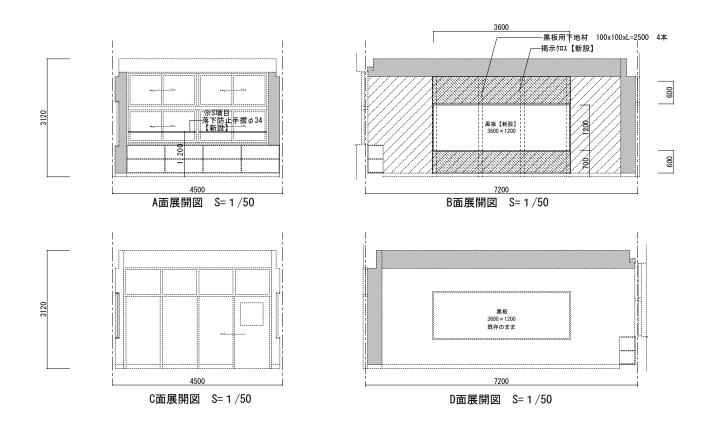
: シナ合板 t 6.0【撤去】



改修前	床	巾木	塗装 壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
	カーペット敷	木製巾木 H=100	シナペ=7 t6.0	VP	モルタル金コテ	VP	モルタル金コテ	VP	ゾノライト吹付	-	3120	FE暖房機 1台(設備) 【撤去】R項目図参照
生徒会室			ビニルクロス貼り									

$\cap KA \cap A$	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE	DRAWING NAME I 項目		DRAWING NO. A - 0 2 4
	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			┃ ┃ 中頓別町立中学校改修工事		面詳細図・展開図	DRAWING DATE. 2024. 07.
OFFICE 体式云征 III II II II II	第314057号 岡田 幸生	岡田 幸生							SCALE 1/30 1/50 (A3 1/	(60 1/100)	BUSINESS NO.



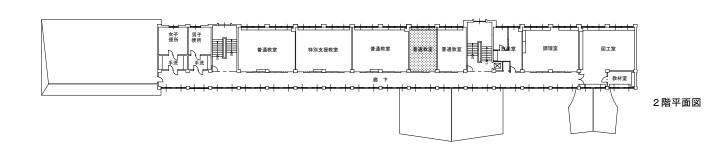


: カチオン系シーラー塗の上 EP-G【新設】

: 掲示クロス貼り【新設】

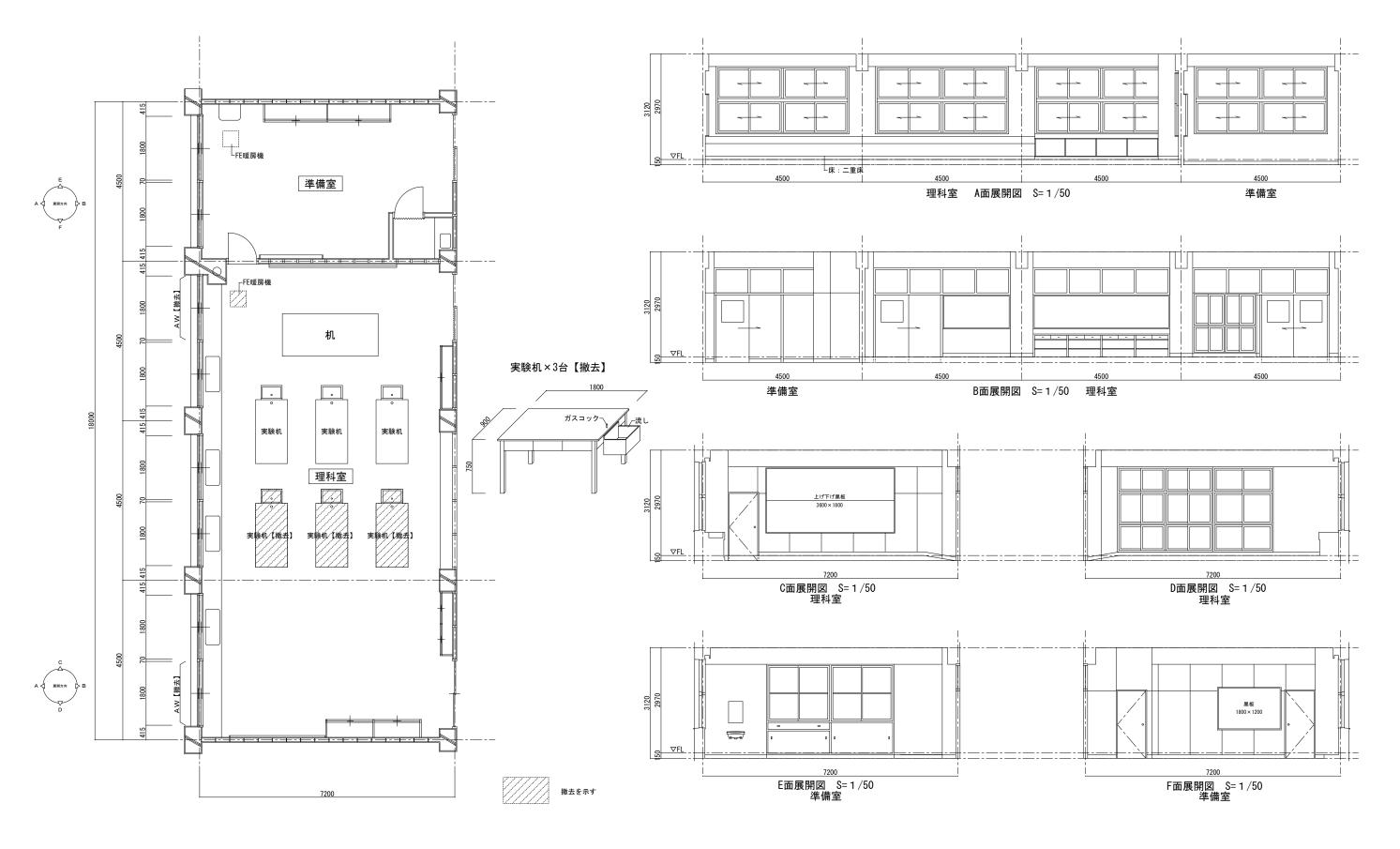
: 合板 t 6.0 【新設】

: 黒板用下地材 100x100xL=2500 【新設】



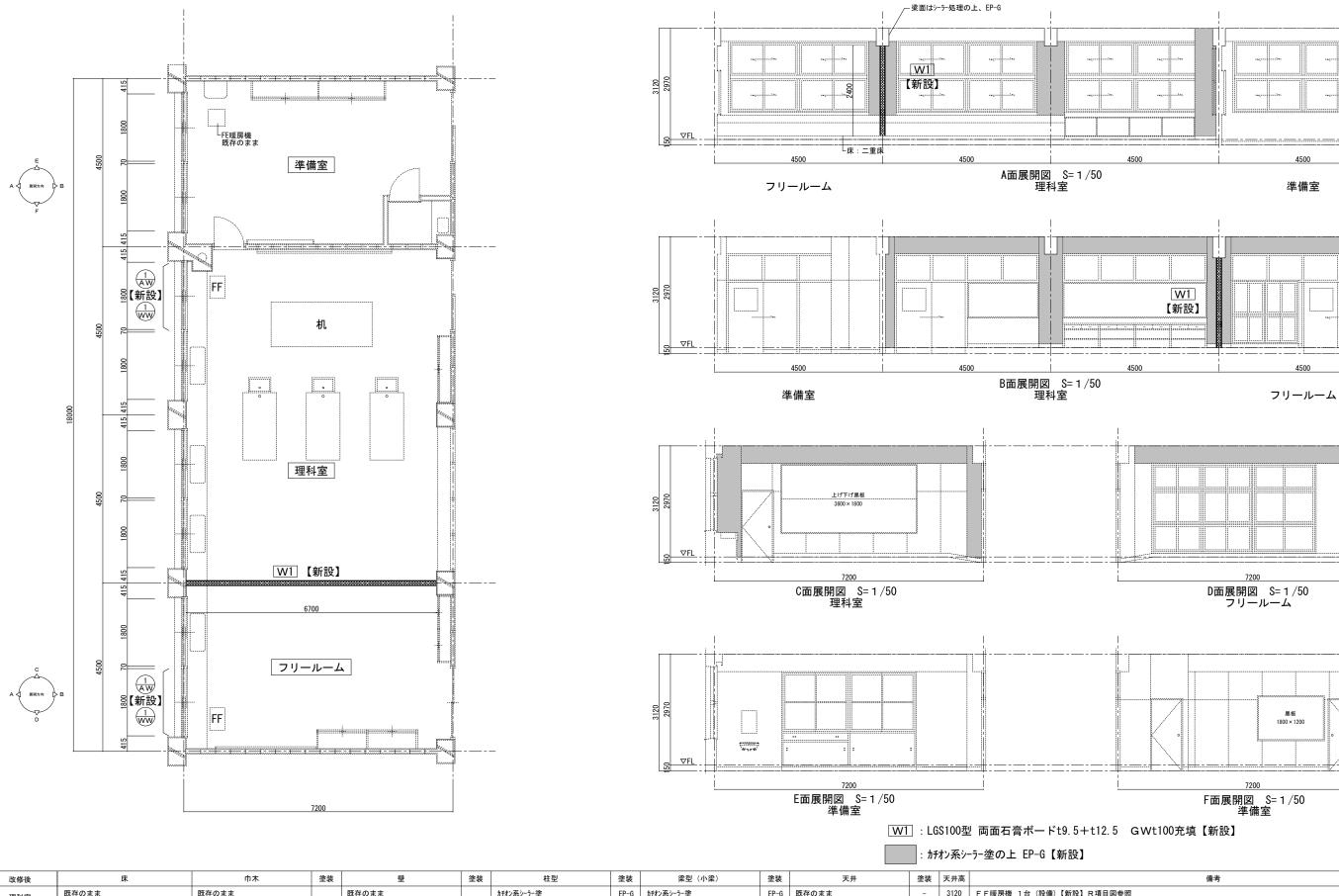
改修後	床	巾木	塗装 壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
2 F 普通教室	既存のまま	既存のまま	既存のまま		カチオン系シーラー塗	EP-G	カチオン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	3120	FF暖房機 1台(設備)【新設】R項目図参照 落下防止手摺 SUS φ34【新設】S項目図参照
2 F 盲週叙至			一部 掲示クロス貼り									黒板 3600×1200 [新設]

$\cap KA \cap A$	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE		DRAWING N	AME TABE DRAWING NO. A - 0 2 5
DESIGN 株式会社 🖺 田 設 計	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号				中頓別町立中学校改修工事 酸計	改修後	I項目 A - 0 2 3 2階普通教室 平面詳細図・展開図 DRAWING DATE. 2024. 07.
OFFICE 体丸云征 III III III III	第314057号 岡田 幸生	生 岡田 幸生								SCALE	1/30 1/50 (A3 1/60 1/100) BUSINESS NO.

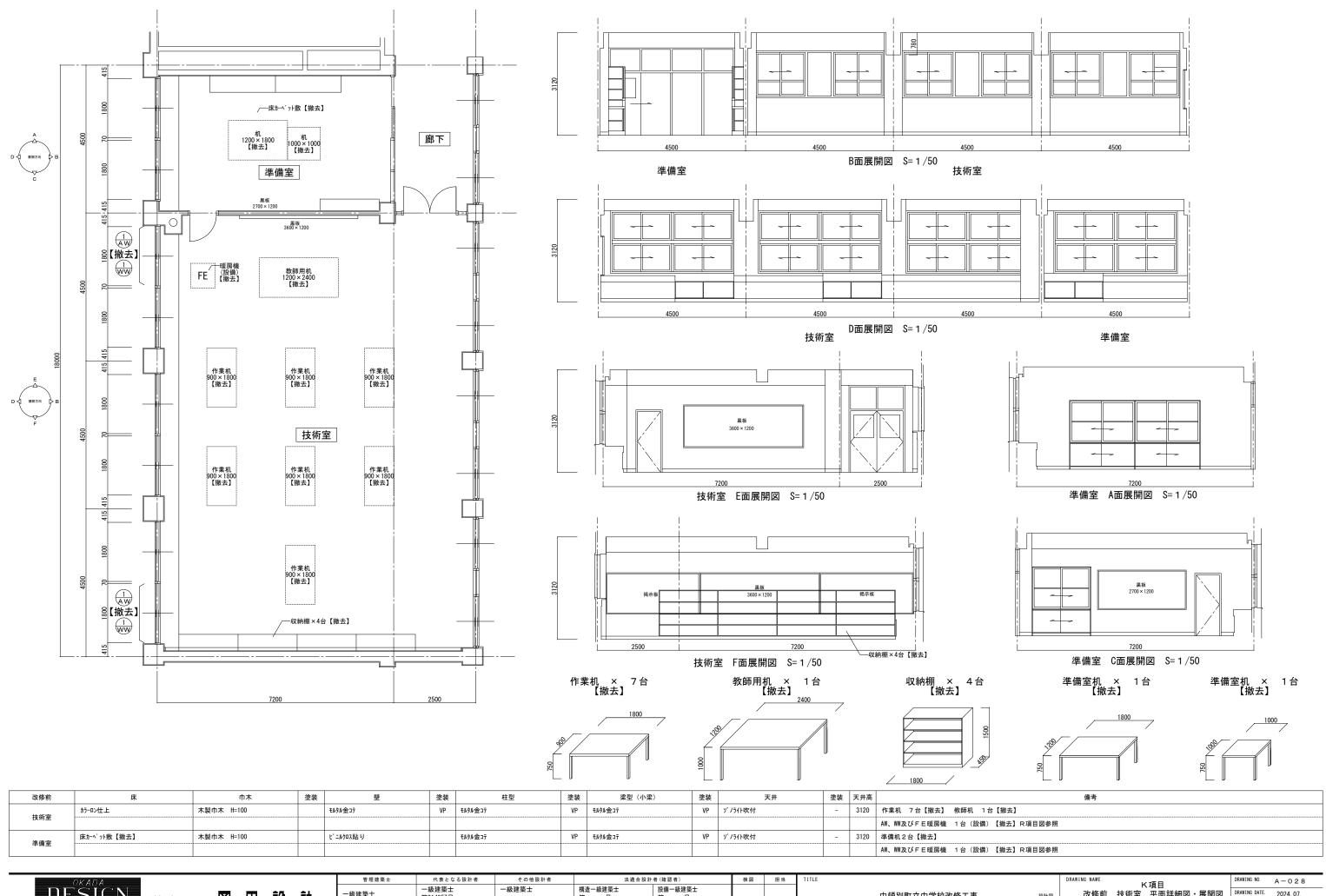


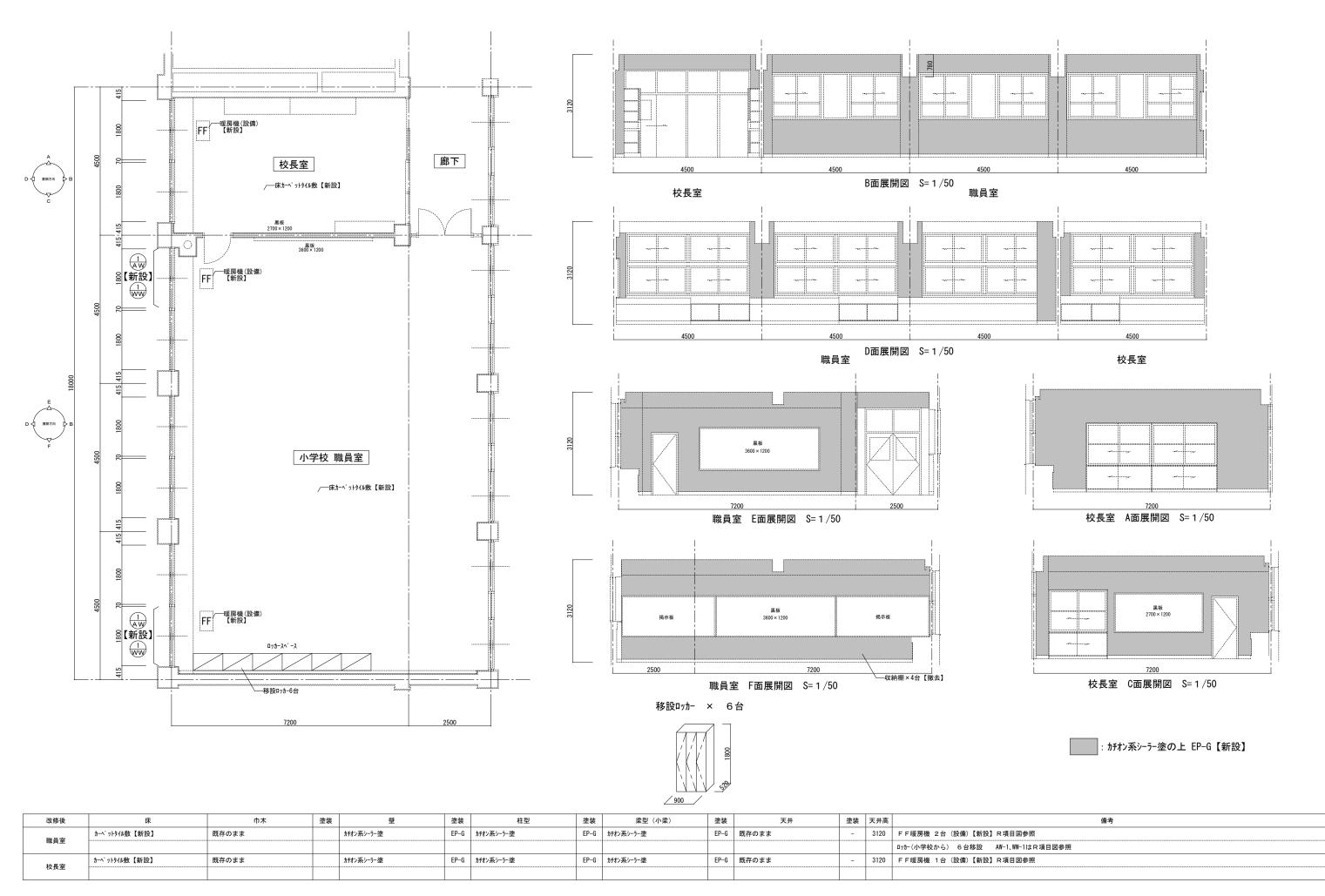
改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装		柱型	塗装	梁	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
理科室	t*ニル床シート t 2.0	木製巾木 H=100		シナペニア t 6.0	VP	モルタル金コテ		VP	モルタル金コテ		VP	ゾノライト吹付	-	3120	実験机 3台【撤去】 FE暖房機 1台(設備)【撤去】R項目図参照
理科主															AW一部【撤去】R項目図参照
準備室	t* =ル床シート t 2.0	木製巾木 H=100		シナペニア t 6.0	VP	モルタル金コテ		VP	モルタル金コテ		VP	ゾノライト吹付	-	3120	
- 华州王															

OKADA	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE	DRAWING NAME	DRAWING NO. A - 0 2 6
	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事		DRAWING DATE. 2024. 07.
OFFICE 体式云征 凹 山 IX II	第314057号 岡田 幸生	岡田 幸生							scale 1/50 (A3 1/100)	BUSINESS NO.

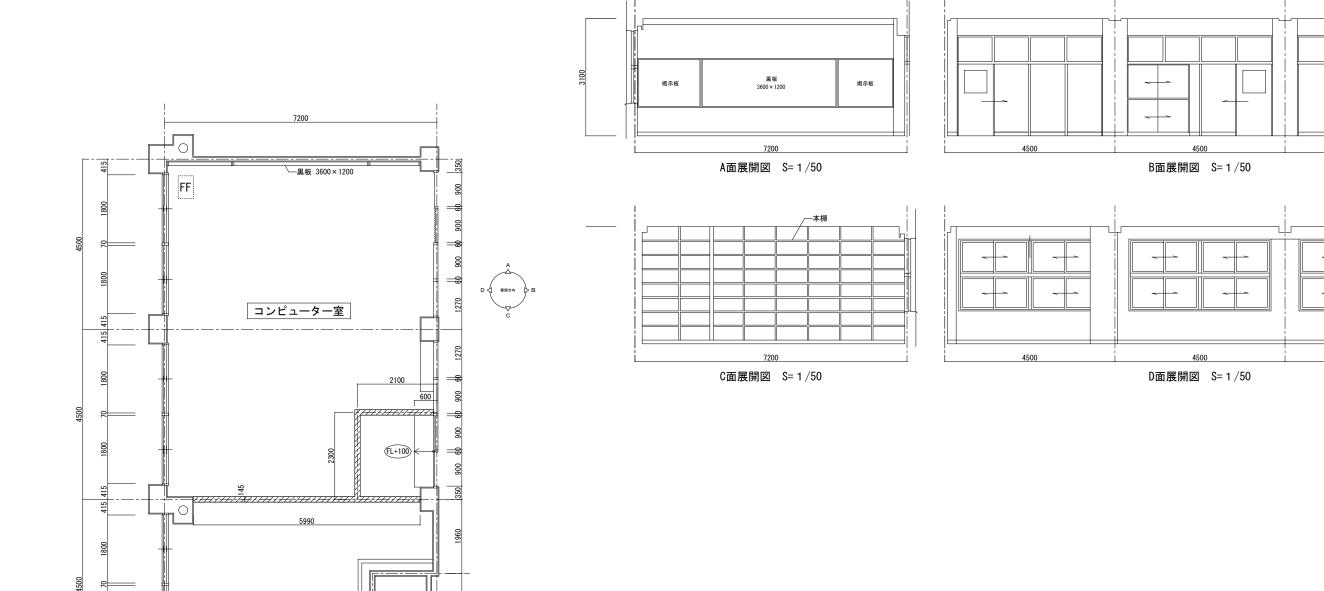


改修後	床	巾木	塗装	壁塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	医装 天井高 備考
理科室	既存のまま	既存のまま		既存のまま	カチオン系シーラー塗	EP-G	カチオン系シーラー塗	EP-G	既存のまま	-	- 3120 FF暖房機 1台(設備)【新設】R項目図参照
準備室				間仕切壁 W1 【新設】 EP-							什器類は既存のまま AW-1、WW-1はR項目図参照
711 11 /	既存のまま	t*=ル中木 H=100		既存のまま	既存のまま		既存のまま		既存のまま	-	- 3120 FF暖房機 1台(設備)【新設】R項目図参照
フリールーム				間仕切壁 W1 【新設】 EP-							



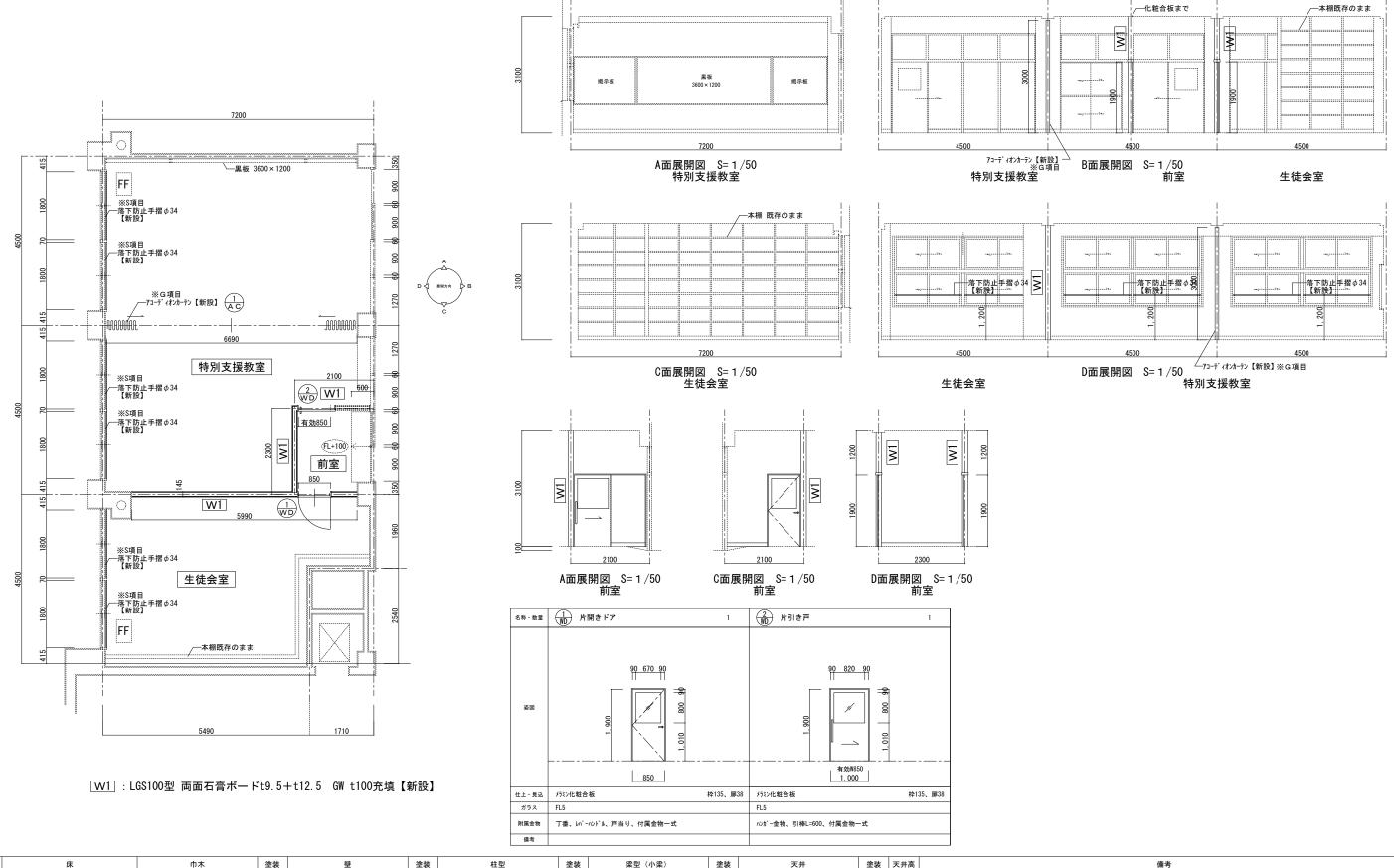


OKADA	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE			DRAWING NAME K項目	DRAWING NO. A - 0 2 9
	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号				中頓別町立中学校改修工事	設計図	職員室 校長室 改修後 平面詳細図・展開図	DRAWING DATE. 2024. 07.
OFFICE 体丸云在 III III III III III	第314057号 岡田 幸生	岡田 幸生									SCALE 1/50 (A3 1∕100)	BUSINESS NO.



改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	堂 塗装		梁型 (小梁)	塗装		天井	塗装	天井高	備考
- 1. k° - 5 🕏	0AフロアH=100	木製巾木 H=100		モルタル金コテ	VP	モルタル金コテ	VP	ŧル	Ellタル金コテ	VP	ジプトーン t 9.	5	-	3100	
コンピューター室	タイルカーぺット敷 t6【一部撤去】			シナペニア t 6.0	VP										
İ														Ţ	

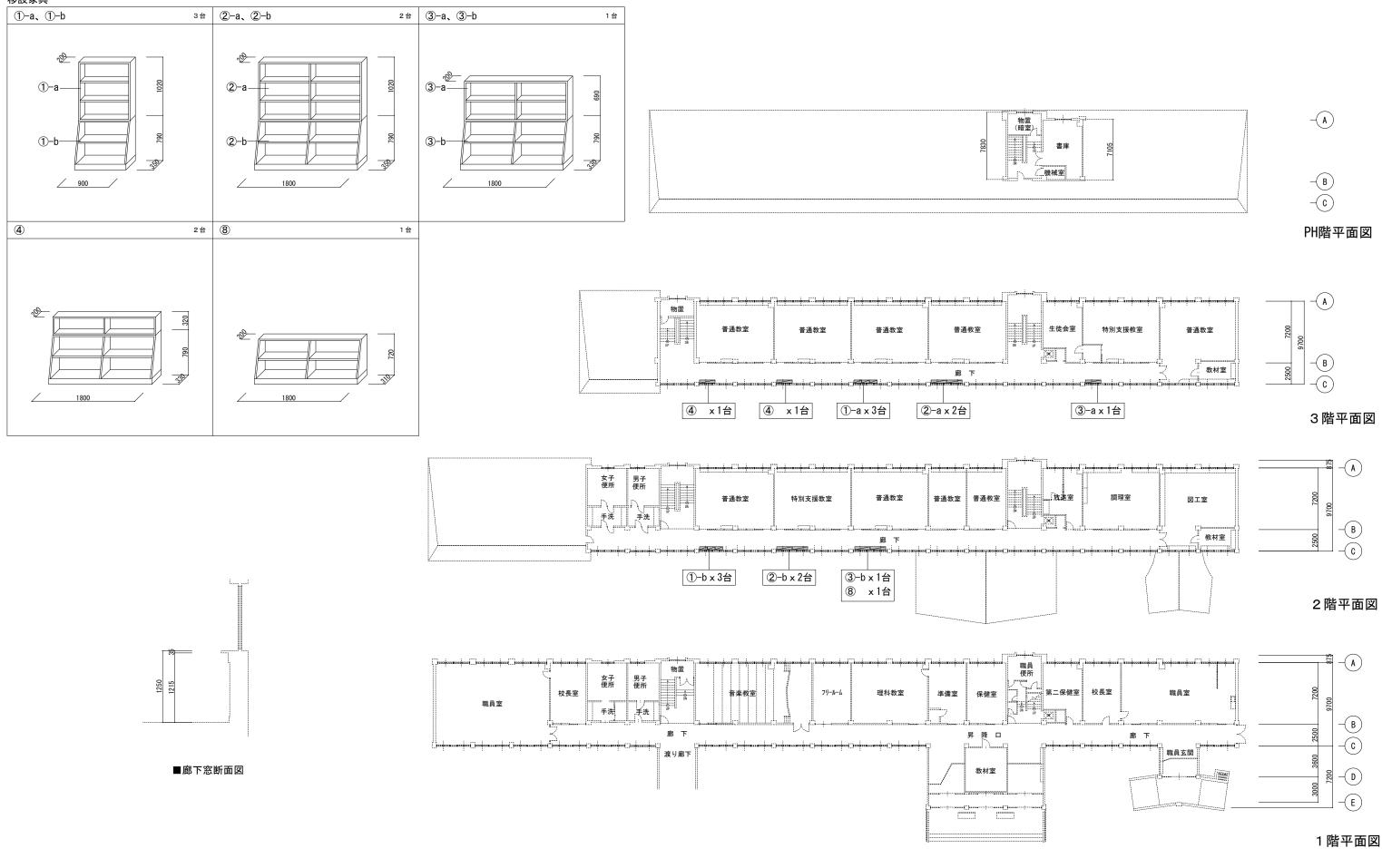
$\cap KA \cap A$	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE	DRAWING NAME	項目	DRAWING NO. A — O 3 O
	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事 競計図	改修前 コン SCALE	1/50 (A3 1/100)	DRAWING DATE. 2024. 07. BUSINESS NO.



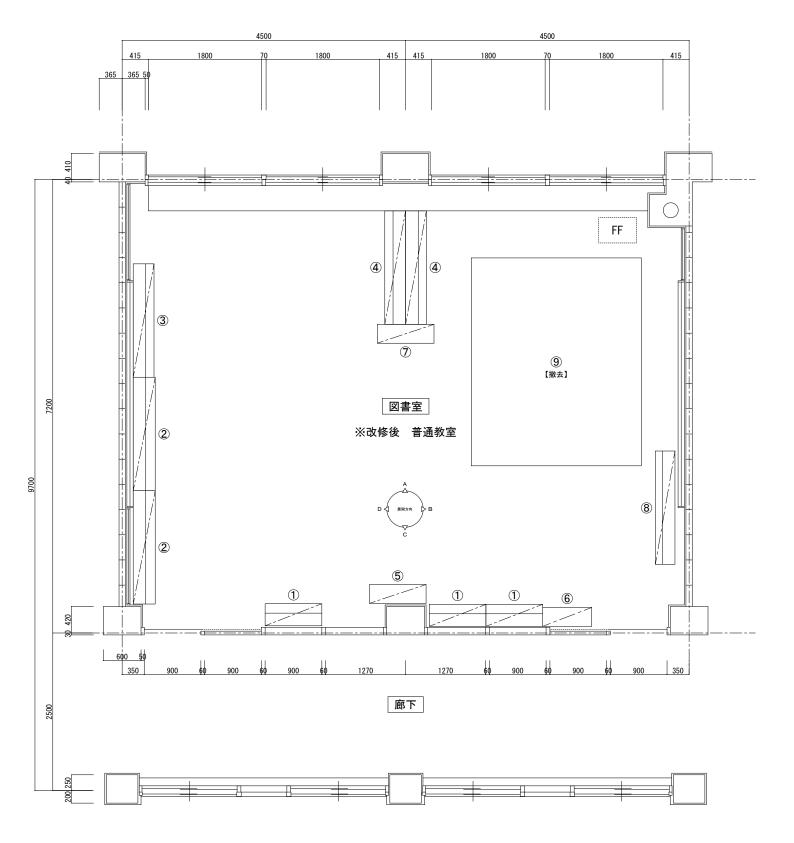
改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装		天井	塗装	天井高	備考
特別支援教室	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存(のまま		既存のまま		既存のまま		-	3100	7コーディオンカーテン【新設】G項目図参照 落下防止手摺 SUSφ34【新設】S項目図参照
符別又抜叙至				既存のまま										
4.4.4.00	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存(のまま		既存のまま		既存のまま			3100	間仕切壁【新設】 落下防止手摺 SUS ϕ 34 【新設】 S 項目図参照
生徒会室		ビニル巾木 H=60【新設壁】		ピニルクロス【新設壁】										
故会	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存(のまま		既存のまま		既存のまま			3100	間仕切壁【新設】
前室		ビニル巾木 H=60【新設壁】		ピニルクロス【新設壁】										

OKADA	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE	DRAWING NA		DRAWING NO. A — O 3 1
DESIGN 株式会社 田 設 計	一級建築士 第314057号 岡田 幸会	一級建築士 第314057号 生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	設計図 SCALE	皆 特別支援教室 生徒会室 前室 改修後 平面詳細図・展開図	DRAWING DATE. 2024. 07.
OFFICE		岡田 辛生							00/122	1/50 (A3 1/100)	Doorness no.

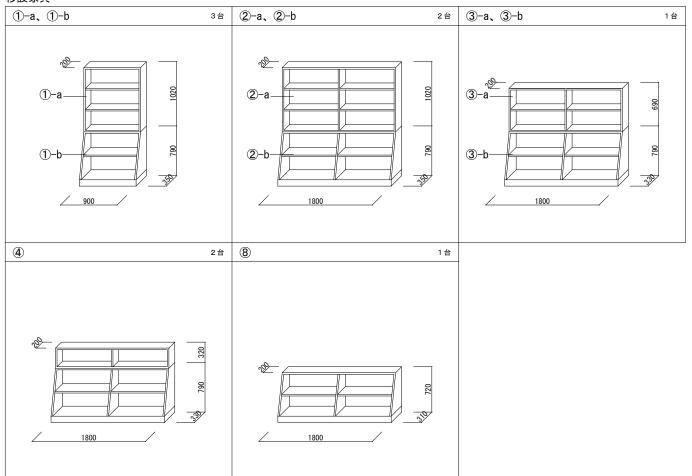




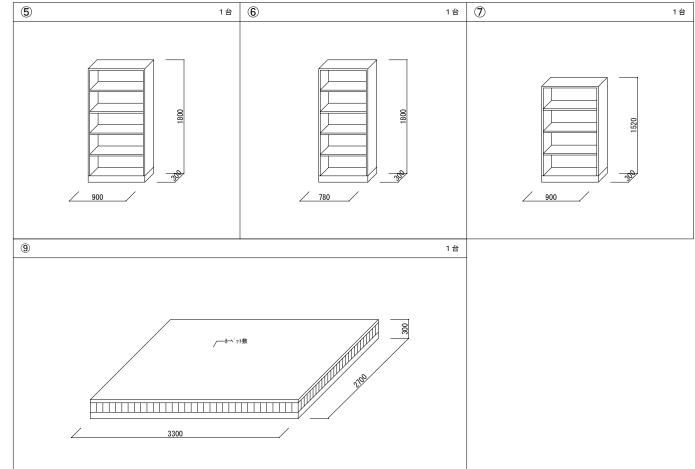
$\cap KA \cap A$	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE		DRAWING	NAME M項目	DRAWING NO. A-0 3 2
DESIGN 株式会社 田 設 計	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士			中頓	原別町立中学校改修工事 ^{設計}	B G		DRAWING DATE. 2024. 07.
Fice 株式会社 山 田 DX II	第314057号 岡田 幸生	岡田 幸生								SCALE	1/50 1/200 (A3 1/100 1/400)	BUSINESS NO.



移設家具







法適合設計者(確認者) 構造一級建築士 第 号 設備—級建築士 第 号

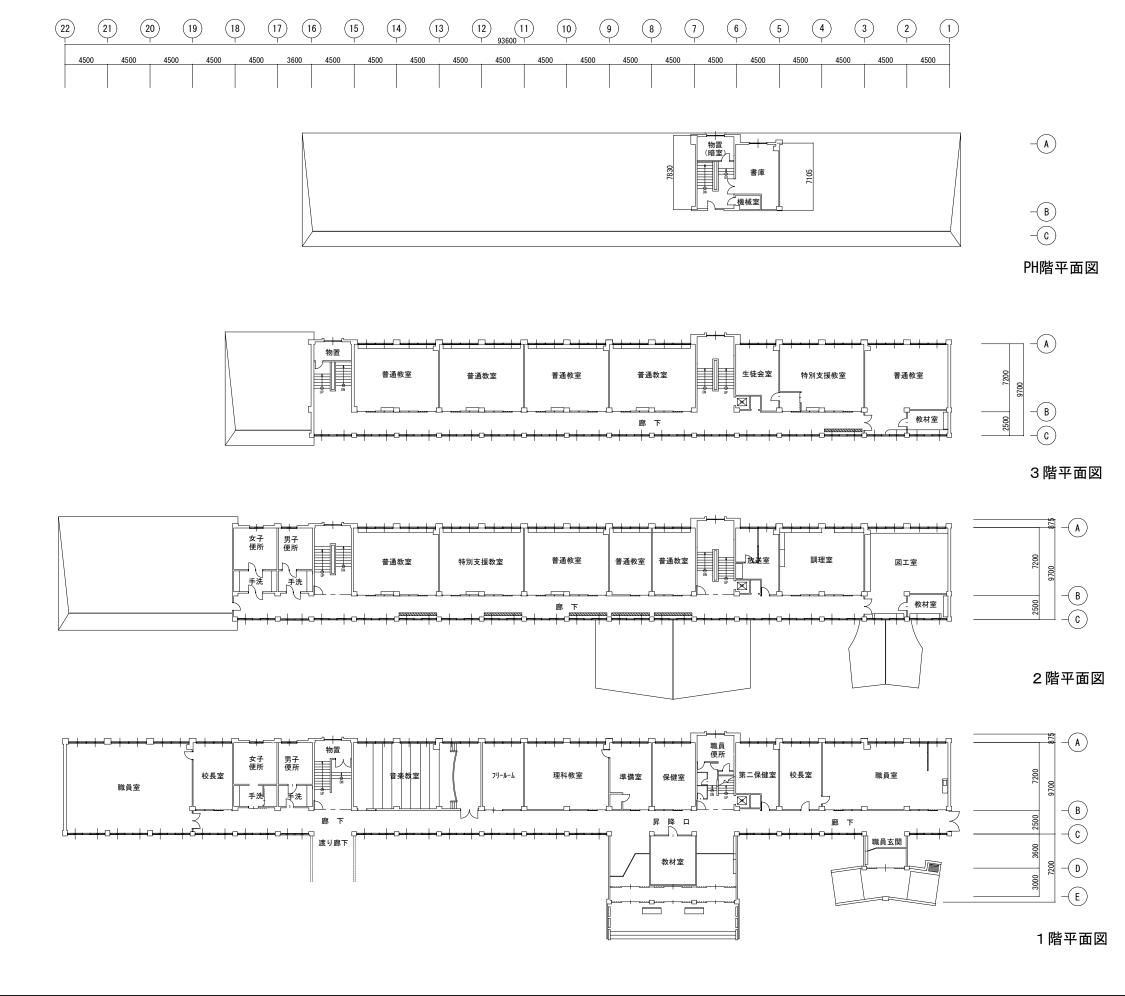
模図

中頓別町立中学校改修工事

 DRAWING NAME

 改修前 図書室 本棚リスト
 DRAWING DATE.
 2024.07.

 SCALE
 1/50 (A3 1/100)
 BUSINESS NO.



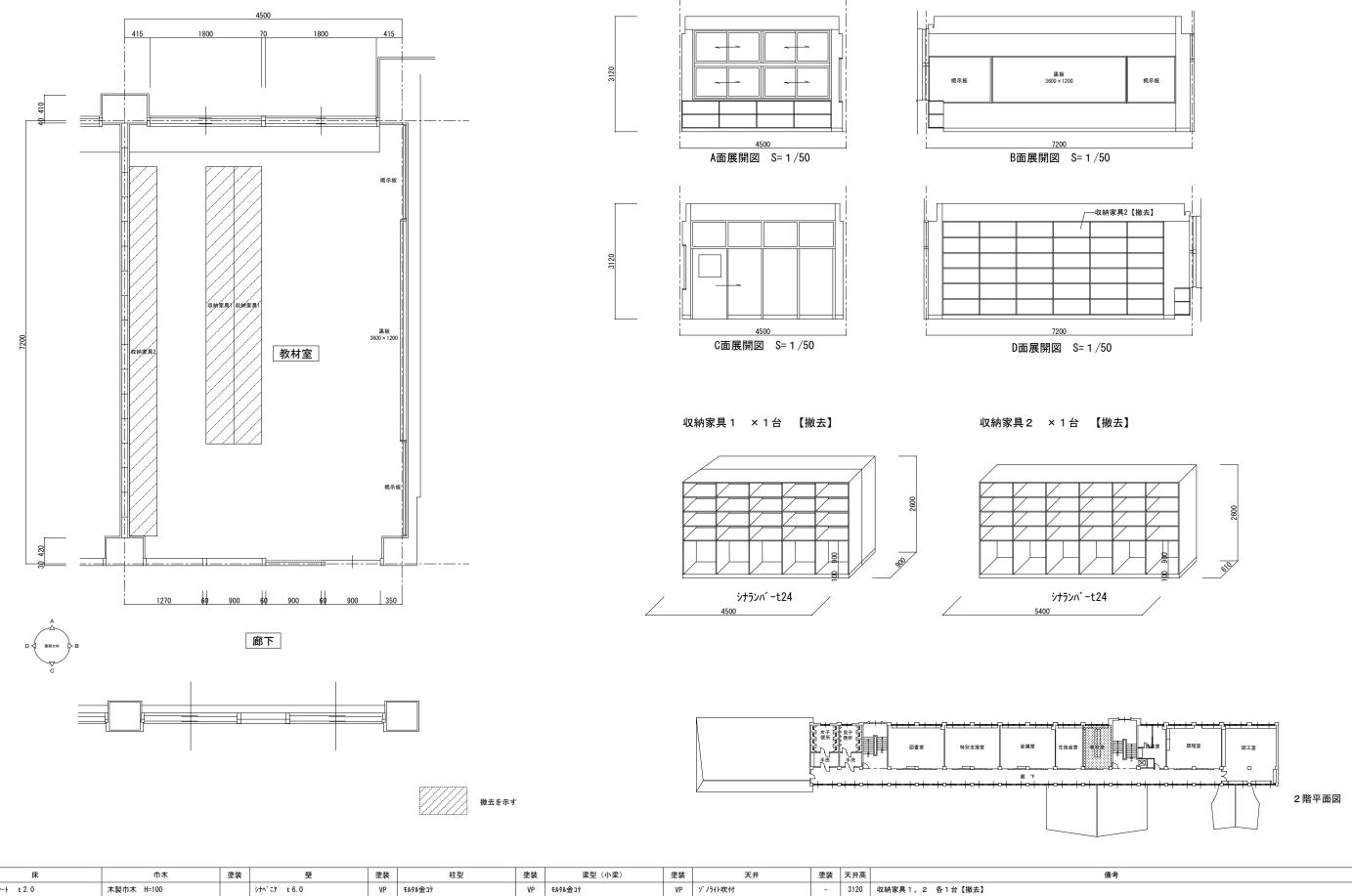
■SUS フック取付

SUSフック

: 位置にSUSフック 15個/ヶ所 取付 2 F : 5ヶ所 × 15 = 75

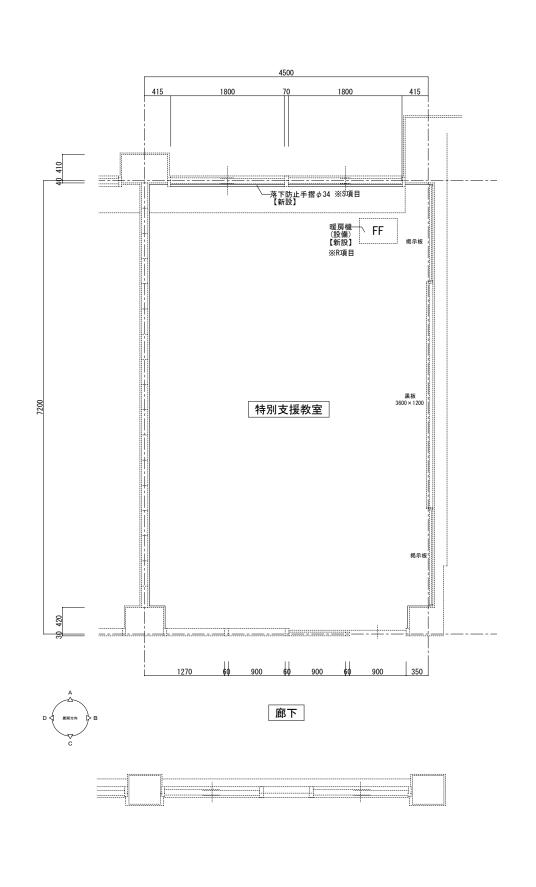
3F : 1ヶ所 × 15 = 15

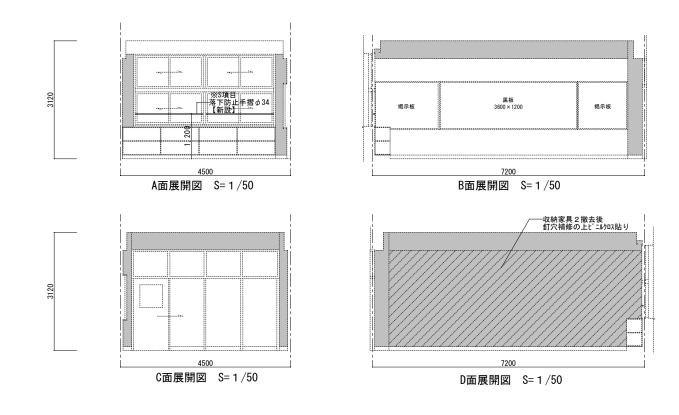
合計



改修前	床	巾木	塗装 壁	塗装	柱型	塗装	梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
0.00k #4.++=	t*ニル床シート t 2.0	木製巾木 H=100	シナペ=7 t 6.0	VP	モルタル金コテ	VP	モルタル金コテ	VP	ゾノライト吹付	-	3120	収納家具1、2 各1台【撤去】
2階 教材室												

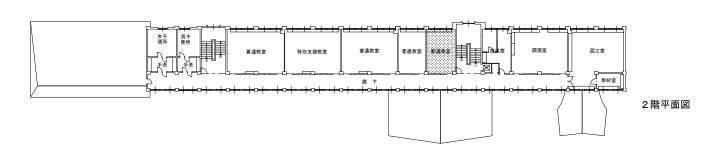
OK AD A	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE	DRAWING NAME	O項目	DRAWING NO. A - 0 3 5
	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	改修前 2階 SCALE 1/30		DRAWING DATE. 2024. 07. BUSINESS NO.





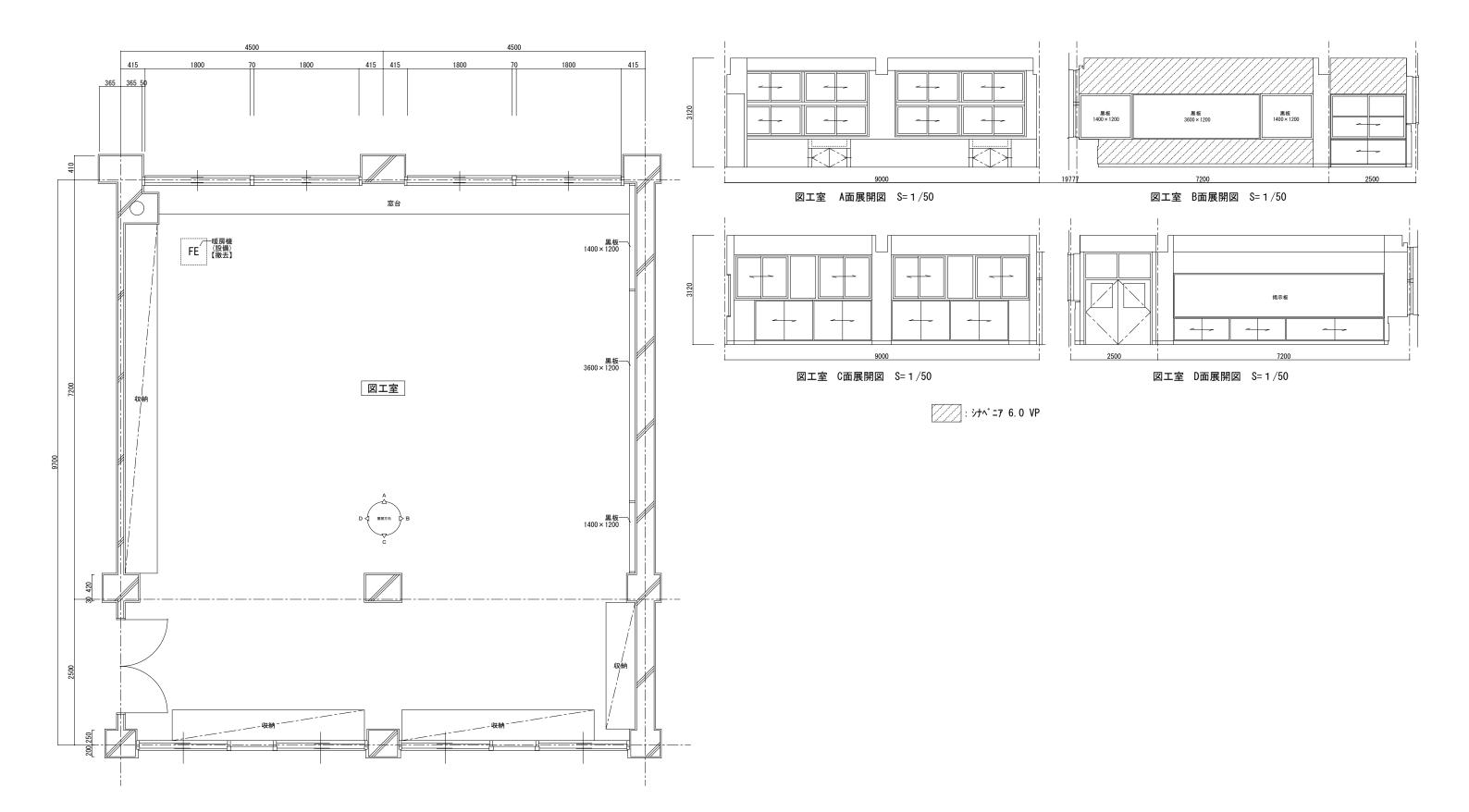
: カチオン系シーラー塗の上 EP-G【新設】

: ビニルクロス貼り



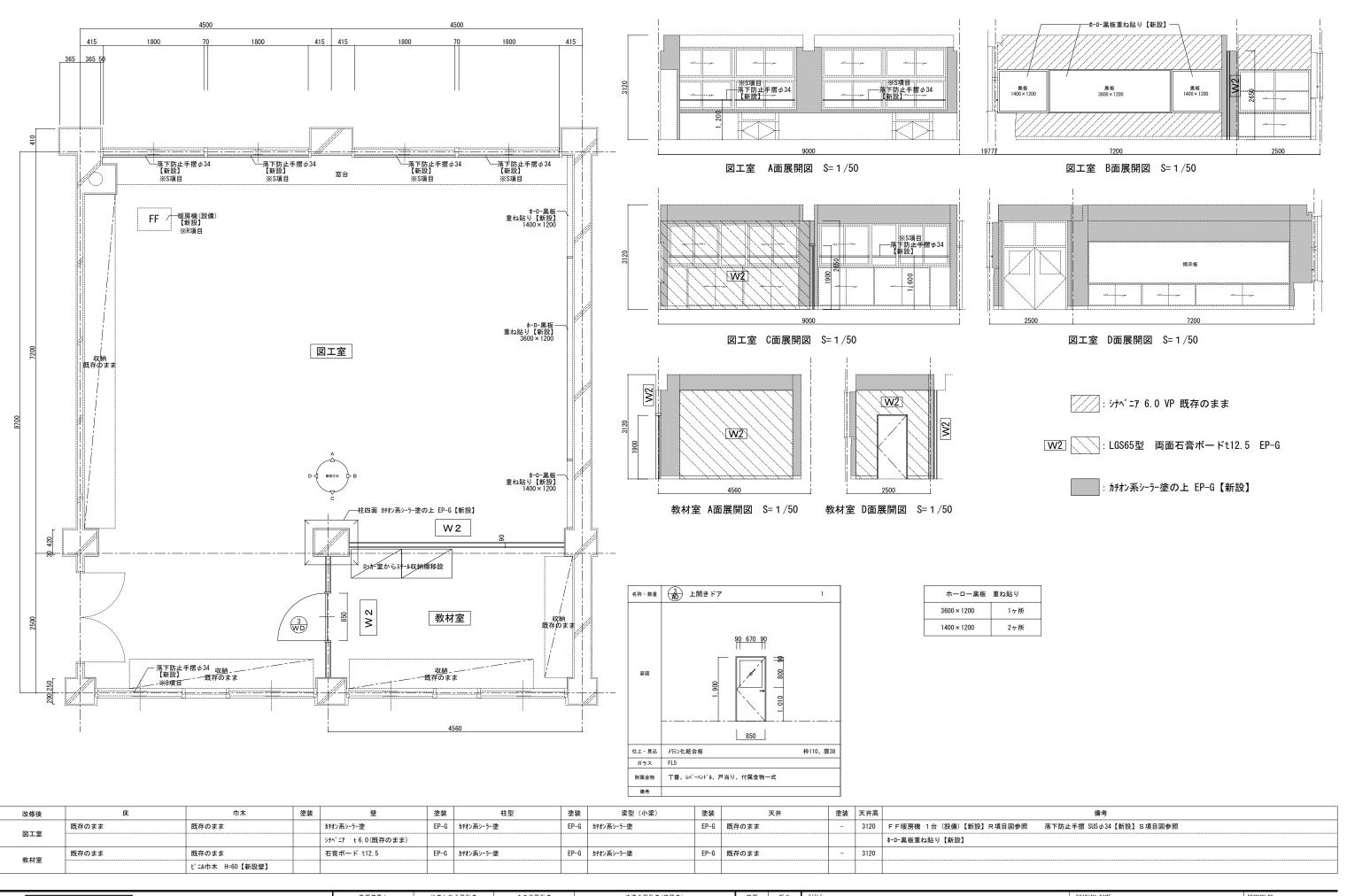
改修後	床	巾木	塗装	壁	塗装	柱型	塗装		梁型 (小梁)	塗装		天井	塗装	天井高	備考
杜叫士拉松宁	既存のまま	既存のまま		既存のまま	t	hチオン系シーラー塗	EP-G	カチオン系	系シーラー塗	EP-G	既存のまま		-	3120	家具撤去後 一部 補修すること
特別支援教室				一部 ビニルクロス貼り【新設】											FF暖房機 1台 (設備)【新設】R項目図参照 落下防止手摺 SUSφ34【新設】S項目図参照

$\cap KA \cap A$	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE		DRAWING NAME	O項目	DRAWING NO. A - 0 3 6
DESIGN 株式会社 田 設 計	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	一級建築士 第314057号 生 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号				中頓別町立中学校改修工事	改修後2階 SCALE	皆特別支援教室 平面詳細図・展開 1/30 1/50(A3 1/60 1/100)	用図 DRAWING DATE. 2024.07. BUSINESS NO.

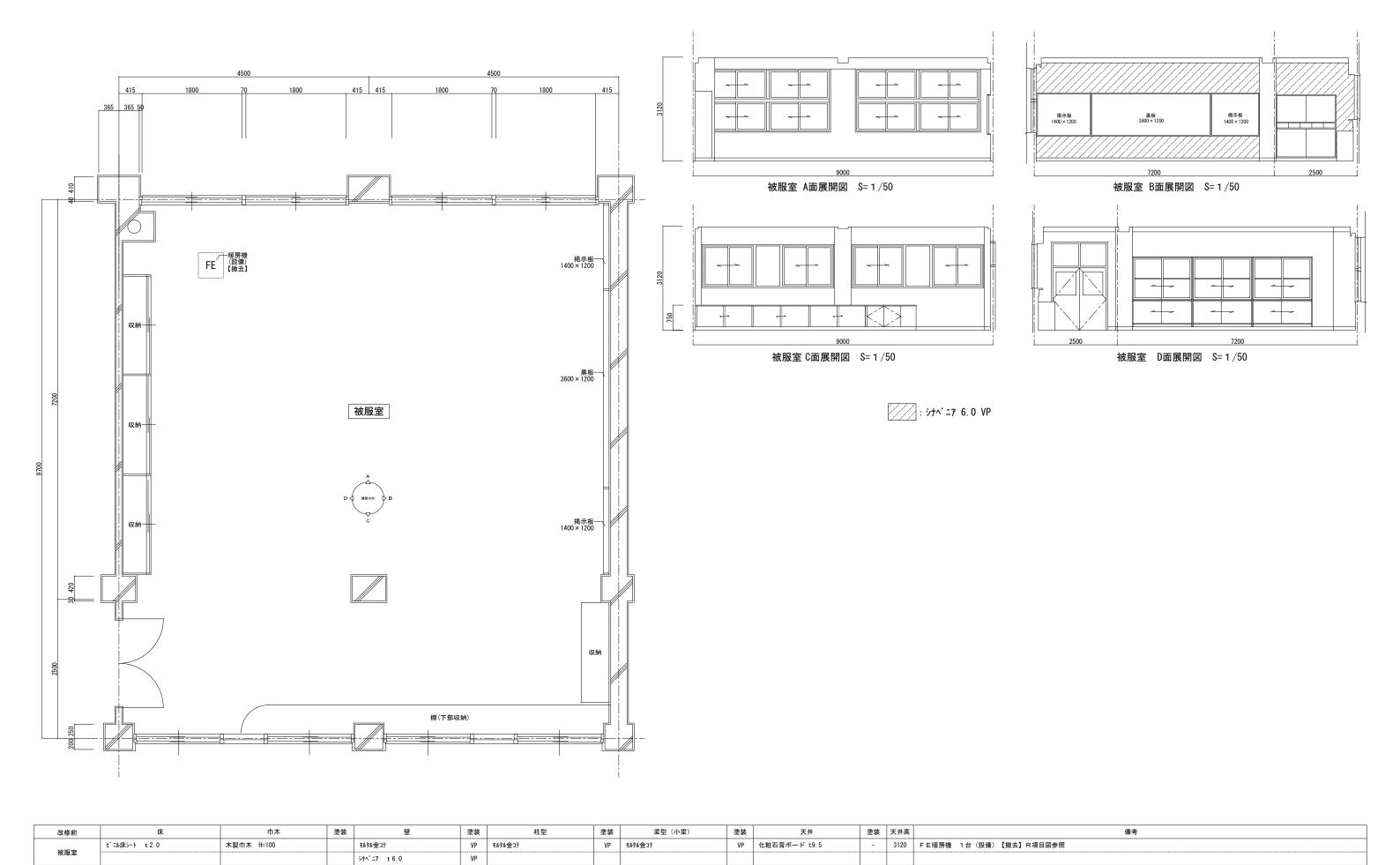


改修前	床	巾木	塗装	壁	塗装	#	注型 塗装		梁型 (小梁)	塗装	天井	塗装	天井高	備考
図工室	t'=ル床シート t 2.0	木製巾木 H=100		モルタル金コテ シナペ=7 t 6.0	VP VP	モルタル金コテ	VP	ŧ	モルタル金コテ 	VP	化粧石膏ボード t9.5	-	3120	R FE暖房機 1台(設備)【撤去】

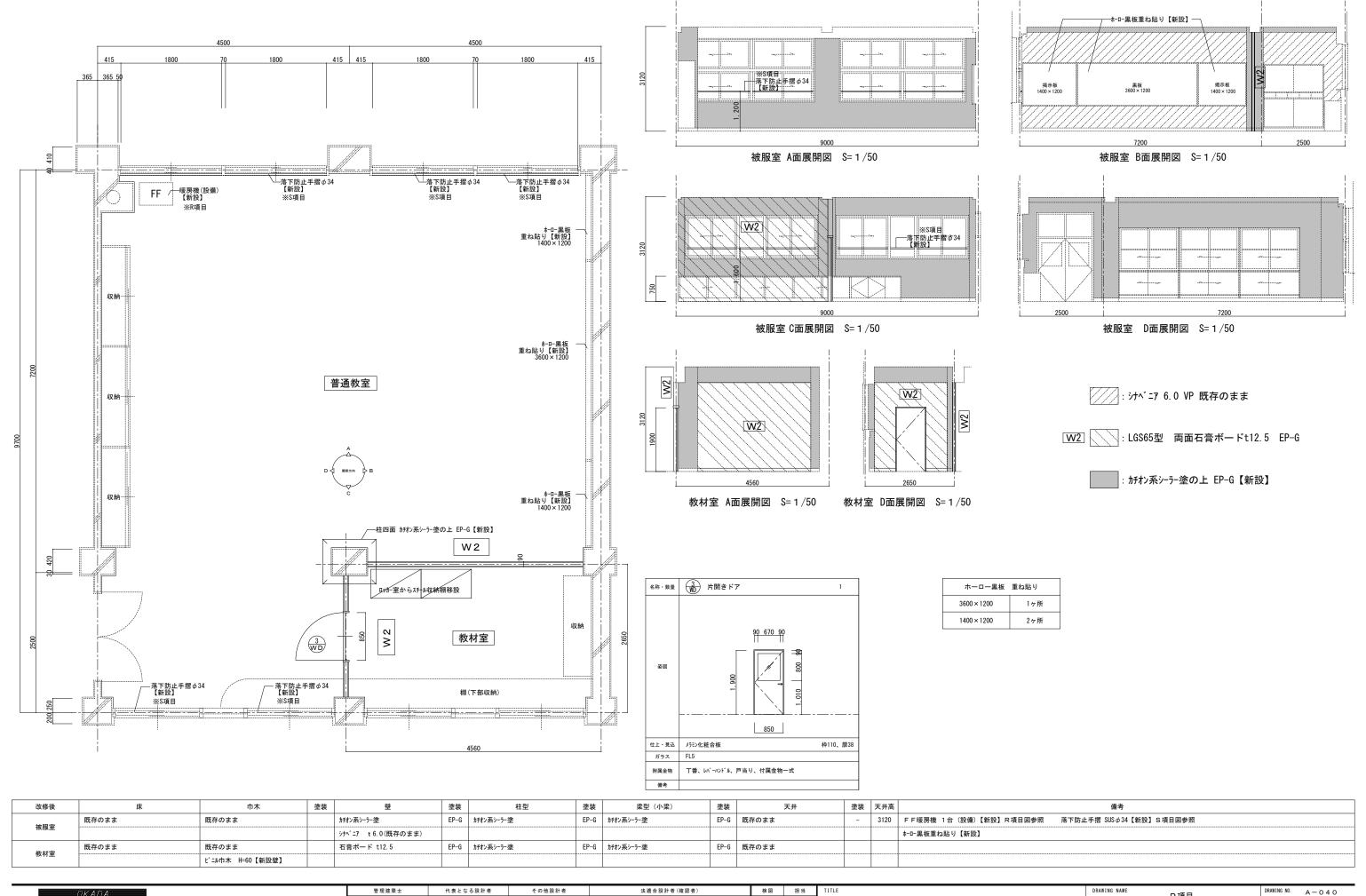
OKADA	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図	担当	TITLE		DRAWING N	AME P項目	DRAWING NO. A — O 3 7
	一級建築士 第314057号 岡田 幸	一級建築士 第314057号 生 岡田 幸生	一級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号				中頓別町立中学校改修工事	改修前 SCALE	2階 図工室 平面詳細図・展 1/30 1/50(A3 1/60 1/100)	用図 DRAWING DATE. 2024.07. BUSINESS NO.



OKADA	官埋建築士	代表となる設計者	その他設計者		者(催認者)	模図 担当	TITLE		DRAWING NAME	P項目	DRAWING NO. A - 0 3 8
DESIGN 株式会社 🖺 田 設 計	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士	設備一級建築士			中頓別町立中学校改修工事 設計図	以修伎2階図		DRAWING DATE. 2024. 07.
DESIGN _{株式会社} 田 設 計	第314057号 岡田 幸生	岡田 幸生		X7 '7	7 T			1 4000 12 1 1 1040 10 - 4			BUSINESS NO.



OKADA	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	十者(確認者)	検図	担当	TITLE	DRAWING NAME	D項目	DRAWING NO. A - 0 3 9
	一級建築士	一級建築士 第314057号	一級建築士	構造一級建築士	設備一級建築士			中頓別町立中学校改修工事	」 ② 改修前 3階	F坝口	DRAWING DATE. 2024.07.
株式会社 🖺 🛱 📆 計	第314057号 岡田 幸生	9301400743 E		A7 - 3	ж -5				SCALE 1/2		BUSINESS NO



OKADA	管理建築士	代表となる設計者	その他設計者	法適合設計	者(確認者)	検図 打	担当	I TITLE	DRAWING	P項目 L	DRAWING NO. $A - 040$
	一級建築士 第314057号 岡田 幸生	第314057号	-級建築士	構造一級建築士 第 号	設備一級建築士 第 号			中頓別町立中学校改修工事	改修後3 SCALE	3 階普通教室 教材室 平面詳細図・展開図	DRAWING DATE. 2024. 07. BUSINESS NO.

暖房機 撤去・新設 数量表

● F E 暖房 撤去の上 F F 暖房新設

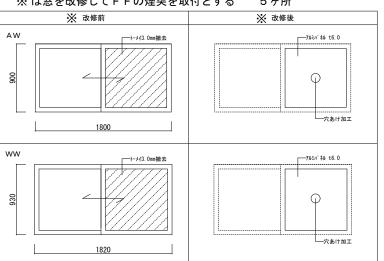
1 F	3ヶ所
2 F	5ヶ所
3 F	3ヶ所
計	11ヶ所

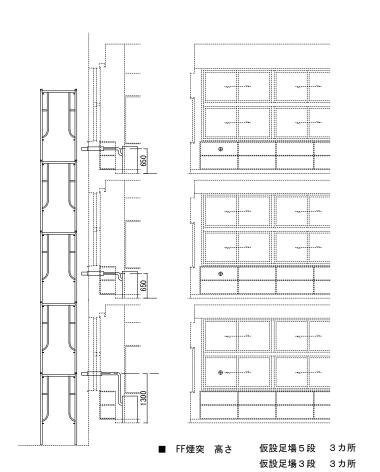
◎FF暖房新設

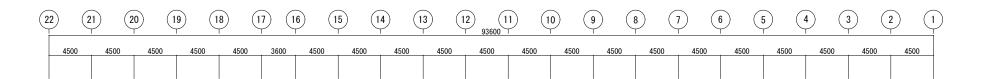
1 F	3ヶ所
2 F	1ヶ所
3 F	0ヶ所
計	4ヶ所

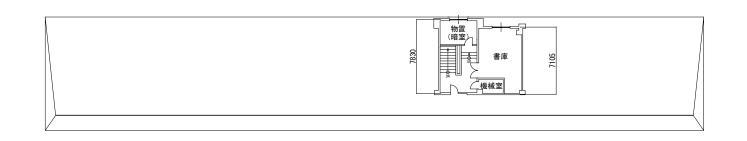
★ F F 暖房 既存のまま

※ は窓を改修してFFの煙突を取付とする 5ヶ所



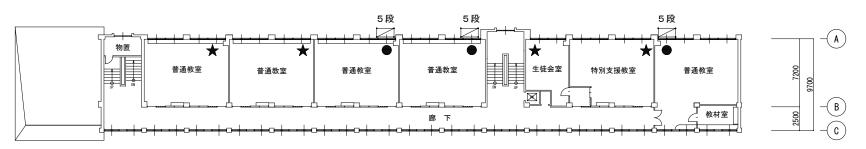




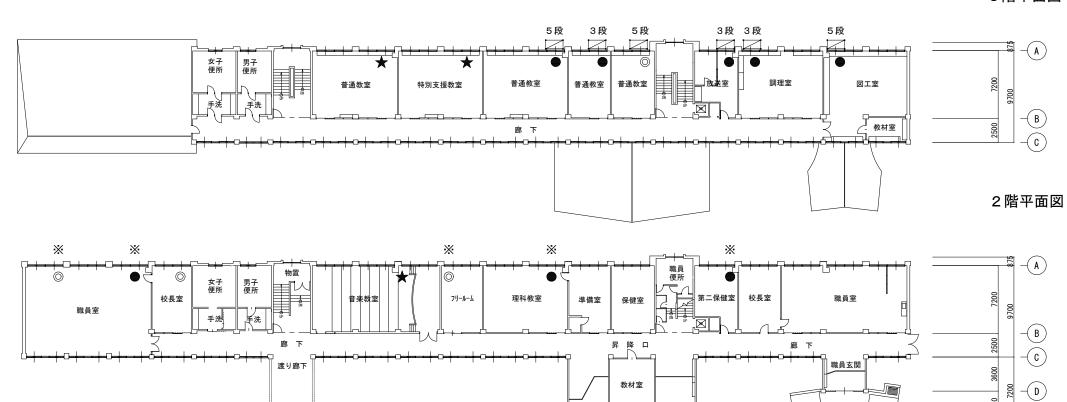


PH階平面図

 $\overline{\mathbf{A}}$



3 階平面図



DESIGN

株式会社 🖺 田影

Ţ.	計	

一級建築士

管理建築士 代表となる設計者 一級建築士 第314057号 第314057号 岡田 幸生 岡田 幸生

その他設計者 法適合設計者(確認者) -級建築士

検図 担当 設備一級建築士 第 号

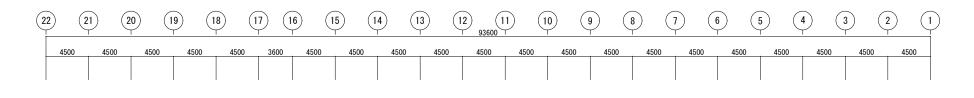
中頓別町立中学校改修工事

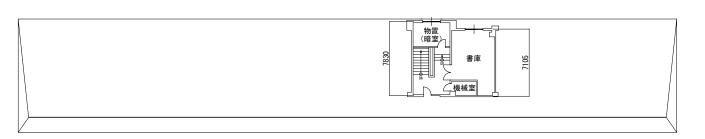
FF暖房 取付位置図 設計図 SCALE 1/50 1/200 (A3 1/100 1/400)

DRAWING NO. A-0 4 1 DRAWING DATE. 2024. 07. BUSINESS NO. 0706

-(E)

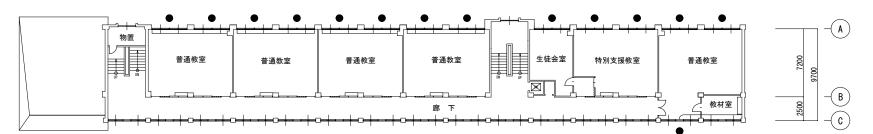
1 階平面図



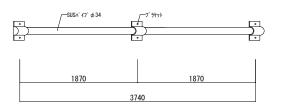


PH階平面図

 $\overline{\mathbf{A}}$

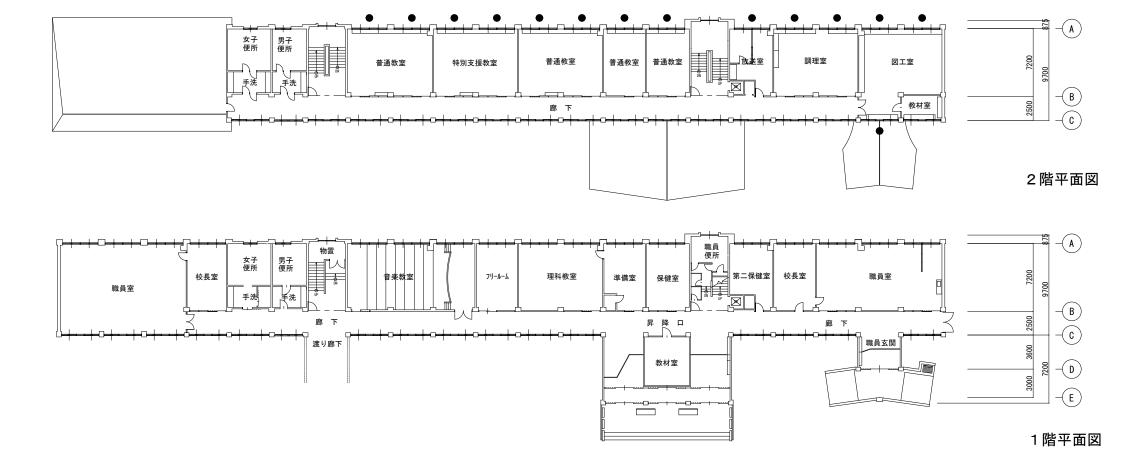


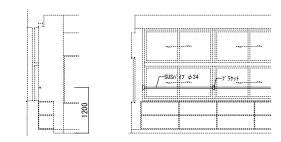
3 階平面図



2 F	14ヶ所
3 F	14ヶ所

●:落下防止手摺取付位置





■ 落下防止手摺 取付高さ

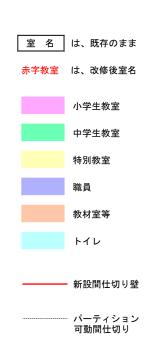


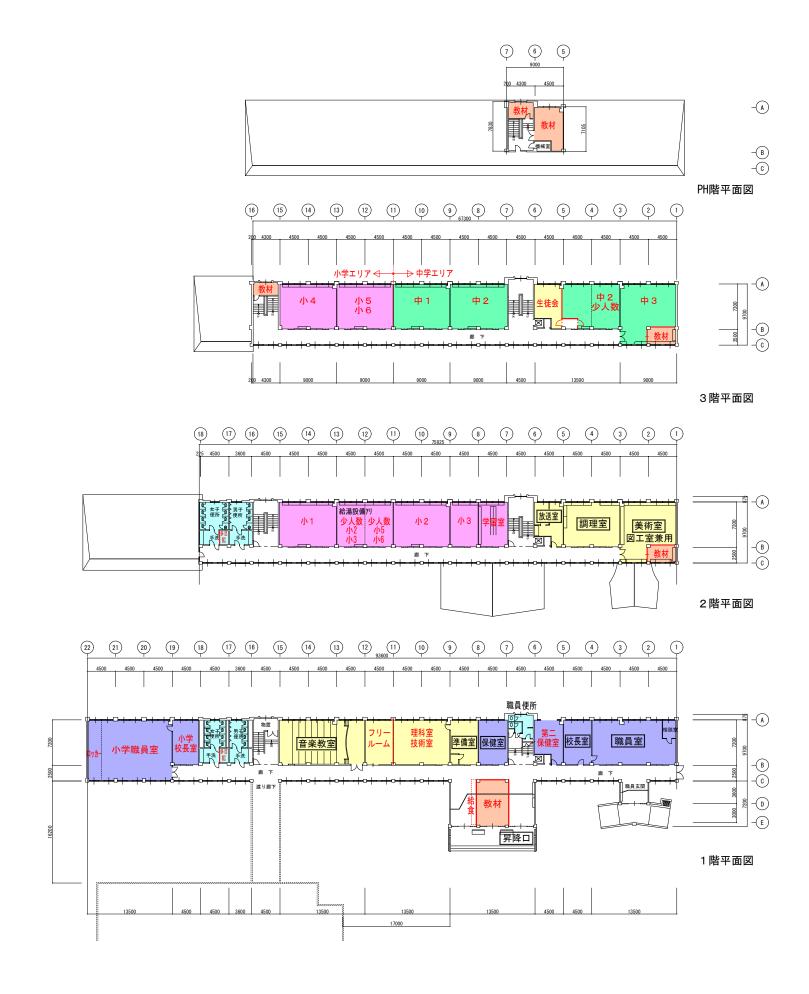
仮校舎 教室配置案

令和6年度(1年目)

■机数

	普通教室	少人数指導
小学1年	1 1	
小学2年	1 1	1
小学3年	9	1
小学4年	1 2	
小学5年	4	1
小学6年	7	1
中学1年	1 2	
中学2年	1 6	2
中学3年	5	





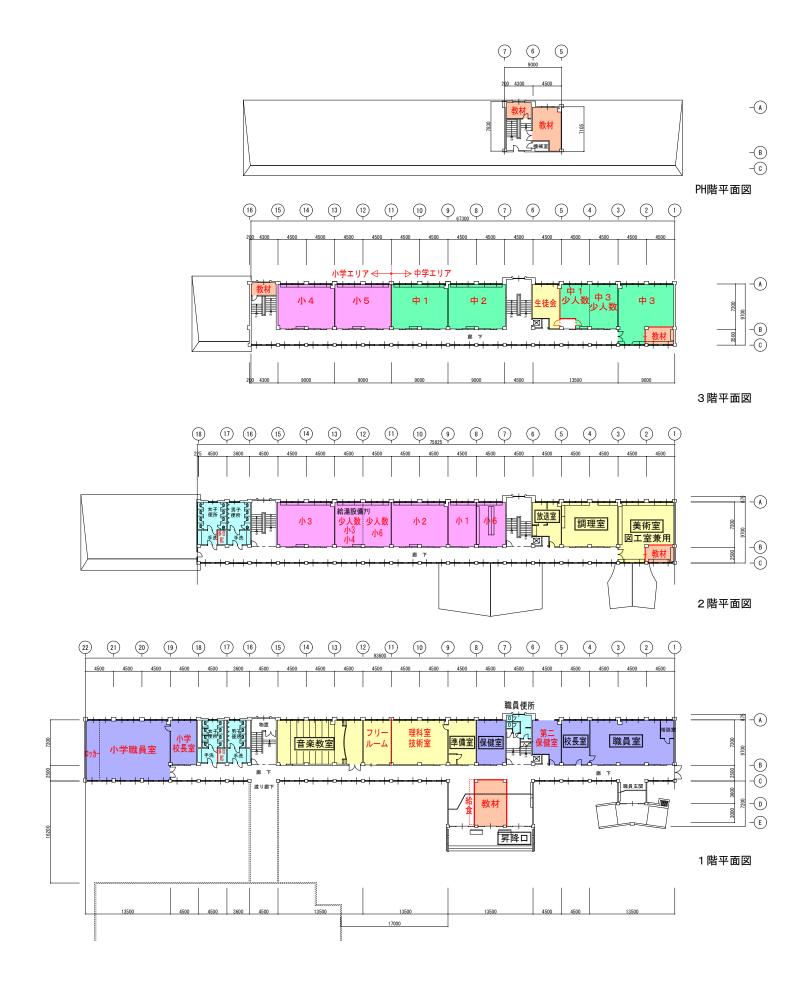
仮校舎 教室配置案

令和7年度(2年目)

■机数

	普通教室	少人数指導
小学1年	8	
小学2年	1 1	
小学3年	1 1	1
小学4年	9	1
小学5年	1 2	
小学6年	4	1
中学1年	7	1
中学2年	1 2	
中学3年	1 6	2





管理建築士

代表となる設計者

-級建築士

検図

担当

法適合設計者(確認者)

仮校舎 教室配置案

令和8年度(3年目)

■机数

	普通教室	少人数指導
小学1年	5	
小学2年	8	
小学3年	1 1	
小学4年	1 1	1
小学5年	9	1
小学6年	1 2	
中学1年	4	1
中学2年	7	1
中学3年	1 2	

